

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

ア	学則変更（収容定員変更）の内容	p. 2
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性	p. 2
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容	p. 3
	（ア）教育課程の変更内容	p. 3
	■体育学部	p. 3
	■スポーツ文化学部	p. 6
	■児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科	p. 9
	（イ）教育方法および履修指導の方法	p.12
	（ウ）教員組織の変更内容	p.13
	（エ）大学全体の施設・設備の変更内容	p.14
エ	2以上の校地において教育研究を行う具体的計画	p.18
添付資料	教育課程の概要（体育学部）	p.22
	教育課程の概要（スポーツ文化学部）	p.32
	教育課程の概要（児童スポーツ教育学部）	p.40

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

今回の定員変更は、既存の学部・学科の定員改正であり、新たな学部・学科名称、理念及び養成する人材像にも変更は行なわず、またこの定員改正に伴い令和 4（2022）年度からの学部・学科の設置場所の変更等についても行なわない。

図表 1 収容定員変更（予定）に伴う移行表

学部	学科・コース		現行		変更		増減	
			入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員	入学 定員	収容 定員
体育学部	体育学科		750	3,000	<u>800</u>	<u>3,200</u>	50	200
	健康学科		195	780	195	780	0	0
スポーツ 文化学部	武道教育学科		100	400	<u>80</u>	<u>320</u>	▲20	▲80
	スポーツ国際学科		100	400	100	400	0	0
児童スポーツ 教育学部	児童スポーツ 教育学科	児童スポーツ 教育コース	150	600	<u>120</u>	<u>480</u>	▲30	▲120
		幼児教育 保育コース	50	200	50	200	0	0
合 計			1,345	5,380	1,345	5,380	0	0

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

平成 24 年 3 月に策定された我が国の「スポーツ基本計画」について、平成 29 年 3 月には第 2 期（平成 29 年～令和 2 年）計画の策定がなされ、中長期的なスポーツ政策の基本方針として、スポーツ参画人口を拡大し「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むこととしている。

計画では、スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場を確保や、スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現、スポーツを通じた共生社会の実現、スポーツを通じた経済・地域の活性化などが掲げられており、スポーツの枠を超えた幅広い異分野との連携・協働による相乗的効果に対する期待は依然大きな高まりの最中にあるといえる。

また、国際競技大会等において、優れた競技成績を上げる競技数が増加するよう強力かつ持続的な人材育成や環境整備を行う事が掲げられ、我が国のトップアスリートに対する支援体制はかつてないほどの充実が図られることが大きく期待されている。【資料 1】

本学はその母体を明治 24（1891）年に設立された体育会（翌年、日本体育会に改称）とし「體育富強之基」（「体育は富国強兵の基本である」）を建学の精神（基本理念）としている。創設以来、一貫して、スポーツを通じ、全ての人々の願いである"心身の健康"を育み、あわせて世界レベルの優秀な競技者・指

導者の育成を追求し続け、高度な教養に裏付けられた国際性や市民性、体育やスポーツについての専門的な実践力・知識を兼ね備えた人材を輩出している。

こうした社会的背景や、本学が果たすべきミッション（社会的使命）やヴィジョン（目指すべき姿）を鑑みれば、我が国の体育・スポーツの普及・発展を積極的に推進する実践者の輩出を、より一層強化していく事が「一億総スポーツ社会」の実現には必要不可欠な事であると言える。

他方、本学では時代や社会からの要請を踏まえ、平成 25（2013）年 4 月に日本体育大学女子短期大学部を児童スポーツ教育学部へ、平成 29（2017）年 4 月には体育学部武道学科をスポーツ文化学部へ改組転換を行なった。

だが現在では、児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科児童スポーツ教育コースでは、近年、設置キャンパス（東京・世田谷キャンパス）を含む首都圏（1 都 6 県）に、多くの競合大学が現れた事に加え、改組転換時に実質的な増員を行なった事も相まって入学定員の確保に苦慮する状況へと陥っている。

また、スポーツ文化学部武道教育学科では、令和 3 年（2021）年度入学生は定員を下回ったものの、高い歩留率から一定程度の強い志願者のニーズがあることに加え、日本固有の身体運動文化である武道と、古来より民俗行事として伝承されてきた民族舞踊や和太鼓などの伝統芸能の担い手を今後も長期的に養成していく事は、我が国固有の文化を存続させる上で非常に価値あるものであると考えられる。

加えて、令和 4（2022）年度には、現在の大学院体育科学研究科について、学位プログラムの導入による体系的な教育プログラムの実施を目的として、大学院体育学研究科へと改組・転換して設置する予定としている。この事により、高い汎用性から研究領域の拡大を続ける体育・スポーツやその関連分野において、学位レベルに相応しい能力や資質を持ち合わせた人材を世の中へ輩出する事が可能になると考えられる。今般の体育学部の収容定員の増員する事は、これらの研究活動を推進する人材を養成する事にも直結し、引いては本学のミッション・ヴィジョンの観点から、社会からの要請に合致したものであると言う事ができる。

これらを踏まえるとスポーツ文化学部武道教育学科ならびに児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育コースについては、改めて入学定員の適性規模を再度検討する必要があると言える。

ついては、このような本学を取り巻く状況を総合的に鑑み、スポーツ文化学部武道教育専攻を 20 名、ならびに児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科児童スポーツ教育コースを 30 名減員し、合わせて体育学部体育学科を 50 名増員することで、それぞれ各学部・学科、コースを適正規模に変更する事とした。これにより、収容定員は体育学科 3,000 名から 3,200 名へ増員し、武道教育専攻 400 名から 320 名、児童スポーツ教育コースは 600 名から 480 名へとそれぞれ減員する事となる。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

教育課程の変更は行わない。なお、収容定員の変更を行なう学部等の現状は、以下のとおりである。

■体育学部

1) 体育学部における人材の養成に関する目的

体育学部

体育学部は、保健体育及びスポーツに関する学術と實際を教授研究し、国際的視野をもった高い教

養と、体育及び健康等の指導や支援に関する専門的な知識・技術を兼ね備えた指導者を養成する。

体育学科

体育・スポーツの科学研究を深めると共に、国際的な視野に立った教養豊かな指導者及び優秀な競技者を養成する。

健康学科

学校教育における児童・生徒並びに勤労者及び福祉的支援を要する人の体力向上と健康の増進について、スポーツ医科学と福祉の連携により、専門的な知識や技術を身につけた指導者を養成する。

2) 体育学部の卒業認定及び学位授与の方針

体育学部は、本学の教育理念を根幹とし、「独自の教育・研究プログラムを創造的に展開し、我が国の体育・スポーツ界ならびに来るべき知識基盤社会をリードする大学を目指す。また、同時に心身ともに逞しく、明朗活発で、自らが選択した職種の現場において強い即戦力として活躍できる人材の育成を図る。」という教育目標を掲げて、それを実現するために教育課程（カリキュラム）を編成・実施している。この課程を終えて、学位が授与されるためには、以下のことが求められる。

- ① 所定の期間在学し、本学の社会的使命（ミッション）及び目標（ビジョン）に則って設定された授業科目を履修することにより、所定の単位を修得している。
- ② 体育スポーツ学に関する諸科目の多面的な履修を通じて、広く教養を培うとともに、体育・身体活動・スポーツの実践を通じて、体力の向上、健康の保持増進、心身の調和のとれた発達、競技力向上、国際平和の実現に貢献できる専門的知識と技能とを体得している。
- ③ 体育学部における共通教育及び各学科・学修領域に設定する体系的学修とを通じ、現代社会が抱える体育スポーツ学の諸問題について、課題探求力や問題解決力、さらには、それらを実践現場において有効に還元するためのコミュニケーション力、実践力を備えている。

3) 体育学部（2013 カリキュラム）における教育課程編成方針

本学は、建学の精神に基づく教育使命を実現すべく、体育学部には体育学科、健康学科を置き、次の方針のもとに教育課程を編成している。

- ① よき市民及び国際人として身につけるべき基本的な素養としての社会人基礎力を形成するため、体育学部共通の教養教育科目及び総合教育科目では、教養科目に加え、言語表現科目やキャリアデザイン科目、さらには本学独自の総合科目等を配し、調和のとれた人間力を高める。
- ② 体育学を専攻とする学生として、体育学部共通の専門基礎科目を学修し、スポーツを通じて人間の心身さらには生命に至るまで、基本的な知識や実践力を修得する。
- ③ 各学科では、当該学問分野の基幹となる科目や発展的科目等を学修するとともに、履修モデルとしての専門領域において展開されている多様な科目を通じて、さらに高度な知識や実践力を体得する。
- ④ 体系的かつ専門的な学修を通じて体得した知識、技能、態度、志向性等を総合的に活用し、スポーツ教育、競技スポーツ、ヘルスプロモーション、ソーシャルサポートなどの領域における今日的課題を実践的に解決する力を獲得する。

4) 体育学部(2013 カリキュラム等)における体系的な教育課程の編成

体育学部の人材養成の目的ならびに教育課程の編成方針に則り、「学部共通」、「学科共通」ならびに「専攻領域」の科目群を配置し、体系的な教育課程を編成している。【資料2】

必修・選択必修の別については、全ての学生に履修させるべき科目及び各区分の中で基礎となる科目を必修科目、各区分の中で必修科目を基礎として学生に選択的に履修させるべき科目を選択必修科目としている。また各科目の履修順序(配当年次)は、ゆるやかな原則として、基礎的な科目から応用、発展的な科目へ、総論的な科目から各論的な科目へという考え方に基づいている。

① 学部共通科目

体育学部の目的を達成し、目指す人材を養成するために、学部共通科目を区分1として、『教養教育科目』、『総合教育科目』、『専門教育科目』の3種類の科目群から総合的に構成している。

そしてこれらの3科目群を、さらに区分2として、『教養教育科目』については、「言語表現科目」、「教養科目」、「外国語科目」の3科目群に区分した。『総合教育科目』については「総合科目」、「キャリアデザイン科目」の2科目群に区分し、『専門教育科目』については「理論系科目」と「実践系科目」の2科目群に区分した。

② 学科共通科目

学科共通科目を区分1として、『基幹科目』、『展開科目』の科目群から構成している。

②-1 体育学科

『基幹科目』では、スポーツ活動や日常生活における人の動きを客観的に評価・修正し、個々のニーズに合わせたトレーニング及びその指導方法についての知識を涵養する科目を配置している。

『展開科目』では、基幹科目で獲得した能力、知識をより具体的かつ実践的に学ぶための科目群を配置する事で、一人ひとりの技術レベルに応じたスポーツ指導及び学校、スポーツ団体、諸施設等との有機的連携が図れるリーダーシップを涵養する。

②-2 健康学科

『基幹科目』では、健康の増進、疾病予防の観点から健康管理のあり方を学修し、自他ともに健康の保持増進できる能力を涵養することに加え、社会福祉の役割やしくみなど、基礎的な知識を涵養する科目群を配置し、『展開科目』では、人々の疾病を予防し、心身の健康の保持増進と安全の確保に必要な実践的技術を涵養する科目群を配置している。

③ 専攻領域科目

体育学科に、スポーツ教育領域及び競技スポーツ領域、健康学科に、ヘルスプロモーション及びソーシャルサポート領域を設け、領域毎に基幹科目、展開科目、自由科目の三種類の科目群から構成される領域科目を配置している。

なお、2017(平成29)年から、新たに特別支援学校一種免許状(知的障がい・肢体不自由者・病弱者)授与資格に資する「知的障がい児・者のスポーツ指導」や「肢体不自由児・者のスポーツ指導」などの科目を配し、体育・スポーツに基軸を置きながらも、インクルーシブな社会に即したより広範な領域での学生のキャリア開拓にも取り組んでいる。

③-1 スポーツ教育領域

『基幹科目』では、中学校及び高等学校の教育現場において、体育科・保健科の目標、内容、指

導計画、学習指導法、評価の方法について理解を深め、保健体育教員として授業を展開していくために必要な基礎的資質を涵養する。

『展開科目』では、中学校及び高等学校学習指導要領(保健体育)に記載された体育分野の領域に合わせた十八種目の実技科目を置き、スポーツ教育に習熟し、学校現場を中心に青少年の健全育成に資するための高度な実践力と専門知識を涵養する。

③-2 競技スポーツ領域

『基幹科目』では、学生自身がメンタルスキルや各競技種目に合わせたトレーニング方法を身に付け、そのスキルを実践場面で活用するだけでなく、指導者の立場から、個々のニーズに合わせた、適切な技術・スキルトレーニング計画を立案し実践する能力を涵養する科目群を配置した。

また、『展開科目』では、スポーツ現場において生じた傷害に対して適切な救急処置を理解し、実践できる能力を養い。さらにトップアスリートや、それを支えるコーチングスタッフに必要な、科学的トレーニングやコーチング、コンディショニング管理に関する科目群を配置して、高度な実践力と専門知識を涵養する科目群を配置している。

③-3 ヘルスプロモーション領域

『基幹科目』では子どもの精神発達の特徴や課題を理解し、学校現場において子どもの健全な成長を援助出来る能力を涵養する科目群を配置し、『展開科目』では、児童から高齢者まで幅広い年代の疾病予防等に習熟し、学校や職場などにおける健康管理に関する高度な専門知識と実践力を涵養する。また、『自由科目』では、中学校・高等学校教諭一種免許状及び養護教諭免許状授与資格に対応する教育実習や、これに関する事前及び事後の指導を含めた科目群について選択的に学修する。

③-4 ソーシャルサポート領域

『基幹科目』では「社会福祉Ⅱ」を置き、社会福祉の現状について政策論を軸に学修し、社会福祉のあり方や課題を偏りなく考察できる能力を涵養する科目群を配置し、『展開科目』では、社会保障制度、就労支援制度、介護保険制度など、福祉に関する制度や法律の現状と課題を認識するための科目を置くとともに、相談援助にかかわるコミュニケーション技術を養う科目を置き、専門的な知識や技術を習得することで、福祉ニーズに応える企画力やコーディネート力を涵養する科目群を配置している。

また、『自由科目』では、中学校・高等学校教諭一種免許状授与資格に対応する教育実習や、これに関する事前及び事後の指導を含めた科目群について選択的に学修する。

■スポーツ文化学部

(1) スポーツ文化学部における人材の養成に関する目的

スポーツ文化学部

スポーツによる国際相互理解を基軸としながら、国際社会に対して日本の精神に根ざしたスポーツによる開発援助、国際協力、国際交流などの実践的な技術や理論を推進できるような人材を育成する。

武道教育学科

我が国固有の身体運動文化である武道や芸道に関する知識と技術を身につけるとともに、国内

外において正しく武道や芸道を指導し、伝えることができる人材を育成する。

スポーツ国際学科

スポーツ国際学科は、国際社会において日本の精神文化に立脚したスポーツによる開発援助、国際支援ができるとともに、日本と諸外国とのスポーツ交流を推進できる人材を育成する。

(2) スポーツ文化学部卒業認定及び学位授与の方針

スポーツ文化学部は、本学の教育理念を根幹とし、「独自の教育・研究プログラムを創造的に展開し、我が国の体育・スポーツ界ならびに来るべき知識基盤社会をリードする大学を目指す。また、同時に心身ともに逞しく、明朗活発で、自らが選択した職種の現場において即戦力として活躍できる人材の育成を図る。」という教育目標を掲げて、それを実現するために教育課程（カリキュラム）を編成・実施している。この課程を終えて、学位が授与されるためには、以下のことが求められる。

- ① 所定の期間在学し、本学の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、卒業要件単位数を修得する。
- ② 体育学（スポーツ科学）及び武道学、伝統芸能の研究を深め、多面的な履修を通じて基礎的な学習能力を養い、日本の「道」の精神に基づく実践的技術を向上させ、国際社会においてスポーツ・体育による貢献のできる専門的な知識を理解するとともに、これらを実践できる力を身につける。
- ③ 学科における専門的学習と学科を横断する学習とを通じて、現代社会において日本の伝統的な文化に根差した国際貢献の役割を深く理解し、課題探求心、問題解決能力、コミュニケーション能力などの総合力を身につける。

(3) スポーツ文化学部（2019 カリキュラム）における教育課程編成方針

本学は、建学の精神に基づく教育使命を実現すべく、スポーツ文化学部には武道教育学科、スポーツ国際学科を置き、次の方針のもとに教育課程を編成し実施する。

- ① よき市民及び国際人として身につけるべき基本的な素養としての社会人基礎力を形成するため、スポーツ文化学部の学部共通科目では言語コミュニケーションや基礎教養に関わる教養科目と本学独自の総合科目を配し、調和のとれた人間力をたかめる。
- ② 武道学、伝統芸能の実践とこれらの文化の領域を包括するスポーツ文化学を専攻する学生として、学部専門科目（理論）と学部専門科目（体育実技）を学修し、スポーツ文化学ならびに武道と伝統芸能の基本的な知識や実践力を修得する。
- ③ 各学科において、当該学問分野の基幹となる学科基礎科目と学科専門科目の学修をするとともに、多様で実践的な科目を通じて、さらに高度な知識や実践力を体得する。
- ④ 体系的かつ専門的な学修を通じて体得した知識、技術等を総合的に活用し、国内外において武道教育、伝統芸能、体育指導、スポーツ国際交流、スポーツ支援、スポーツ国際開発援助などの領域における今日的課題を実践的に解決する力を獲得する。

武道教育学科

伝統に由来する体系化された「我が国固有の伝統スポーツ文化」である武道の学修（実践・理論）を通じて、心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養い、国

家社会の平和と繁栄に寄与する人間形成を育むとともに、さらには伝統芸能を通じて日本の身体文化、精神文化を再確認した上で、国際的交流や貢献を推進するとともに、国際相互理解の増進と国際平和に寄与できるよう、関連する実践的な技術や理論について学修する。スポーツを通じた国際理解、国際平和への貢献・実現に積極的に取り組めるよう、武道教育学科には武道教育と伝統芸能に関する学修領域を設け、より高度な実践力と知識とが体得できる本学独自のプログラムを設ける。

スポーツ国際学科

スポーツを通じた国際相互理解を基盤として、体育・スポーツによる国際交流を推進し、国際社会にあっては日本の精神文化に立脚した体育・スポーツによる国際支援、国際開発援助を促進するための知識と技術を学修する。スポーツという文化を通して文化的他者を理解するために、異文化理解の学修領域を設けるとともに、異文化において体育・スポーツ指導ができることを目指したスポーツ実践の学修領域も設定することで、より高度な実践力と知識が体得できる本学独自のプログラムを設ける。

(4) スポーツ文化学部(2019カリキュラム)における体系的な教育課程の編成

スポーツ文化学部の人材養成の目的ならびに教育課程の編成方針に則り、『学部共通』、『学部専門(理論)』、『学部専門(体育実技)』ならびに『学科基礎』および『学科専門』科目群を配置し、体系的な教育課程を編成している。【資料3】

必修・選択必修の別および各科目の履修順序については、体育学部と同様であるため割愛する。

①『学部共通科目』、『学部専門(理論)科目』および『学部専門(体育実技)科目』

スポーツ文化学部の目的を達成し目指す人材を養成するために、『学部共通』科目を区分1として、「教養科目」、「総合科目」の2種類の科目群から総合的に構成している。

また、『学部専門(理論)』科目を区分1として、「基幹科目」および「展開科目」の2種類の科目群で構成し、ならびに『学部専門(体育実技)』科目を区分1として、「展開科目」の1種類の科目群で構成している。

②『学科基礎科目』

『学科基礎』科目群を区分1として、学科共通の科目として配置し、「基幹科目」と「展開科目」の科目群で構成している。

「基幹科目」では、グローバル社会を生きる人々の生活や文化、宗教や慣習、民族に至るまでの幅広い分野とスポーツの関連に関する基礎的知識について学修する科目群を配置し、「展開科目」では、トレーニングやその指導法を主眼にしながら、バイオメカニクスや心理的側面からのアプローチなど、スポーツ科学に関する科目群や、人権教育や学校安全や学校保健等に感ずる管理運営に関する科目群、国際情勢やスポーツが国際的に果たしうる役割などを学修する科目群、ならびに古来からの身体活動である伝統芸能に資する科目群から選択的に学修する。

③学科専門科目

武道教育学科およびスポーツ国際学科ごとに、学科独自の「基礎科目」および「展開科目」を配置し、さらにそれぞれ「理論科目」および「実践科目」で細分化して体系的な教育課程を編成している。

また、「学科専門(資格関連)科目」では、として、中学校及び高等学校の保健体育教員として授

業を展開していくために必要な基礎的資質を涵養する科目群や、中学校・高等学校教諭一種免許状授与資格に対応する教育実習及びこれに関する事前及び事後の指導を含めた科目群を配置して、選択的に学修する事としている。

③ー１ 武道教育学科 学科専門科目

「基幹（理論）科目」では、武道を通じた教育や武道の技術のみならず、武道の普及や国際交流について学修し、②『基幹（実践）科目』では、伝統文化交流に資する実習科目を配置し、伝統文化の交流について実践的に学修を行なう。

また、「展開（理論）科目」では、古典芸能や舞踊や伝統芸能に資する各論的学修を行ない、「展開（実践）科目」では、学修者の競技専攻や伝統芸能実技について、実践的学修に資する科目群を配置している。

③ー２ スポーツ国際学科 学科専門科目

「基幹（理論）科目」では、世界各国の地域特有のスポーツ文化に関する必修科目を学修し、「基幹（実践）科目」では、フィールドワークやスポーツを通じた国際交流に資する実践的に学修を行なう。また「展開（理論）科目」では、世界のスポーツ情勢やスポーツ政策、スポーツマネジメントなど、スポーツの今日的課題に対応できるよう各論的学修を行ない「展開（実践）科目」では、身体表現や海外スポーツを指導する上で必要な実習科目群を配置している。

■児童スポーツ教育学科

（１）児童スポーツ教育学部における人材の養成に関する目的

児童期における心身の発達特性に応じた体づくり、運動遊び・スポーツ、体育及び健康等の指導や支援に関する専門的な知識と技術を備えた指導者を養成する。

（２）児童スポーツ教育学部の卒業認定及び学位授与の方針

児童スポーツ教育学部は、本学の教育理念を根幹とし、「独自の教育・研究プログラムを創造的に展開し、我が国の体育・スポーツ界ならびに來たるべき知識基盤社会をリードする大学を目指す。

また、同時に心身ともに逞しく、明朗活発で、自らが選択した職種の現場において強い即戦力として活躍できる人材の育成を図る。」という教育目標を掲げて、それを実現するために教育課程（カリキュラム）を編成・実施している。この課程を終えて、学位が授与されるためには、以下のことが求められる。

- ① 所定の期間在学し、本学の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、卒業要件単位数を修得する。
- ② 体育学（スポーツ科学）及び児童教育学の融合的研究を深め、多面的な履修を通じて基礎的な学習能力を養い、次代を担う子どもたちの調和のとれた発達、健康・体力の向上等に貢献できる専門的な知識を理解するとともに、これらを実践できる力を身に付ける。
- ③ 学科・コースにおける体系的学習や横断型の学習等を通じて、現代社会における児童スポーツ教育学の役割を深く理解し、課題探求力、問題解決力、コミュニケーション能力などの総合的能力を身に付ける。

(3) 児童スポーツ教育学部(2019カリキュラム)における教育課程編成方針

本学は、建学の精神に基づく教育使命を実現すべく、児童スポーツ教育学部に児童スポーツ教育学科(児童スポーツ教育コース、幼児教育保育コース)を置き、次の方針のもとに教育課程を編成し実施する。

- ① よき市民及び国際人として身につけるべき基本的な素養としての社会人基礎力を形成するため、児童スポーツ教育学部共通科目では基軸科目を学修の中心に据え、これに加えて言語コミュニケーション科目や教養科目、さらには本学独自の総合科目を配し、調和のとれた人間力を高める。
- ② 児童スポーツ教育学を専攻する学生として、児童スポーツ教育学科共通の基幹科目、スポーツ実技科目等を学修し、スポーツを通じて児童の心身さらには生命に至るまで、基本的な知識や実践力を修得する。
- ③ 各コースでは、当該領域の基幹となる科目や発展的科目等を学修するとともに、教育の現場に関わる多様な科目を通じて、さらに高度な知識や実践力を体得する。
- ④ 体系的かつ専門的な学修を通じて体得した知識、技能、態度、志向性等を総合的に活用し、児童期(乳幼児から小学校修了まで)における心身の発達特性に応じた体づくり、運動遊び・スポーツなどの指導や支援が積極的に展開できる力を獲得する。

児童スポーツ教育コース

学校現場や地域における児童期の体育・スポーツや健康に関連する指導・支援を適切に行えるよう、関連する実践的な技術や理論について学修する。教科指導はもとより、体育行事やクラブ活動、総合型地域スポーツクラブ等で求められるより高度な実践力と知識とが体得できる本学独自のプログラムを設ける。

幼児教育保育コース

教育・保育の現場における体づくり・運動遊び、健康指導等に関連する実践的な技術や理論について学修する。加えて、食と栄養、障がいのある児童や病児の保育についても基礎的な知識を持ち、児童の発育・発達、教育について深く理解できるようより高度な実践力と知識とが体得できる本学独自のプログラムを設ける。

(4) 児童スポーツ教育学部(2019カリキュラム)における体系的な教育課程の編成

児童スポーツ文化学部の人材養成の目的ならびに教育課程の編成方針に則り、『学部共通科目』、学部共通の『自由科目』、『資格関連科目』、『学科共通科目』『コース専門科目』ならびにコース専門の『自由科目』を配置し、体系的な教育課程を編成している。【資料4】

必修・選択必修の別および各科目の履修順序については、体育学部およびスポーツ文化学部と同様であるため割愛する。

①『学部共通科目』、学部共通『自由科目』、『資格関連科目』

児童スポーツ教育学部の目的を達成し目指す人材を養成するために、『学部共通科目』を区分1として、「言語コミュニケーション科目」、「教養科目」、「総合科目」、「基軸科目」の4種類の科目群を

配置し、同じく学部共通の『自由科目』を区分1として『留学生科目』を配置し、『資格関連科目』を区分1として「資格関連科目」に資する科目群を配置する事で総合的に構成している。

②『学科共通科目』

学科共通科目を区分1として、「基幹科目」と「スポーツ実技科目」ならびに「資格関連科目」を配置している。

「基幹科目」では、子どもの生理や身体活動についての理解を深める事で、児童期の体育・スポーツや健康に関連する指導・支援を適切に行なうための実践的な技術や理論について学修する科目群を配置し、「スポーツ実技科目」では、十三種目のスポーツ実技科目を配置し、各スポーツの特性と技能について学修する。また、「資格関連科目」では、多方面での体験的学習を通じた実践教育により、学生自身のキャリア形成を支援に資する科目群を配置している。

③『コース専門科目』ならびにコース専門の『自由科目』

児童スポーツ教育コース及び幼児教育保育コースごとに『コース専門科目』およびコース専門の『自由科目』を配置している。

児童スポーツ教育コースの『コース専門科目』では、区分1として、「教育の基礎に関する科目」と「教科の内容及び指導法に関する科目」ならびに「児童スポーツ教育科目」の科目群で構成している。同様に幼児教育保育コースの『コース専門科目』では、区分1として、「基幹科目」、「保育の内容と指導に関する科目」、「発展・展開科目」の3つの科目群を配置している。

コース専門の『自由科目』では、児童スポーツ教育コースでは、小学校教諭一種免許状授与資格に係る関連科目ならびに実習科目群を配置し、同様に幼児教育保育コースでは、小学校教諭一種免許状および保育士授与資格に係る関連科目ならび実習科目群を配置している。

③-1 『児童スポーツ教育コース専門科目』

「教育の基礎に関する科目」では、学校現場における指導・支援に関する実践的な技術や理論に資する能力や資質を涵養している。また、「教科の内容及び指導法に関する科目」では、主に小学校の教科教育全般における基本的知識やその指導法や実践論などのついで科目群を配置している。加えて「児童スポーツ教育科目」では、児童期を対象とした体育・スポーツ分関連科目や、学校現場に収まらない幅広い分野におけるスポーツ活動に資する各論的な学修科目を配置することで、学校現場のみならず地域スポーツの現場でも活きる確かな知識と実践力を涵養している。

なお、「自由科目」では、保育内容にかかる総論や指導法に関する科目群や、小学校教諭一種免許状授与資格に係る関連科目ならびに実習科目等を配置して選択的な学修を行なうために科目群を配置している。

③-2 『幼児教育保育コース専門科目』

「基幹科目」では、幼児期における教育や保育活動における基本的な知識や技能の修得に資する科目群を配置し、教育・保育現場の基礎的知識の理解や、体験的学習による実践力の涵養に努めている。また、「保育の内容と指導に関する科目」では、幼児期の保育を対象を絞った基礎的知識の修得と保育内容の指導法について学修する科目群を配置している。

さらに「発展・展開科目」では、特別に配慮が必要な幼児や、家庭での保育に関する各論的な学習に向けた科目群を配置している。

なお、「自由科目」では保育内容にかかる総論や指導法に関する科目群や、保育士資格に係る実習科目や実習指導科目を配置して選択的な学修を行なうための科目群が配置されている。

(イ) 教育方法および履修指導の方法

教育方法および履修指導の方法の変更は行なわない。なお、本学における教育方法及び履修指導は、学部別の履修規程などで示しているものの、全学で共通した方針で実施し、現状については以下のとおりである。【資料 5-1】、【資料 5-2】、【資料 5-3】

(1) 教育方法

教育方法については、開設する科目の目的と内容、教育効果等を考慮して、講義（半期 2 単位）、演習（半期 2 単位又は 1 単位）、実技・実験（半期 1 単位）、実習（30 時間 1 単位）の形式を定めている。

① 授業の受講生数と教育方法

本学では、授業方法に応じた学生数を、講義の上限は 200 人、演習及び実技・実験の上限は 50 人とし、野外実習等は履修希望状況により団編成を行っている。

また、授業時間割は、ホームルームクラスに割当てられており、1 ホームルームクラスの人数は原則 20 人から 25 人となっていることから、授業クラスは、授業方法及び授業科目の内容等に応じて、上限の範囲内で複数のホームルームクラスを合わせた授業形式を行っている。【資料 6】

体育、情報処理、音楽などの実技を伴う技能教科の授業においては、一斉指導と小集団指導と個別指導とを組み合わせ、全学生に共通する知識や技能の修得水準の確保と個性や能力に応じた修得・習熟の保障とを両立させている。

なお、収容定員の増減にあたっては、体育学部体育学科では 40 クラスが編成されており、50 名の定員増加を図った際のクラス編成に与える影響は 1 ホームルームクラスにつき 1.25 人と 2 名以内の増員となる。また、スポーツ文化学部武道教育学科では、同様に 4 クラスが編成されており、収容定員の変更による影響は、1 ホームルームクラスにつき 5 名の減員。児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科では、6 クラスが編成され、1 ホームルームクラスに与える影響は同じく 5 名の減員となる。

いずれの増減にあたって、クラス編成の原則としている 20 名～25 名の範囲以内での変更となり、授業方法及び授業科目の内容には、著しく影響を与える事はないと考えられる。

② 授業の開講体制

授業については、単独担当、複数担当（オムニバス方式、複数の教員で共同担当）などの授業の特性及び教員の専門性に基づき、担当者を配置する。

原則として、単独教員による開講であるが、授業の特性又は授業の展開計画に応じて、より専門性の高い教員の協力による複数担当での展開、さらには、少数の履修人数による効果を期待したクラス指定の授業など、関係教員の専門性と授業科目の特性に応じた開講体制をとる。

③ 新入生導入教育

新入生導入教育では、高校の学びを補完する補習教育や、大学での学修内容に資するリテラシー教育を中心とした「入学前教育」と、入学後の学修と学生生活に関するガイダンスを始めとした

「新入生オリエンテーション」を各学部の特性に合わせて展開している。

「入学前教育」では、大学での学びへの導入となる課題の配信とその添削、高校時の学びの補修教育を実施する事で、大学での学修にスムーズに移行していく事を目的としている。

また「新入生オリエンテーション」は、入学式の前日から約 1 週間の日程で新入生オリエンテーション期間を設定し、その中で履修と学生生活に関するガイダンスなど、本学伝統教育に資するの新入生の教育を行なっている。

④ 実地実習による実践力の育成

教育実習、養護実習をはじめとした、その他現場実習では、カリキュラム編成により系統的に学修した一般教養や専門知識を基に、実地実習により体験的に学習した内容を、それぞれに配当された「実習指導」科目や「実践演習」科目を介して架橋・往還することで、教育・スポーツの現場に則した確かな実践力の育成を重視している。

また、海浜実習又はキャンプ実習及びスキー実習又はスケート実習などは、理論と実技の融合化を図るとともに、学生間の交流を深めることにより、コミュニケーション能力を高めることができるように、合宿研修を伴う実習形式を展開している。

(2) 履修指導方法及び履修モデル

入学時の新入生オリエンテーション期間に履修に関するガイダンスを実施し、各学部及び各学科の理念と学修の目標、カリキュラムと履修方法を説明している。

(3) シラバス

学生が授業内容を十分把握した上で履修計画を立てられるように、全科目のシラバスを作成し、本学ポータルサイト上の「n-pass (エヌ・パス)」の画面上で見られるようにしている。シラバスには、①授業の概要と目的、②到達目標、③授業の内容・計画、④成績評価の方法・基準、⑤準備学習や受講生に対するメッセージ、⑥教科書・参考書、の六項目について詳細に記述している。

(4) 履修ガイダンス

入学時及び年次の更新期には、オリエンテーション又は年次教育を開催して、教育課程と授業科目の構成等、履修登録、単位修得、授業、試験、成績及び単位認定方法、履修要領等についてガイダンスを行っている。

なお、これらの内容については、本学ポータルサイト上の「n-pass (エヌ・パス)」の機能上に掲載し、学生が見ることができるようにしている。

(5) オフィスアワー

専任教員は、学生からの履修や学習についての相談に応じるためにオフィスアワーを設定し、学生に周知する。また、オフィスアワー以外の時間帯でも、可能な場合は対応する体制をとっている。

(6) クラス担任

特に修学上のサポートが必要な 1・2 年次では、学生約 20～25 人を 1 単位とする「クラス」を編成し、1 クラスに 1 名、専任教員を担任として配置している。

履修指導をはじめ、学生生活全般についての相談にのり、指導にあたっている。なお、上級学年となる３年生以上では、教育研究上の専門性やこれに伴う進路指導等を考慮し、ゼミ担当教員を担任として設定している。

(7) 履修登録制限（CAP 制）

履修科目の年間登録上限については、大学設置基準第二十七条の二に基づき、１単位当たりの学修時間 45 時間を勘案し、学部ごとに以下の履修登録制限を定めている。

図表 2 学部ごとの履修登録制限（CAP 数）一覧

学 部	履修制限（単位）数
体育学部	5 0 単位
スポーツ文化学部	4 4 単位
スポーツマネジメント学部	4 4 単位
児童スポーツ教育学部	4 4 単位
保健医療学部	4 3 単位

(ウ) 教員組織の変更内容

教員組織の変更は行わない。なお、大学設置基準第十三条別表第一より算定した本学における必要専任教員数並びに現行の専任教員数は以下のとおりである。

図表 3 学部ごとの必要教員数と現行の教員数一覧

学 部	学 科	必要専任教員数	現行の教員数
体育学部	体育学科	29 人	61 人
	健康学科	12 人	14 人
スポーツ文化学部	武道教育学科	9 人	11 人
	スポーツ国際学科	9 人	10 人
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	10 人	13 人
	スポーツライフマネジメント学科	9 人	12 人
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育学科	14 人	29 人
保健医療学部	整復医療学科	9 人	16 人
	救急医療学科	8 人	11 人

なお、このうち収容定員の変更を行なう体育学部の必要専任教員数は、体育学科 29 人、健康学科 12 人であるが、現行の専任教員数は体育学科 61 人、健康学科 14 人でこの基準を上回っている。

加えて、教職教育を担当する教員を 8 人配置し、質の高い教員養成を展開すべく教職教育の充実を図っている。収容定員変更後の必要教員数は、体育学科 30 人、健康学科は変更なく 12 人であり、基準を満たす人数となっている。

同様に、スポーツ文化学部の必要専任教員数は、武道教育学科 9 人、スポーツ国際学科 9 人、児童

スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科の必要専任教員数は 14 人となっている。

ともに現行の専任教員数が必要専任教員数を上回り、合わせて各 1 人ずつの教養教育担当の専任教員を配置している。両学部とも収容定員減の変更を行った後も、教員組織の変更は行わないことから、それぞれ基準を上回り教員組織には問題はないと言える。

さらに、従来の教員人事計画を進め、定年等により専任教員が退職した場合は、相応に教員を補充する等、然るべき増員を行うことで教育環境の維持や教育の質を担保している。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

施設・設備等の変更は行わない。大学全体の現状については以下のとおりである。

(1) 校地、運動場等

日本体育大学の校地面積は、208,049 m²あり、東京・世田谷キャンパスは、1 街区から 5 街区 39,894 m²、6 街区 1,140 m²の合計 41,034 m²、横浜・健志台キャンパスは 167,015 m²となっている。校舎のほか体育大学の特性上から種目ごとに運動用地及び体育館用地を有しており、大学設置基準における校地面積（体育学部 42,400 m²+児童スポーツ教育学部 8,000 m²+保健医療学部 6,800 m²計 57,200 m²）を上回っている。

東京・世田谷キャンパスと横浜・健志台キャンパス間の移動時間は約 1 時間を要するが、両キャンパスにおける運動施設等の各種施設は、体育大学としての教育研究の実践の場として整備されており、教育研究活動の目的を達成するため活用している。

① 東京・世田谷キャンパス

東京都内の都市型のキャンパスとして、1 街区から 5 街区の 39,894 m²と 6 街区 1,140 m²を体育学部、スポーツ文化学部および児童スポーツ教育学部で使用する。1 街区から 3 街区の教育研究棟は、教室、演習室、実験室、研究室、図書館等があり、5 街区のスポーツ棟は、大・中・小体育館、屋内プール、スポーツ・トレーニングセンター等があり、人工芝のグラウンドと 100m 走 8 コースの全天候型走路を有している。

6 街区には児童スポーツ教育学部が特に使用する教室、実験室、演習室がある。また、本キャンパスには、男子寮として深沢寮、女子寮として和泉寮、卒業生なども利用出来る世田谷ゲストハウスがある。

また、交通アクセスは、東急田園都市線桜新町駅より徒歩約 15 分の閑静な住宅街に位置している。

② 横浜・健志台キャンパス

体育施設として広さや敷地を必要とする屋内運動施設や屋外運動施設の充実した郊外型のキャンパスであり、167,015 m²を有し、体育学部、スポーツマネジメント学部および保健医療学部で利用している。その内訳は、校舎敷地 91,306 m²、運動体育施設敷地 11,900 m²、運動用地 63,809 m²である。また、本キャンパスには、男子寮として健志台合宿寮が、女子寮として健志台桜寮、卒業生なども利用出来る横浜ゲストハウスがある。

敷地内には、教室及び研究室、図書館分室、体育館 4 棟、学生の福利厚生施設 2 棟、スポーツ・トレーニングセンター、屋外温水プール、陸上競技場、テニスコート、ラグビー場、サッカー場、野球場などを配している。平成 26 (2014) 年 3 月には、保健医療学部用校舎棟として 9 号館、平成 30 (2018) 年 3 月にはスポーツマネジメント学部用校舎棟として 8 号館を竣工している。

また、交通アクセスは、東急田園都市線青葉台駅よりバス利用約 10 分の静かで緑豊かな場所に位置している。

③ 校外施設

校外施設として、長野県菅平に夏期にはキャンプ場、冬期にはスキー場ロッジとして利用可能な菅平実習場を保有している。

(2) 校舎等施設の整備

本学の校舎面積は、両キャンパスで 67,897 m² を有しており、東京・世田谷キャンパスは 32,683 m²、横浜・健志台キャンパスは 35,214 m² である。大学設置基準面積（体育学部 23,334 m² + 児童スポーツ教育学部 4,958 m² + 保健医療学部 7,983 m² 計 36,275 m²）を上まわっている。

東京・世田谷キャンパスの周辺の環境は、閑静な住宅街であり、研究室、実験室、体育研究所などの学術研究施設及び教室、図書館、体育館、スポーツ・トレーニングセンター、屋内温水プール、屋外運動場といった教育に関する建物等を擁している。また、両キャンパスの教室内は、ビデオプロジェクター等マルチメディア機器を設置している。

横浜・健志台キャンパスは前述のとおり郊外型キャンパスのなかに教育研究施設のほかスポーツのメッカとしての各種競技の公式競技場が完備している。平成 26 年（2014）年 4 月には保健医療学部用校舎棟である 9 号館を竣工し、鉄骨造 4 階建て延床面積 4,755 m²、柔道場 1 室、実習室 3 室、教室 12 室、研究室 21 室、事務室、学部長室等を有し、実習が行える柔道整復施術室（44 m²）も含まれている。

さらに平成 26（2016）年 4 月には、スポーツマネジメント学部用校舎棟 8 号館を竣工した。その概要は鉄骨造 4 階建て延床面積 5,627 m²、教室 18 室、ゼミ室 2 室、研究室 26 室、事務室、学部長室等を有している。

(3) 図書等の資料及び図書館

① 図書館閲覧室、閲覧席数、レファレンス・ルーム、検索手法等

図書館本館は、東京・世田谷キャンパス教育研究棟 2 階(441.93 m² 175 座席)・3 階(530.09 m² 220 座席)に配置し、閲覧室は利用形態によって選択できるよう、テーブル席の他、間仕切りされた 1 人用閲覧席、複数人数で利用できるグループ閲覧室(3 室)を整備している。本館の書架収容力は、地下の自動化書庫を含めて約 46 万冊である。自動化書庫資料は、同キャンパス内からオンラインで出納することができる。

横浜・健志台キャンパスには、分館（759.52 m² 183 座席）、学習室（121 m² 57 座席）と 9 号館 2 階の保健医療学部図書館（288.32 m² 92 座席）を配置し、書架収容力はそれぞれ、分館約 4.9 万冊、保健医療学部図書館約 0.7 万冊である。加えて 3 号館 2 階に書架収容力約 2.0 万冊の保存庫を有している。

大学全体では和書約 39 万冊、洋書約 13 万冊の合計約 52 万冊を有している。

蔵書資料の検索は学内外からインターネット上で検索でき、一部電子書籍は学外からのリモートアクセスが可能である。また、EPUB リフロー版電子書籍を導入し、紙媒体資料の PDF 等への媒体変換とメール送信のサービスとあわせて、プリントディスプレイのある学生への対応を行っている。

キャンパス間の図書館資料輸送は、学内定期便と業者による宅配便を組み合わせで最大週 4 回行うことが可能で、利用者の移動に係る負担を軽減し利便性を高めている。

本館と分館は、授業期間中は平日 8 時 45 分から 22 時まで、土曜日は 8 時 45 分から 19 時まで、日曜日は 10 時 15 分から 18 時まで、司書を配置して開館しており、自習や図書館内外の資料請求、レファレンス等に対応している。

本学図書館は、国立情報学研究所の NACSIS-CAT/ILL に参加し、文献複写や相互貸借などの他大学図書館との相互協力による学術情報の流通や、一般利用者への無料公開、メールによるレファレンス対応等、地域社会貢献に積極的に取り組んでいる。

② デジタルデータベース、電子ジャーナル等の整備

東京・世田谷キャンパスと横浜・健志台キャンパスの図書館内には、館内貸出用ノート PC を含めて学生用 PC 合計 152 台を設置し、予習復習の情報収集やレポート・論文作成等に活用されている。近年特にデジタルデータベース、電子ジャーナル等デジタルコンテンツの利用が増加していることに応え、学生向け図書館情報リテラシー教育や、大学院生や教職員向けのデータベース活用講座や教育著作権講習の開催による情報提供等、利用者教育や教育研究支援活動に積極的に参画している。

図書館が契約中のデジタルデータベースには、医中誌 Web、メディカルオンライン、ジャパンナレッジ、Science Direct、Wiley Online Library、MEDLINE Complete、SPORTDiscus with Full Text、Health Source など 14 種に加えて、朝日新聞聞蔵Ⅱビジュアル、読売ヨミダス歴史館、毎日新聞毎索パックの新聞 Web 版がある。

電子ジャーナルについては、上記データベースによるものに加えて、American Journal of Education、Adult Education Quarterly など国内外 130 種以上を整備している。

検索については、タイトルからの検索を可能にする電子ジャーナルリストに加えて、複数データベースの同時検索を可能にする統合検索機能を導入し、また、学外からのリモートアクセス化を推進中で、一層の利便性の向上に努めている。

今後も更にデジタルデータベース等の整備を推進し、教育・研究支援を行う。

(4) ICT の整備

① インフラストラクチャ

(a) 全学ネットワーク

コンピュータはもとより、利用者が拡大するスマートフォン、タブレットを収容することを目的に、平成 25 (2013) 年度に有無線ネットワークの高速化、および無線ネットワーク拡充を行い、全学ネットワーク全体の再設計を行った。現在でも継続してこのネットワークを利用している。

導入から 7 年が経過し、機器の老朽化及び保守の終了が懸念される為、令和 3 (2021) 年度から令和 4 (2022) 年度年にかけて、学内ネットワーク機器の入れ替えを予定している。

なお、コロナ禍によるオンライン授業等の利用増加によるインターネットからのアクセス増加を考慮し、令和 2 (2020) 年度はデータセンターの回線速度を 1Gbps から 10Gbps に強化した。令和 3 (2021) 年度もオンライン授業継続の見込みの為、両キャンパスとデータセンター間の専用線の回線速度も 10Gbps に強化する予定としている。

また、無線 LAN については、横浜・健志台キャンパス 1 号館など無線アクセスポイントが設置さ

れていない教室について、臨時に無線機を設置する等の対応を実施している。

スマートフォンやモバイルノートの増加に伴い、以前より無線LANの重要性が増しており、接続台数や利用可能エリアの強化を今後も継続して検討していく。

(b) 危機管理

BCP（Business Continuity Planning：事業継続計画）、DR（Disaster Recovery：災害時復旧）の観点から、教育の維持のために必要とされる情報、システムを遠隔地（北海道）に配置し、その保護に努めている。

平成30（2018）年には、データセンターに仮想基盤専用の共有ストレージを導入し、複数サーバで1つのストレージを共有する事で、サーバ1台で障害が発生しても、別のサーバで機能を継続する事が可能となった。結果、サーバ障害時はもちろん、定期的なメンテナンス時においても、システムを停止せず対応・復旧が行えるため業務継続性を改善が見込まれる。

また、ほぼ全てのシステムが仮想サーバ環境で稼働させる設計は継続しており、オンライン授業の利用増でサーバ負荷が急に高くなった際も、メモリやCPUなどの割当てを必要に応じて増やし、翌日には問題が出ないように対応している。

② PC 環境の整備

(a)PC 教室設備

平成26（2014）年4月にPC教室設備の増設を行い、単一のコンピュータでMacOS、WindowsOSのいずれもが利用できる環境とする等、高度な情報技術を用いて教育を支援している。

授業科目で利用するPC教室(MacOS環境)と、一般教養の授業で利用するPC演習室(WindowsOS環境)を整備しているが、PC教室(MacOS環境)はApple社のハードウェアが過渡期にあり、現在次期端末選定について検討中している。

また、東京・世田谷及び横浜・健志台の両キャンパスのPC演習室は、新規にWindows環境が利用できる教室として令和元（2019）年度に整備した。

PC教室：東京・世田谷キャンパス 70台／横浜・健志台キャンパス 116台

PC演習室：東京・世田谷キャンパス 144台／横浜・健志台キャンパス 105台

※いずれも学生用端末数（教卓及び予備機は含まない）

(b)学生開放用PC

課外時等の予復習、高度情報技術の体験の場を提供するため、学生ラウンジ、学生寮に学生が自由に利用できるコンピュータを設置している。

設置台数：東京・世田谷キャンパス 42台（教育研究棟1階 学生ホール）

横浜・健志台キャンパス 16台（1号館 3階および4階スペース）

各学生寮 23台（東京・世田谷：深沢寮5台、和泉寮10台）

（横浜・健志台：合宿寮6台、桜寮2台）

また、キャンパス内には成果物等の印刷、ドキュメントのコピー、スキャンを行うことのできる複合機を設置し、教育活動を下支えしている。

(c)Web サービス

オンライン授業の増加に伴い、マイクロソフトチームズの活用や、令和2(2020)年度にオンライン会議システムアプリケーション Zoom の法人契約等を実施した。

これにより各教員が担当科目の学修に適したツールを複合的に活用してする事が可能となり、学生の習熟度向上に努めている。

また、教学系ポータルサイト(n-pass)を活用した課題や授業資料の提出が増えている為、ディスク容量も拡張しているが、令和3(2021)年度には、更なるデータ容量増加を見込み、データセンター共用ストレージ自体の容量拡張を実施予定としている。

エ 2以上の校地において教育研究を行う具体的計画

本学では、体育学部体育学科および健康学科のみ、2以上の校地において教育研究を行なっている。については、ここでは体育学部体育学科および健康学科の具体的計画について記載する。

本学体育学部では、体育・スポーツにおける高度な専門的知識を習得するための教育効果の向上や、本学の社会的使命である高度な国際競技力を有し他者の模範となる優れたアスリートを育成するために、東京・世田谷および横浜・健志台の両キャンパスにそれぞれの競技における専門施設を設置し、学修環境の充実に努めている。

特に世界レベルの競技力を有する学生アスリートが数多く所属する体育学科では、教育・研究のみならず学生がクラブ活動に専念できる環境を整備することは大学の特性上、必要不可欠であると言える。

そこで体育学科では、学生本人が所属するクラブの活動拠点が置かれたキャンパスを自身の所属キャンパスとして設定し、「世田谷クラス」と「健志台クラス」の2つの所属クラスに大別して、同一のカリキュラムを別々のキャンパスで受講できる学修環境を構築している。なお、入学時に所属クラブが定まっていない学生や、クラブに所属する予定のない学生は、両クラスの人数比率を勘案し、すべて世田谷クラスとしている。

ただし、先述した専門施設は、どちらかのキャンパスにのみに設置してあるため、特に実技や実習科目等を中心に、学生は両キャンパスを往来して授業を受講する事としている。

なお、健康学科でも、両キャンパスを使用して教育研究活動を行なっているが、すべてのクラスが同一のスケジュールでキャンパス間を移動する行なう事。また2年次以降は、東京・世田谷キャンパスにおいて、健康学科関連科目の配当が増加する事から、すべてのクラスは「世田谷クラス」となる。

(1)それぞれの校地の学生収容定員

体育学科における世田谷および健志台クラスの編成は、所属クラブの部員数の状況によって左右される。またいずれのクラスに所属していても、専門施設の設置状況から所属学生は両キャンパスを往来して授業を受講せざるを得ない。そこでこれらを考慮し、本学ではそれぞれの校地には学生収容定員を定めてはいない。ただし、直近5年間の在籍学生数を見ると、世田谷クラスの学生数は、体育学科の在籍学生総数の45%前後、同じく横浜・健志台クラスの学生数は総数の55%前後で推移し大きく変化していない。【資料7】

そこで両キャンパスの授業施設の利用者上限数を超えない範囲で学生が動向できるようクラス単位を活用した時間割を編成して学修環境の整備に努めている。

また、このことから体育学科では、各キャンパスの授業施設における最大利用者数から、他学部の収容定員を減じたものを体育学科の各キャンパスの最大受入定員として定義し、この最大受入定員に考慮しながら学生の動向に留意している。【資料 8】

健康学科では、若干クラス単位での授業科目の違いはあるものの、原則、年次ごとにすべての学生が同じスケジュールで両キャンパスを移動している。そのため両キャンパスの最大受入定員は両キャンパスともに収容定員と同一に設定している。

（２）専任教員の配置状況

体育学科には 61 名の専任教員を配置し、そのうち東京・世田谷キャンパスを本務校とする教員を 27 名、横浜・健志台キャンパスを本務校とする教員を 33 名、その他 1 名（前・後期に本務校が変更される教員）を配置し、原則、本務校に所属する研究室を配置している。

また健康学科では、14 名の専任教員を配置し、そのうち東京・世田谷キャンパスを本務校とする教員を 12 名、横浜・健志台キャンパスを本務校とする教員を 2 名配置している。研究室の配置については体育学科と同様である。

専任教員においては、両キャンパスに設置している競技専門施設や、研究施設等の配置状況に合わせて本務校を定め、教育研究活動およびクラブ活動の指導状況等について配慮している。

なお、一部専任教員においては、授業展開上の都合や、大学院および他学部における授業科目の兼任状況などから、本人の希望や専門領域に添わない本務校が定められている。今後、計画に基づいた適切な採用人事や時間割編成方針の検討などから改善を図る事としている。

（３）教員・学生の移動への配慮

両学科ともに、学生の移動にかかる負担軽減を目的の一つとして、原則当日中のキャンパス間移動が生じない時間割を編成している。また、東京・世田谷および横浜・健志台キャンパス間は、公共交通機関を利用し、約 1 時間程度で円滑に移動可能であるが、週に数回生じる所属キャンパスと異なるキャンパスへの移動に係る負担を軽減する事を目的として、授業期間中に限りキャンパス間のシャトルバスを運行させている。【資料 9-1】【資料 9-2】

授業開講時間に合わせて、クラス人数を考慮し、東京・世田谷キャンパスから 1 日 6 便、横浜・健志台キャンパス 1 日 7 便が発着している。当日平均で約 300～400 名の学生が利用している。所要時間は 70 分程度であるものの、教職員および学生は自己負担なく利用が可能であり、主に学生の経済的負担を軽減する一助となっている。

（４）施設設備棟の配慮

両学科ともに、すべての学生が在学中に必ず両キャンパスを利用するため、スポーツ・トレーニングセンター、図書館、学生食堂やコンビニエンスストア、購買などは両キャンパスに完備している。

また、修学上での配慮として、学生支援センターや教職センター、国際交流センター、スポーツプロモーション・オフィスなど、学生の学内外での学びをサポートする事務部署も両キャンパスに設置し、両キャンパスで共通して利用可能なプリントシステムや各種証明書発行機も導入・設置している。

その他、学生のキャンパスライフや日常生活をより充実させるため「学生サポートデスク」を設置

し、パソコンの購入や、賃貸物件の斡旋、ゼミ合宿や卒業旅行などの手続きなどについても両キャンパスでサポートを受けられる環境を整備している。

(5) 時間割上の工夫・配慮

先述したとおり両学科ともに、原則、学生の当日中のキャンパス間移動を生じさせないため、時間割編成上で、曜日ごとに授業受講キャンパスを定めている。

体育学科における世田谷クラスでは、1年次は横浜・健志台キャンパスで週4日、東京・世田谷キャンパスで週1日授業が受講できるよう時間割を設定している。同じく2・3年次は、横浜・健志台キャンパス週3日、東京・世田谷キャンパス週2日。4年次には横浜・健志台キャンパスで週2日、東京・世田谷キャンパスでは週3日の授業を編成している。

同じく健志台クラスでは、1年次および4年次は、横浜・健志台キャンパスでのみ授業を実施し、2・3年次には、横浜・健志台キャンパス週4日、東京・世田谷キャンパス週1日授業を設定している。

また、健康学科では、年次ごとの全てのクラスが同一のキャンパス移動を行ない。1年次は、横浜・健志台キャンパスで週3日、東京・世田谷キャンパスでは週2日で授業を編成し、2年次以降は、横浜・健志台キャンパスで週2日、東京・世田谷キャンパスでは週3日授業が受講できる時間割を編成している。**【資料10】**

なお、収容定員の変更を予定している令和4(2022)年度でも、増員による影響がクラス編成上1名から2名程度であるため、この時間割編成方針は踏襲する事としている。

今後も、クラス編成の人数設定を活用しながら、講義や実技・実習等をはじめとした、ほぼ全ての科目で教室や施設の規模に応じた履修人数の緩やかな上限を設定し、少人数制によるきめ細やかで質の高い授業の実施に努める事としている。

教育課程等の概要																
(体育学部体育学科)																
科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	教養教育科目	言語表現科目	必修1	国語表現I	1前・後	1				○						兼6
				国語表現II	2前・後	1				○						兼9
				基礎英語I	1前	1				○						兼9
				基礎英語II	1後	1				○						兼9
				英語コミュニケーションI	2前	1				○						兼7
				英語コミュニケーションII	2後	1				○						兼7
				小計(6科目)	—	6	0	0	—		1	0	0	0	0	兼25
		教養科目	選択1	哲学	1前		2		○							兼2
				法学(日本国憲法)	1前・後		2		○			1				兼1
				心理学	1前・後		2		○							兼2
				芸術(音楽)	1前・後		2		○							兼1
				生命科学	1前		2		○		1					兼1
				情報処理(情報機器の操作を含む)	1前・後		2		○		1					兼3
				小計(6科目)	—	0	12	0	—		3	1	0	0	0	兼10
		外国語科目	自由1	文学	2前・後		2		○		1					兼0
				社会学	2前・後		2		○							兼3
				歴史学	2前・後		2		○							兼1
				経済学	2前・後		2		○							兼1
				統計学	2前・後		2		○							兼4
				エコロジー	2前・後		2		○							兼4
				小計(6科目)	—	0	12	0	—		1	0	0	0	0	兼13
	総合教育科目	外国語科目	自由1	海外語学研修	1通			2			1					兼1
				応用英語	2通			2		○						兼2
				ドイツ語	2通			2		○						兼1
				中国語	2通			2		○						兼1
				ロシア語	2通			2		○						兼1
				小計(5科目)	—	0	0	10	—		1	0	0	0	0	兼6
		総合科目	必修1	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2			○		1					兼0
				小計(1科目)	—	2	0	0	—		1	0	0	0	0	兼0
			自由1	体育研究発表実演会	1後			1		○	1					兼0
				小計(1科目)	—	0	0	1	—		1	0	0	0	0	兼0
			選択1	海浜実習	2前		1			○	1					兼0
				キャンプ実習	2前		1			○						兼1
				小計(2科目)	—	0	2	0	—		1	0	0	0	0	兼1
			選択2	スキー実習	3後		1			○						兼1
				スケート実習	3後		1			○						兼1
				小計(2科目)	—	0	2	0	—		0	0	0	0	0	兼2
		キャリアデザイン科目	必修1	キャリアデザインA	2後	2			○							兼4
				小計(1科目)	—	2	0	0	—		0	0	0	0	0	兼4
			自由1	キャリアデザインB	3前			2	○							兼1
				インターンシップ(事前事後指導を含む)	2通			1		○		1				兼0
				小計(2科目)	—	0	0	3	—		0	1	0	0	0	兼1
	専門教育科目	理論系科目	必修1	スポーツ研究A	1前	2			○		1					兼6
				スポーツ哲学	1前・後	2			○							兼2
				スポーツ史	2後	2			○							兼0
				機能解剖学	1前・後	2			○							兼4
				スポーツ生理学	2前・後	2			○							兼5
				野外活動論	1後	2			○							兼2
				小計(6科目)	—	12	0	0	—		2	0	0	0	0	兼18

科目区分				授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
						必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部 共通科目	専門 教育科目	実践 系科目	必修1	スポーツ研究B	2前・後	1					○		24	23		8	兼10	
				スポーツ研究C	3通	2				○		24	23		8		兼57	
				スポーツ研究D(卒業研究を含む)	4通	4				○							兼47	
				小計(3科目)	—	7	0	0	—			24	23	0	8	0	兼74	
			必修2	運動方法・体づくり運動(体操)	1前・後	1					○	1	1				兼3	
				運動方法・器械運動	1前・後	1					○	3			1		兼2	
				運動方法・陸上競技	1前・後	1					○		1		1		兼3	
				運動方法・水泳	1前・後	1					○	1					兼10	共同
				運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1前・後	1					○		1				兼4	
				運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1前・後	1					○	1					兼3	
				小計(6科目)	—	6	0	0	—			6	3	0	2	0	兼25	
			選択1	運動方法・バスケットボール	1前・後		1				○		1		1		兼2	
				運動方法・ハンドボール	1前・後		1				○	1	1				兼1	
				運動方法・サッカー	1前・後		1				○		1				兼2	
				運動方法・ラグビー	2前・後		1				○	1	1				兼0	
				小計(4科目)	—	0	4	0	—			2	4	0	1	0	兼5	
			選択2	運動方法・バレーボール	1前・後		1				○		1				兼1	
				運動方法・テニス	2前・後		1				○				1		兼1	
				運動方法・卓球	1前・後		1				○	1			1		兼2	
				運動方法・バドミントン	1前・後		1				○		1		1		兼1	
				小計(4科目)	—	0	4	0	—			1	2	0	2	0	兼5	
			選択3	運動方法・武道(柔道)	1前・後		1				○						兼4	
				運動方法・武道(剣道)	1前・後		1				○						兼4	
				運動方法・武道(相撲)	1前・後		1				○				1		兼2	
				運動方法・レスリング	2前・後		1				○		1				兼0	
				小計(4科目)	—	0	4	0	—			0	1	0	1	0	兼10	
	体育学科 共通科目	展開 科目	必修1	トレーニング学	2前	2				○		1					兼0	
				コーチング学	2前・後	2				○			2				兼0	
				スポーツバイオメカニクス	3前・後	2				○		1	1				兼0	
				測定評価学	3前・後	2				○		1					兼1	
				スポーツ心理学	3前・後	2				○			1				兼2	
				小計(5科目)	—	10	0	0	—			3	4	0	0	0	兼3	
			選択1	発育発達論	1前・後		2			○			1				兼1	
				衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	1前・後		2			○							兼3	
				特別支援教育総論	1前・後		2			○							兼0	
				スポーツ栄養学(食品学を含む)	2後		2			○					1		兼2	
				スポーツ医学	2前・後		2			○							兼3	
				テーピング理論(実習を含む)	2前・後		2			○			2				兼3	
				学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2前・後		2			○							兼3	
				健康管理学	3前・後		2			○							兼2	
				スポーツ社会学	3前・後		2			○							兼2	
				スポーツ経営管理学	3前・後		2			○							兼5	
				スポーツ人類学	3後		2			○							兼1	
				生涯スポーツ論	1後		2			○							兼1	
				学校安全(救急処置を含む)	3前・後		2			○							兼4	
				人権教育	3前・後		2			○							兼2	
				小計(14科目)	—	0	28	0	—			1	2	0	1	0	兼32	
			選択2	専門運動方法(トランポリン)	2前・後		1				○		1				兼1	
				専門運動方法(ゴルフ)	4前・後		1				○						兼2	
				専門運動方法(アーチェリー)	4前・後		1				○						兼2	
				エアロビクス	2前・後		1				○						兼3	
				知的障害児・者のスポーツ指導	3後		2			○			1				兼1	オムニバス
				肢体不自由児・者のスポーツ指導	4前		2			○							兼1	
				専攻実技研究I	3通		2				○	11	13		7		兼18	集中
				専攻実技研究II	4通		2				○	11	13		7		兼18	集中
				小計(8科目)	—	0	12	0	—			11	14	0	7	0	兼25	

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
体育学科 共通科目	展開科目	選択3	ストレッチング実習	1前・後		1				○		2				兼2 兼3 兼4 兼1 兼0 兼0 兼0 兼0 兼0 兼2 兼2	集中	
			トレーニング実践演習	2前・後		1				○		1						
			運動処方演習	2前・後		1				○		1						
			ゴルフ実習	4前		1					○							
			重複障害児・者等教育総論	1後		2		○		1								
			発達障害児・者等教育総論	1後		2		○			1							
			病弱児・者の心理・生理・病理	2後		2		○		1								
			知的障害児・者の心理・生理・病理	2後		2		○		1	1							
			肢体不自由児・者の心理・生理・病理	3前		2		○		2								
			視覚障害児・者教育総論	4前		2		○										
			聴覚障害児・者教育総論	4前		2		○										
			小計(11科目)	—	0	18	0	—		3	4	0	0	0	兼14			
スポーツ教育 領域科目	基幹科目	必修1	体育科教育法	2前・後	2			○			1				兼3			
			保健科教育法	2前・後	2			○			1				兼1			
			小計(2科目)	—	4	0	0	—	0	1	0	0	0	兼4				
	展開科目	選択1	体育科教育実践法	3前・後		2				○		1				兼5		
			保健科教育実践法	3前・後		2				○						兼4		
			教育原理	1前		2		○								兼3		
			教育心理学	2前・後		2		○			1					兼2		
			道德教育の指導法	2前・後		2		○			1					兼2		
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2後		2		○								兼2		
			スポーツ行政	2前		2		○								兼1		
			スポーツトレーニング論A(心)	2前・後		2		○								兼2		
			スポーツトレーニング論B(技)	2前		2		○		1	1					兼0		
			スポーツトレーニング論C(体)	2後		2		○		1						兼0		
			教育の方法と技術	3前・後		2		○								兼4		
			教師論	1後		2		○			1					兼2		
			教育の制度と経営	3前・後		2		○								兼2		
			特別支援教育概論	3前		2		○		1	1					兼2		
			生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	3前・後		2		○								兼2		
			教育課程論	3前・後		2		○								兼2		
			教育相談(カウンセリングを含む)	3前・後		2		○								兼2		
			小計(17科目)	—	0	34	0	—	3	5	0	0	0	兼34				
		選択2	スポーツ実践指導法・体づくり運動(体操)	3前・後		1					○	1	1				兼0	※実技含む
			スポーツ実践指導法・器械運動	3前・後		1					○	1			1		兼1	※実技含む
			スポーツ実践指導法・陸上競技	3前・後		1					○	1	1				兼0	※実技含む
			スポーツ実践指導法・水泳	3前・後		1					○						兼7	※実技含む
			スポーツ実践指導法・ソフトボール(野球を含む)	3前・後		1					○		1				兼2	※実技含む
			スポーツ実践指導法・ダンス(フォークダンスを含む)	3前・後		1					○						兼2	※実技含む
			小計(6科目)	—	0	6	0	—	3	3	0	1	0	兼12				
		選択3	スポーツ実践指導法・バスケットボール	3前・後		1					○		1				兼3	※実技含む
			スポーツ実践指導法・ハンドボール	3前・後		1					○		1				兼0	※実技含む
			スポーツ実践指導法・サッカー	3前・後		1					○		1				兼2	※実技含む
			スポーツ実践指導法・ラグビー	4前		1					○	1	1				兼0	※実技含む
小計(4科目)			—	0	4	0	—	1	4	0	0	0	兼5					

科目区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
スポーツ教育	展開科目	選択4	スポーツ実践指導法・バレーボール	3前・後		1				○		2				兼1	※実技含む
			スポーツ実践指導法・卓球	3前・後		1				○						兼3	※実技含む
			スポーツ実践指導法・テニス	4後		1				○						兼1	※実技含む
			スポーツ実践指導法・バドミントン	3前・後		1				○		1		1		兼0	※実技含む
			小計(4科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	3	0	1	0	兼5	
		選択5	スポーツ実践指導法・柔道	3前・後		1				○						兼4	※実技含む
			スポーツ実践指導法・剣道	3前・後		1				○						兼3	※実技含む
			スポーツ実践指導法・相撲	3前・後		1				○						兼2	※実技含む
			スポーツ実践指導法・レスリング	4後		1				○		1		1		兼0	※実技含む
			小計(4科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	1	0	1	0	兼9	
	領域科目	自由科目	事前事後の指導	4前			1		○							兼9	集中
			教育実習	4前			4			○		1				兼0	
			教職実践演習(中・高)	4後			2		○							兼9	
			病弱児・者教育論	3後			2	○			1					兼1	
			知的障害児・者教育論	3後			2	○				1				兼0	共同
			肢体不自由児・者教育論	3後			2	○			1					兼0	
			特別支援教育実習指導	4前			1		○		2	1				兼0	
			特別支援教育実習	4前			2			○	2	1				兼0	
			小計(8科目)	—	0	0	16	—	—	—	2	2	0	0	0	兼10	共同・集中
競技スポーツ 領域科目	基幹科目	必修1	スポーツトレーニング論A(心)	2前・後	2			○			1	1				兼2	
			スポーツトレーニング論B(技)	2前	2			○								兼0	
			スポーツトレーニング論C(体)	2後	2			○			1					兼0	
			小計(3科目)	—	6	0	0	—	—	—	2	1	0	0	0	兼2	
	展開科目	選択1	アスレティックトレーニング論(基礎I)A	2前		2		○				1				兼0	オムニバス
			アスレティックトレーニング論(基礎I)B	2後		2		○				1				兼0	
			アスレティックトレーニング論(基礎II)A	2前		2		○				1				兼0	
			アスレティックトレーニング論(基礎II)B	2後		2		○								兼1	
			アスレティックトレーニング論(応用I)A	3前		2		○				1				兼0	
			アスレティックトレーニング論(応用I)B	3後		2		○				1				兼0	
			アスレティックトレーニング論(応用II)A	3前		2		○				1				兼0	
			アスレティックトレーニング論(応用II)B	3後		2		○				1				兼0	
			アスレティックトレーニング論(総合I)	3後		2		○								兼2	
			アスレティックトレーニング論(総合II)	3後		2		○								兼1	
			コンディショニング論	3後		2		○				1				兼0	
			教育原理	1前		2		○								兼3	
			体育科教育法	2前・後		2		○				1				兼3	
			保健科教育法	2前・後		2		○				1				兼1	
			教育心理学	2前・後		2		○				1				兼2	
			道德教育の指導法	2前・後		2		○				1				兼2	
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2後		2		○								兼2	
			スポーツ行政	2前		2		○								兼1	
			教育の方法と技術	3前・後		2		○								兼4	
			教師論	1後		2		○				1				兼2	
			特別支援教育概論	3前・後		2		○			1	1				兼2	
			教育の制度と経営	3前・後		2		○								兼2	
			生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	3前・後		2		○								兼2	
			教育課程論	3前・後		2		○								兼2	
			教育相談(カウンセリングを含む)	3前・後		2		○				1				兼2	
			小計(25科目)	—	0	50	0	—	—	—	1	6	0	0	0	兼32	
		選択2	コーチング演習	3前・後		2			○					1		兼0	
			コンディショニング演習	4前		2			○			1				兼0	
			パフォーマンス分析演習	4後		2			○		1					兼1	
			アスレティックトレーナー実習(基礎)	2通		2				○		2				兼2	共同・集中
			アスレティックトレーナー実習(応用)	3通		2				○		2				兼2	共同・集中
			アスレティックトレーナー実習(総合)	4通		2				○		2				兼2	共同・集中
			小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	1	2	0	1	0	兼3	
		選択3	競技力向上実践プロジェクトA	2通		2			○					2		兼0	
			競技力向上実践プロジェクトB	3通		2			○			2				兼0	
			競技力向上実践プロジェクトC	4通		2			○		2					兼0	
			競技力向上サポートプロジェクトA	2通		2			○					1		兼0	
			競技力向上サポートプロジェクトB	3通		2			○			1				兼0	
			競技力向上サポートプロジェクトC	4通		2			○		1					兼0	
			小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	2	2	0	2	0	兼0	

別記様式第2号（その2の1）

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
競 技 ス ポ ー ツ 領 域 科 目	自 由 科 目	自 由	体育科教育実践法	3前・後			2		○			1				兼5	集 中 オムニバス 共同 共同・集中
			保健科教育実践法	3前・後			2		○							兼4	
			事前事後の指導	4前			1		○							兼9	
			教育実習	4前			4			○		1				兼0	
			教職実践演習(中・高)	4後			2		○							兼9	
			病弱児・者教育論	3後			2	○			1					兼1	
			知的障害児・者教育論	3後			2	○				1				兼0	
			肢体不自由児・者教育論	3後			2	○			1					兼0	
			特別支援教育実習指導	4前			1		○		2	1				兼0	
			特別支援教育実習	4前			2			○	2	1				兼0	
小計(10科目)			—	0	0	20	—			2	2	0	0	0	兼18		
合計(192科目)				—	55	224	50	—			25	26	0	9	0	兼257	
学士又は称号			学士(体育学)			学位又は学科の分野			体育関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
＜学部共通＞の【言語表現科目】から必修科目6単位、【教養科目】選択1から8単位以上、選択2から8単位以上、【総合科目】から必修科目2単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、【キャリアデザイン科目】から必修科目2単位、【理論系科目】から必修科目12単位、【実践系科目】必修科目から13単位、選択1から2単位以上、選択2から2単位以上、選択3から2単位以上、小計59単位以上修得し、＜学科共通＞の【基幹科目】から必修科目10単位、【展開科目】選択1から12単位以上、選択2から4単位以上、選択3から3単位以上、小計29単位以上修得し、学部共通科目及び学科共通と合わせて88単位を修得するほか、次の2つの領域のいずれかから36単位以上を修得し、学部共通及び学科共通と合わせて124単位以上修得すること。 ＜スポーツ教育領域＞の【基幹科目】から必修科目4単位、【展開科目】選択1から24単位以上、選択2から3単位以上、選択3から2単位以上、選択4から2単位以上、選択5から1単位以上、合わせて36単位以上を修得すること。(履修単位の年間登録の上限:50単位(年間)) ＜競技スポーツ領域＞の【基幹科目】から必修科目6単位、【展開科目】選択1から20単位以上、選択2から4単位以上、選択3から6単位以上、合わせて36単位以上を修得すること。(履修単位の年間登録の上限:50単位(年間))								1学年の学期区分			2学期○						
								1学期の授業時間			15週○						
								1時限の授業時間			90分○						

教 育 課 程 等 の 概 要

(体育学部健康学科)

科目区分				授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学部 共通 科目	教養 教育 科目	言語 表現 科目	必修1	国語表現I	1前・後	1				○							兼3
				国語表現II	2後	1				○							兼4
				基礎英語I	1前	1				○							兼4
				基礎英語II	1後	1				○							兼4
				英語コミュニケーションI	2前	1				○							兼4
				英語コミュニケーションII	2後	1				○							兼4
				小計(6科目)	—	6	0	0	—	—		0	0	0	0	0	兼10
		教養 科目	選択1	哲学	1前		2		○								兼1
				法学(日本国憲法)	1後		2		○								兼1
				心理学	1前・後		2		○								兼2
				芸術(音楽)	1後		2		○								兼1
				生命科学	1前		2		○								兼1
				情報処理(情報機器の操作を含む)	1前・後		2		○								兼2
				小計(6科目)	—	0	12	0	—	—		0	0	0	0	0	兼8
		外国 語 科 目	選択2	文学	2後		2		○								兼1
				社会学	2前		2		○								兼1
				歴史学	2後		2		○								兼1
				経済学	2後		2		○								兼1
				統計学	2後		2		○								兼1
				エコロジー	2前		2		○								兼1
				小計(6科目)	—	0	12	0	—	—		0	0	0	0	0	兼6
	総合 教育 科目	外国 語 科 目	自由1	海外語学研修	1通			2			○						兼1
				応用英語	2通			2			○						兼2
				ドイツ語	2通			2			○						兼2
				中国語	2通			2			○						兼1
				ロシア語	2通			2			○						兼1
				小計(5科目)	—	0	0	10	—	—		0	0	0	0	0	兼7
		総合 科目	必修1	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2			○								兼1
				小計(1科目)	—	2	0	0	—	—		0	0	0	0	0	兼1
			自由1	体育研究発表実演会	1後			1			○						兼1
				小計(1科目)	—	0	0	1	—	—		0	0	0	0	0	兼1
			選択1	海浜実習	2前		1				○						兼1
				キャンプ実習	2前		1				○						兼1
				小計(2科目)	—	0	2	0	—	—		0	0	0	0	0	兼2
			選択2	スキー実習	3後		1				○						兼1
				スケート実習	3後		1				○						兼1
				小計(2科目)	—	0	2	0	—	—		0	0	0	0	0	兼2
		キャリア デザイン 科目	必修1	キャリアデザインA	2後	2			○								兼1
				小計(1科目)	—	2	0	0	—	—		0	0	0	0	0	兼1
			自由1	キャリアデザインB	3前			2	○								兼1
				インターンシップ(事前事後指導を含む)	2通			1			○						兼1
				小計(2科目)	—	0	0	3	—	—		0	0	0	0	0	兼2
	専門 教育 科目	理論 系 科 目	必修1	スポーツ研究A	1前	2			○								兼2
				スポーツ哲学	1後	2			○								兼1
				スポーツ史	2後	2			○								兼1
				機能解剖学	1後	2			○			1					兼0
				スポーツ生理学	2前	2			○			1					兼0
				野外活動論	1後	2			○								兼1
				小計(6科目)	—	12	0	0	—	—		2	0	0	0	0	兼4

科目区分				授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学部 共通 科目	専門 教育 科目	実践 系 科目	必修1	スポーツ研究B	2前・後	1					○	1					兼3
				スポーツ研究C	3通	2				○		9	3				兼100
				スポーツ研究D(卒業研究を含む)	4通	4				○		9	3				兼90
				小計(3科目)	—	7	0	0	—	—	—	9	3	0	0	0	兼108
			必修2	運動方法・体づくり運動(体操)	1前・後	1					○						兼3
				運動方法・器械運動	1前・後	1					○						兼4
				運動方法・陸上競技	1前・後	1					○						兼2
				運動方法・水泳	1後	1					○						兼5
				運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1前・後	1					○						兼3
				運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1前・後	1					○						兼4
				小計(6科目)	—	6	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼21
			選択1	運動方法・バスケットボール	1前・後		1				○						兼2
				運動方法・ハンドボール	1前・後		1				○						兼2
				運動方法・サッカー	1前・後		1				○						兼2
				運動方法・ラグビー	2前・後		1				○						兼1
				小計(4科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼7
			選択2	運動方法・バレーボール	1前・後		1				○						兼1
				運動方法・テニス	2前・後		1				○						兼1
				運動方法・卓球	1前・後		1				○						兼1
				運動方法・バドミントン	1前・後		1				○						兼1
				小計(4科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼4
			選択3	運動方法・武道(柔道)	1前・後		1				○						兼3
				運動方法・武道(剣道)	1前・後		1				○						兼2
				運動方法・武道(相撲)	1前・後		1				○						兼2
				運動方法・レスリング	2前		1				○						兼2
				小計(4科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼9

科目区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手				
健康学科 共通科目	基幹科目	必修1	ヘルスプロモーション論	1前	2			○			3	1				兼0	オムニバス		
			社会福祉I	1前	2			○			1					兼0			
			健康管理学	3前	2			○								兼1			
			小計(3科目)	—	6	0	0	—	4	1	0	0	0	兼1					
	展開科目	必修1	衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	1後	2			○			1						兼0		
			救急処置	3前	2			○									兼2		
			労働生理	3前	2			○									兼1		
			労働衛生	3前	2			○									兼1		
			労働関係法規I	4後	2			○									兼1		
			労働関係法規II	4後	2			○									兼1		
			小計(6科目)	—	12	0	0	—	1	0	0	0	0	兼6					
		選択1	発育発達論	1前	2			○			1							兼0	オムニバス
			スポーツ医学	2後	2			○										兼2	
			学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2前	2			○			1							兼0	
			予防医学	2前	2			○										兼1	
			衛生学・公衆衛生学II	2後	2			○										兼1	
			高齢者福祉と介護I	2前	2			○			1							兼0	
			アダプテッド・フィジカルアクティビティー	2後	2			○			1							兼0	
			ソーシャルワーク概論A	2前	2			○			1							兼0	
			ソーシャルワーク概論B	2後	2			○			1							兼0	
			医学概論	3後	2			○			1							兼0	
			学校安全(救急処置を含む)	3後	2			○			1							兼0	
			臨床心理学(カウンセリングを含む)	3前	2			○										兼1	
			社会保障A	3前	2			○										兼1	
			児童・家庭福祉	3後	2			○										兼1	
			障害福祉	3前	2			○										兼1	
			地域福祉A	3前	2			○			1							兼0	
			ソーシャルワークA	3前	2			○			1							兼0	
			ソーシャルワークB	3後	2			○										兼1	
			ソーシャルワークC	3後	2			○										兼1	
			ソーシャルワークD	3後	2			○			1							兼0	
			臨床看護学(実習を含む)	3前	2			○			1	1						兼1	
			ヘルスカウンセリング	3後	2			○				1						兼0	
			トレーニング学	2前	2			○										兼1	
			スポーツ栄養学(食品学を含む)	2後	2			○										兼1	
			テーピング理論(実習を含む)	2前・後	2			○										兼3	
			スポーツ社会学	3前	2			○										兼1	
			スポーツ経営管理学	3前	2			○										兼2	
			コーチング学	2後	2			○										兼1	
			スポーツバイオメカニクス	3後	2			○										兼1	
			測定評価学	3前	2			○										兼1	
			スポーツ心理学	3前	2			○										兼1	
			人権教育	3後	2			○					1					兼1	
			小計(32科目)				—	0	64	0	—	7	2	0	0	0	兼22		
			選択2	トレーニング実践演習	2前・後		1			○								兼3	
				運動処方演習	2前・後		1			○								兼2	
				エアロビックダンス	2前・後		1				○							兼2	
				小計(3科目)				—	0	3	0	—	0	0	0	0	0	兼7	

科目区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
ヘルス プロモーション 領域科目	基幹科目	必修1	精神保健	2前	2			○								兼1
			小計(1科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼1
	展開科目	選択1	養護概説(養護教諭の職務を含む)	2後		2		○				1				兼0
			精神医学	2後		2		○								兼1
			基礎看護学	2後		2		○				1				兼0
			免疫学	3前		2		○			1					兼0
			学校保健II(保健室経営を含む)	3後		2		○			1					兼0
			栄養学(学校給食を含む)	3前		2		○								兼1
			微生物学	3後		2		○								兼1
			思春期保健	3後		2		○								兼1
			教育原理	1前		2		○				1				兼1
			教育心理学	2前		2		○								兼2
			体育科教育法	2後		2		○			1					兼1
			保健科教育法	2前		2		○								兼1
			道徳教育の指導法	2前		2		○								兼1
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前		2		○								兼1
			教師論(養護)	3前		2		○								兼1
			教師論	1後		2		○								兼1
			教育の制度と経営	3後		2		○								兼1
			特別支援教育概論	3後		2		○								兼1
			教育の方法と技術	3後		2		○								兼2
			生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	3前		2		○								兼2
			教育課程論	3前・後		2		○								兼1
			教育相談(カウンセリングを含む)	3後		2		○								兼1
			小計(22科目)	—	0	44	0	—			3	3	0	0	0	兼21
	展開科目	選択2	衛生学・公衆衛生学実験実習	3後		1				○						兼1
			体育科教育実践法	3前・後		2			○		1					兼3
			保健科教育実践法	3前・後		2			○							兼2
			小計(3科目)	—	0	5	0	—			1	0	0	0	0	兼6
	自由科目	自由	看護臨床実習	3前			5			○	1	1				兼0
			事前事後の指導	4前			1		○							兼2
			養護実習(事前事後の指導を含む)	4前			5			○	1	1				兼0
			教職実践演習(養護)	4後			2		○							兼1
			教育実習	4前			4			○						兼1
			教職実践演習(中・高)	4後			2		○							兼2
			小計(6科目)	—	0	0	19	—			2	2	0	0	0	兼4

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
ソーシャルサポート 領域科目	基幹科目	必修1	社会福祉II	3後	2			○			1					兼0		
			小計(1科目)	—	2	0	0	—			1	0	0	0	0	兼0		
	展開科目	選択1	地域福祉B	3後	2			○			1						兼0	集中 集中 集中 集中 集中
			高齢者福祉と介護II	3前	2			○			1						兼0	
			社会保障B	3後	2			○									兼1	
			生活保護	3後	2			○									兼1	
			社会福祉調査	3後	2			○			1						兼0	
			福祉経営	4前	2			○			1						兼0	
			雇用政策	4後	1			○			1						兼0	
			権利擁護と成年後見	4後	2			○									兼1	
			司法福祉	4後	1			○			1						兼0	
			社会福祉行政と福祉計画	4後	2			○			1						兼0	
			医療福祉	4後	2			○			1						兼0	
			教育原理	1前	2			○				1					兼1	
			教育心理学	2前	2			○									兼2	
			体育科教育法	2後	2			○			1						兼1	
			保健科教育法	2前	2			○									兼1	
			道徳教育の指導法	2前	2			○									兼1	
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前	2			○									兼1	
			教師論	1後	2			○									兼1	
			教育の方法と技術	3後	2			○									兼2	
			教育の制度と経営	3後	2			○									兼1	
			特別支援教育概論	3後	2			○									兼1	
			生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	3前	2			○									兼2	
			教育課程論	3前・後	2			○									兼1	
			教育相談(カウンセリングを含む)	3後	2			○									兼1	
			小計(24科目)	—	0	46	0	—			4	1	0	0	0	0	兼19	
	展開科目	選択2	相談援助演習I	2後		1			○		2						兼0	共同
			相談援助演習IIA	3前		1			○		2						兼0	共同
			相談援助演習IIB	3後		1			○		2						兼0	共同
			相談援助演習III	4後		1			○		2						兼0	共同・集中
			相談援助演習IV	4後		1			○		2						兼0	共同・集中
			相談援助実習指導I	3後		1			○		2						兼0	共同・集中
			相談援助実習指導II	4後		1			○		2						兼0	共同・集中
			相談援助実習指導III	4後		1			○		2						兼0	共同・集中
			相談援助実習	4後		6				○	2						兼0	共同・集中
			体育科教育実践法	3前・後		2				○	1						兼3	
			保健科教育実践法	3前・後		2				○							兼2	
			小計(11科目)	—	0	18	0	—			3	0	0	0	0	0	兼5	
	自由科目	自由	事前事後の指導	4前			1		○								兼2	集中
			教育実習	4前			4			○							兼1	
			教職実践演習(中・高)	4後			2		○								兼2	
			小計(3科目)	—	0	0	7	—			0	0	0	0	0	0	兼3	
合計(174科目)				—	57	220	40	—			10	3	0	0	0	兼205		
学士又は称号		学士(体育学)			学位又は学科の分野			体育関係										
卒業要件及び履修方法										授業期間等								
<学部共通>の【言語表現科目】から必修科目6単位、【教養科目】選択1から8単位以上、選択2から8単位以上、【総合科目】から必修科目2単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、【キャリアデザイン科目】から必修科目2単位、【理論系科目】から必修科目12単位、【実践系科目】必修科目から13単位、選択1から2単位以上、選択2から2単位以上、選択3から2単位以上、小計59単位以上修得し、<学科共通>の【基幹科目】から必修科目6単位、【展開科目】必修科目12単位、選択1から20単位以上、選択2から2単位以上、小計40単位以上修得し、学部共通科目及び学科共通科目あわせて99単位を修得するほか、次の2つの領域のいずれから25単位以上を修得し、学部共通及び学科共通と合わせて124単位以上修得すること。										1学年の学期区分			2学期					
										1学期の授業時間			15週					
										1時限の授業時間			90分					
<ヘルスプロモーション領域>の【基幹科目】から必修科目2単位、【展開科目】選択1から22単位以上、選択2から1単位以上、合わせて25単位以上を修得すること。(履修単位の年間登録の上限:50単位(年間))																		
<ソーシャルサポート領域>の【基幹科目】から必修科目2単位、【展開科目】選択1から22単位以上、選択2から1単位以上、合わせて25単位以上を修得すること。(履修単位の年間登録の上限:50単位(年間))																		

教育課程等の概要														
(スポーツ文化学部武道教育学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	教養科目	必修	国語表現Ⅰ	1前	1			○						兼2
			国語表現Ⅱ	2前	1			○						兼1
			英語コミュニケーションⅠ	2前	1			○						兼1
			英語コミュニケーションⅡ	2後	1			○						兼1
			基礎英語Ⅰ	1前	1			○						兼1
			基礎英語Ⅱ	1後	1			○						兼2
		選択	法学(日本国憲法)	1前		2	○							兼1
			情報処理(情報機器の操作を含む)	1前		2	○							兼2
			芸術	1前		2	○							兼1
			哲学	1前		2	○							兼1
			心理学	1後		2	○							兼1
			社会学	2前		2	○							兼1
			経済学	2後		2	○							兼1
			歴史学	2前		2	○							兼1
		自由	海外語学研修	2後		2		○						兼1
			英会話	3通		2		○						兼1
			ドイツ語	3通		2		○						兼1
			フランス語	3通		2		○						兼1
			中国語	3通		2		○						兼1
			ロシア語	3通		2		○						兼1
		小計(20科目)		—	6	16	12	—	0	0	0	0	0	兼19
	総合科目	必修1	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2		○							兼1
		自由1	体育研究発表実演会	1後		1		○	1					集中
		選択1	集団行動実技(不開講)	1前		1		○						
			集団行動演習(不開講)	2前		1		○						
			スポーツと組織	2後		2	○							兼1
		選択2	海浜実習	2前		1		○						兼1
			キャンプ実習	2前		1		○						兼1
		選択3	スキー実習	3後		1		○						兼1
			スケート実習	3後		1		○						兼1
		必修2	スポーツ文化研究A	1前	2		○		1					
			スポーツ文化研究B	2後	1		○			1				
			スポーツ文化研究C	3通	2		○		6	3		2		
			スポーツ文化研究D	4通	2		○		6	3		2		
		自由2	卒業研究	4通		2	○		6	3		2		
		必修3	地域社会とスポーツ	1後	2		○							兼1
		自由3	地域ボランティア実習(事前・事後指導含む)	2前		1		○						兼2
			地域スポーツ演習	3前		1	○							兼2
		必修4	キャリアデザインA	2前	2		○							兼1
		自由4	キャリアデザインB	3前		2	○							兼1
			インターンシップ実習	2後		1		○	1					集中
		小計(20科目)		—	13	8	8	—	6	3	0	2	0	兼13

別記様式第2号（その2の1）

科目区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学部専門科目（理論）	基幹科目	必修	スポーツ社会学	3前	2			○								兼1	
			スポーツ哲学	1後	2			○								兼1	
			スポーツ史	1後	2			○								兼1	
			芸道論	2前	2			○								兼1	
		選択	異文化交流論	2前		2		○								兼1	
			スポーツボランティア論	2前		2		○								兼1	
			スポーツの安全指導(リスクマネジメント)	1後		2		○			1						
			スポーツ医学	2前		2		○								兼2	共同
			野外活動論	1後		2		○								兼1	
			救急処置概論	1前		2		○								兼1	
		小計(10科目)		—	8	12	0	—			1	0	0	0	0	兼10	—
学部専門科目（体育実技）	展開科目	選択	身体文化論	2後		2		○								兼1	
			衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	1後		2		○								兼1	
			機能解剖学	1後		2		○								兼1	
			発育発達論	1後		2		○								兼1	
			スポーツ生理学	2後		2		○								兼1	
		小計(5科目)		—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—
学部専門科目（体育実技）	展開科目	必修	運動方法・体づくり運動(体操)	1後	1					○						兼2	
			運動方法・器械運動	1後	1					○						兼2	
			運動方法・陸上競技	1前	1					○						兼2	
			運動方法・水泳	1前	1					○						兼4	共同
			運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1前	1					○						兼1	
			運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1後	1					○			1			兼1	
			運動方法・球技A	3前	1					○						兼1	
			運動方法・球技B	3後	1					○						兼1	
		選択1	運動方法・武道(柔道)	1前		1				○		2				兼2	
			運動方法・武道(剣道)	1前		1				○							
		選択2	運動方法・武道(相撲)	1前		1				○	1					兼1	
			スポーツ実践指導法・柔道	3前		1				○	1					兼1	
			スポーツ実践指導法・剣道	3前		1				○						兼2	
			スポーツ実践指導法・相撲	3前		1				○	1						
		小計(14科目)		—	8	6	0	—			2	2	0	2	0	兼19	—
学科基礎科目	基幹科目	必修	スポーツ文化論	1後	2			○								兼1	
			文化人類学	1前	2			○								兼1	
			スポーツ人類学	1後	2			○								兼1	
			武道論	2後	2			○			1						
			礼法	1前	1					○						兼2	
		小計(5科目)		—	9	0	0	—			1	0	0	0	0	兼4	—

別記様式第2号（その2の1）

科目区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学科基礎科目	展開科目	選択1	トレーニング学	2前		2		○								兼1	
			コーチング学	3後		2		○								兼1	
			スポーツ心理学	3前		2		○								兼1	
			スポーツバイオメカニクス	3後		2		○			1						
		選択2	人権教育	2後		2		○								兼1	
			スポーツ栄養学(食品学を含む)	2前		2		○								兼1	
			学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2後		2		○								兼1	
			学校安全(救急処置を含む)	3前		2		○								兼1	
			スポーツ経営管理学	3後		2		○								兼1	
		選択3	国際情勢理解	2後		2		○								兼1	
			スポーツと国際協力	3前		2		○								兼1	
			国際保健学	3前		2		○								兼1	
		選択4	伝統芸能論	3後		2		○								兼1	
			伝統芸能史	2後		2		○								兼1	
			伝統芸能の諸相	1後		2		○								兼1	
			比較舞踊学	2前		2		○								兼1	
		小計(16科目)		—	0	32	0	—			1	0	0	0	0	兼14	—
学科専門科目	基幹科目 (理論)	必修	武道教育論	2前	2			○			3					兼1	
			武道技術論	3前・後	2			○								兼5	
			稽古論	3後	2			○								兼1	
			比較武道文化論	2前	2			○			1						
		選択	武道国際普及論	2前		2		○				1					
			武道国際交流論	2後		2		○			1						
		小計(6科目)		—	8	4	0	—			3	1	0	0	0	兼7	—
	基幹科目 (実践)	選択	伝統文化交流実習A	3後		1				○	1						集中
			伝統文化交流実習B	3後		1				○	1						集中
		小計(2科目)		—	0	2	0	—			1	0	0	0	0	兼0	—
	展開科目 (理論)	選択	武道科教育法	3後		2		○								兼1	
			武道教育研究法	3前		1			○			1				兼1	オムニバス
			武道用具論	3後		2		○			2	1					オムニバス
			武道文献講読	4後		2		○			1						
			武道史各論	2後		2		○			1					兼1	
			舞踊創作論(作品論を含む)	2前		2		○								兼1	
			古典芸能論(能・舞踊)	4後		2		○								兼1	
			芸能鑑賞論	4前		2		○								兼1	
			伝統芸能交流論	2前		2		○								兼1	
		小計(9科目)		—	0	17	0	—			3	2	0	0	0	兼6	—

別記様式第2号（その2の1）

科目区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
学科専門科目	展開科目 (実践)	選択 1	国際武術実技	1後		1				○						兼1		
			競技スポーツ実技	3後		1				○						兼1		
			武道実技(弓道)	2前		1				○						兼2		
			武道実技(形)	3前		1				○		1						
		選択 2	専攻武道実技Ⅰ	1通		2				○	2	1					兼5	
			専攻武道実技Ⅱ	2通		2				○	2						兼6	
			専攻武道実技Ⅲ	3通		2				○	1	1					兼6	
			専攻武道実技Ⅳ	4通		2				○							兼8	
			伝統芸能実技1	1前		1				○							兼1	
			伝統芸能実技2	1後		1				○				1				
			伝統芸能実技3	2前		1				○						兼1		
			伝統芸能実技4	2後		1				○						兼1		
			伝統芸能実技5	3後		1				○						兼1		
			伝統芸能実技6	3前		1				○				1				
			伝統芸能実習Ⅰ	2後		1				○						兼1	集中	
			伝統芸能実習Ⅱ	3後		1				○				1			集中	
小計(16科目)			—	0	20	0	—			3	2	0	1	0	兼20	—		
学科専門科目	資格関連科目	選択	教師論	1後		2		○								兼1		
			教育原理	1前		2		○									兼1	
			教育心理学	2後		2		○									兼1	
			体育科教育実践法	3前		2			○								兼2	
			保健科教育実践法	3後		2			○								兼2	
			体育科教育法	2前		2		○									兼1	
			保健科教育法	2後		2		○									兼1	
			教育課程論	3後		2		○									兼1	
			教育の方法と技術	3前		2		○									兼1	
			道德教育の研究法	2前		2		○									兼1	
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2後		2		○									兼1	
			生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	3前		2		○				1						
			教育相談(カウンセリングを含む)	3後		2		○									兼1	
			教育の制度と経営	3後		2		○									兼1	
			特別支援教育概論	3前		2		○									兼1	
		自由	事前事後の指導	4前			1		○								兼1	
教育実習	4前				4		○			1						集中		
教職実践演習(中・高)	4後				2		○								兼1			
小計(17科目)			—	0	30	7	—			1	1	0	0	0	兼15	—		
合計(140科目)				—	52	157	27	—			6	3	0	2	0	兼107		
学士又は称号		学士(体育学)					学位又は学科の分野			体育関係								
卒業要件及び履修方法										授業期間等								
(履修単位の年間登録の上限:44単位(年間)) <学部共通科目>の【教養科目】から必修科目6単位、選択から8単位以上、【総合科目】必修1から2単位、必修2から7単位、必修3から2単位、必修4から2単位、選択1から2単位以上、選択2から1単位以上、選択3から1単位以上、<学部専門科目(理論)>【基幹科目】から必修科目8単位、選択から6単位以上、【展開科目】選択から4単位以上、<学部専門科目(体育実技)>【展開科目】必修科目から8単位、選択1から1単位以上、選択2から1単位以上、小計59単位以上修得し、<学科基礎科目>の【基幹科目】から必修科目9単位、【展開科目】選択1から4単位以上、選択2から6単位以上、選択3から2単位以上、選択4から4単位以上、小計25単位以上修得し、<学部専門科目>の【基幹科目(理論)】から必修科目8単位、選択から2単位以上、【基幹科目(実践)】選択から1単位以上、【展開科目(理論)】選択から8単位以上、【展開科目(実践)】選択1から2単位以上、選択2から8単位以上、【資格関連科目】選択から11単位以上、小計40単位以上修得し、合わせて124単位以上修得すること。										1学年の学期区分				2 学期				
										1学期の授業時間				1 5 週				
										1時限の授業時間				9 0 分				

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(スポーツ文化学部スポーツ国際学科)																		
科目区分		授業科目の名称		単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
学部共通科目	教養科目	必修	国語表現Ⅰ	1前	1				○								兼2	
			国語表現Ⅱ	2前	1				○								兼1	
			英語コミュニケーションⅠ	2前	1				○		1						兼1	
			英語コミュニケーションⅡ	2後	1				○								兼2	
			基礎英語Ⅰ	1前	1				○								兼2	
			基礎英語Ⅱ	1後	1				○		1						兼1	
		選択	法学(日本国憲法)	1前		2			○									兼1
			情報処理(情報機器の操作を含む)	1前		2			○									兼2
			芸術	1前		2			○									兼1
			哲学	1前		2			○									兼1
			心理学	1後		2			○									兼1
			社会学	2前		2			○									兼1
			経済学	2前		2			○									兼1
			歴史学	2前		2			○									兼1
		自由	海外語学研修	2後			2			○	1							集中
			英会話	3通			2			○								兼1
			ドイツ語	3通			2			○								兼1
			フランス語	3通			2			○								兼1
			中国語	3通			2			○								兼1
		コリア語	3通			2			○								兼1	
		小計(20科目)			—	6	16	12	—			1	0	0	0	0	兼21	—
	総合科目	必修1	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2				○			1						
		自由1	体育研究発表実演会	1後			1			○						兼1	集中	
		選択1	集団行動実技(不開講)	1前		1				○								
			集団行動演習(不開講)	2前		1				○								
			スポーツと組織	2後		2			○					1				
		選択2	海浜実習	2前		1				○						兼1	集中	
			キャンプ実習	2前		1				○						兼1	集中	
		選択3	スキー実習	3後		1				○						兼1	集中	
			スケート実習	3後		1				○						兼1	集中	
		必修2	スポーツ文化研究A	1前	2				○						1			
			スポーツ文化研究B	2後	1					○		1						
			スポーツ文化研究C	3通	2					○		5	3		2			
スポーツ文化研究D	4通		2					○		5	3		2					
自由2	卒業研究	4通			2			○		5	3		2					
必修3	地域社会とスポーツ	1後	2				○								兼1			
自由3	地域ボランティア実習(事前・事後指導含む)	2前			1				○	1	1							
	地域スポーツ演習	3前			1			○							兼2	集中・共同		
必修4	キャリアデザインA	2前	2				○								兼1			
自由4	キャリアデザインB	3前			2		○								兼1			
	インターンシップ実習	2後			1				○						兼1	集中		
小計(20科目)			—	13	8	8	—			5	3	0	2	0	兼10	—		

科目区分			授業科目の名称		単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部専門科目(理論)	基幹科目	必修	スポーツ社会学	3後	2			○								兼1
			スポーツ哲学	1後	2			○				1				
			スポーツ史	1後	2			○				1				
			芸道論	2前	2			○								兼1
		選択	異文化交流論	2前		2		○								兼1
			スポーツボランティア論	2前		2		○								兼1
			スポーツの安全指導(リスクマネジメント)	1後		2		○								兼1
			スポーツ医学	2前		2		○								兼2
	展開科目	選択	野外活動論	1後		2		○								兼1
			救急処置概論	1前		2		○								兼1
			小計(10科目)	—	8	12	0	—			0	2	0	0	0	兼9
		選択	身体文化論	2後		2		○				1				
			衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	1後		2		○			1					兼1
			機能解剖学	1後		2		○								兼1
			発育発達論	1後		2		○								兼1
学部専門科目(体育実技)	展開科目	必修	スポーツ生理学	2後		2		○								兼1
			小計(5科目)	—	0	10	0	—			1	1	0	0	0	兼2
		選択	運動方法・体づくり運動(体操)	1後	1					○				1		
			運動方法・器械運動	1後	1					○						兼2
			運動方法・陸上競技	1前	1					○						兼2
			運動方法・水泳	1前	1					○						兼4
			運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1前	1					○	1					
			運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1後	1					○						兼2
			運動方法・球技A	3前	1					○						兼2
		選択1	運動方法・球技B	3後	1					○						兼1
			運動方法・武道(柔道)	1前		1				○						兼2
			運動方法・武道(剣道)	1前		1				○						兼2
			運動方法・武道(相撲)	1前		1				○						兼2
		選択2	スポーツ実践指導法・柔道	3前		1				○						兼2
			スポーツ実践指導法・剣道	3前		1				○						兼2
			スポーツ実践指導法・相撲	3前		1				○						兼1
		小計(14科目)		—	8	6	0	—			1	0	0	1	0	兼21

科目区分			授業科目の名称		単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎科目	基幹科目	必修	スポーツ文化論	1後	2			○						1		兼1 兼2	
			文化人類学	1前	2			○			1						
			スポーツ人類学	1後	2			○			1						
			武道論	2後	2			○									
			礼法	1前	1					○							
		小計(5科目)			—	9	0	0	—			0	1	0	1	0	兼3
	展開科目	選択1	トレーニング学	2前		2			○								兼1
			コーチング学	3後		2			○								兼1
			スポーツ心理学	3前		2			○								兼1
			スポーツバイオメカニクス	3後		2			○								兼1
		選択2	人権教育	2後		2			○								兼1
			スポーツ栄養学(食品学を含む)	2前		2			○								兼1
			学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2後		2			○								兼1
			学校安全(救急処置を含む)	3前		2			○								兼1
		選択3	スポーツ経営管理学	3後		2			○								兼1
			国際情勢理解	2後		2			○								兼1
		選択4	スポーツと国際協力	3前		2			○			1					
			国際保健学	3前		2			○			1					
		選択4	伝統芸能論	3後		2			○								兼1
			伝統芸能史	2後		2			○								兼1
			伝統芸能の諸相	1後		2			○								兼1
	比較舞踊学		2前		2			○								兼1	
	小計(16科目)			—	0	32	0	—			1	0	0	0	0	兼14	—
学科専門科目	基幹科目(理論)	必修	スポーツ国際概論	2後	2			○								兼1	
			スポーツフィールドワーク論	2前	2			○								兼1	
			アジアのスポーツ文化論	3前	2			○					1				
			欧米のスポーツ文化論	3後	2			○			1						
			ニュースポーツ論	1前	2			○					1				
	小計(5科目)			—	10	0	0	—			0	1	0	1	0	兼2	—
	基幹科目(実践)	必修	スポーツフィールドワーク実習	2後	1						○		1				
			ニュースポーツ実技	1後	1						○				1		
		選択	スポーツ国際実習	3後		1					○	1					集中
			スポーツ国際支援実習	3後		1					○	1					集中
	小計(4科目)			—	2	2	0	—			1	1	0	1	0	兼0	—
	展開科目(理論)	選択	スポーツとコミュニケーションA	2後		1				○					1		兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
			スポーツとコミュニケーションB	2後		1				○			1				
			スポーツマネジメント	3前		2			○								
			世界のスポーツ情勢	3後		2			○								
			スポーツメガイベント論	2前		2			○								
			スポーツ政策論	2後		2			○								
			スポーツ情報リテラシー	3後		2			○								
			比較スポーツカリキュラム論	2前		2			○			1					
			スポーツ運動のメカニズム論	3後		2			○								
			健康スポーツ開発論	3後		2			○			1				兼1	
	小計(10科目)			—	0	18	0	—			2	1	0	1	0	兼6	—
	展開科目(実践)	選択	エスニックススポーツ実技	1前・後		1					○					兼1	
身体表現実技			2前		1					○					兼1		
海外スポーツ指導実技			3前		1					○			1				
小計(3科目)			—	0	3	0	—			0	0	0	1	0	兼2	—	

科目区分		授業科目の名称		単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考										
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手											
学科専門科目	資格関連科目	教師論	1後		2		○									兼1									
		教育原理	1前		2		○									兼1									
		教育心理学	2後		2		○									兼1									
		体育科教育実践法	3前		2			○		1						兼1									
		保健科教育実践法	3後		2			○								兼1									
		体育科教育法	2前		2		○			1															
		保健科教育法	2後		2		○									兼1									
		教育課程論	3後		2		○									兼1									
		教育の方法と技術	3前		2		○									兼1									
		道徳教育の指導法	2前		2		○									兼1									
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2後		2		○									兼1									
		生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	3前		2		○									兼1									
		教育相談(カウンセリングを含む)	3後		2		○									兼1									
		教育の制度と経営	3後		2		○									兼1									
		特別支援教育概論	3前		2		○									兼1									
	自由	事前事後の指導	4前			1		○		1							兼1 集中								
		教育実習	4前			4		○																	
		教職実践演習(中・高)	4後			2		○		1															
小計(17科目)			—	0	30	7	—			1	0	0	0	0	兼14	—									
合計 (129科目)			—	56	137	27	—			5	3	0	2	0	兼95										
学士又は称号		学士(体育学)			学位又は学科の分野												体育関係								
卒業要件及び履修方法										授業期間等															
(履修単位の年間登録の上限:44単位(年間))										1学年の学期区分		2 学期													
																		1学期の授業時間		1 5 週					

教育課程等の概要																
(児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科児童スポーツ教育コース)																
区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
児童スポーツ教育学部共通科目	言語科目 コミュニケーション	基礎英語Ⅰ	1前	1				○						兼1		
		基礎英語Ⅱ	1後	1				○						兼2		
		英語コミュニケーションⅠ	2前	1				○		1				兼3		
		英語コミュニケーションⅡ	2後	1				○		1				兼3		
		小計	-	4	0	0		-	0	1	0	0	0	兼5		
	教養科目	現代社会と憲法	1前				○							兼1		
		情報機器の操作	1				○							兼2		
		心理学	1前				○							兼1		
		生命科学	2後				○							兼1		
		社会学	2前				○							兼1		
		文学	2後				○							兼1		
		経済学	2後				○							兼1		
		小計	-	0	14	0		-	0	0	0	0	0	兼8		
	総合科目	日体大の歴史（日体伝統実習を含む）	1前	2			○							兼1		
		地域社会とスポーツ（CSC科目）	1前	2			○							兼1		
		野外活動実習A（雪上）	2後		1			○						兼1	集中	
		野外活動実習B（山野）	2前		1			○						兼1	集中	
		野外活動実習C（幼児野外活動）	1前		1			○	1					兼1	集中	
		小計	-	4	3	0		-	1	0	0	0	0	兼4		
	基軸科目	基礎ゼミナールⅠ	1前	1				○	3	3		2			共同	
		基礎ゼミナールⅡ（アカデミックレジャー）	1後	1				○	3	3		2			共同	
		児童スポーツ教育演習	2通	2				○	6	2				オムニバス		
		児童スポーツ教育研究Ⅰ	3通	2				○	12	6		4				
		児童スポーツ教育研究Ⅱ	4通	2				○	18	5		3			集中	
		小計	-	8	0	0		-	18	6		4				
自由科目	留学生科目	日本語基礎	1前			2	○							兼1	集中	
		日本語応用	1後			2	○							兼1	集中	
		日本事情Ⅰ	2前			2	○							兼1	集中	
		日本事情Ⅱ	2後			2	○							兼1	集中	
	小計		-	0	0	8		-	0	0	0	0	0	兼1		
資格関連科目	航空操縦士関連	航空基礎	1前			2	○							兼1	集中	
		航空概論	1後			2	○							兼1	集中	
		航空産業論	2前			2	○							兼1	集中	
		クルー・リソース・マネジメント	2後			2	○							兼1	集中	
		飛行安全	2後			2	○							兼1	集中	
	小計		-	0	0	10		-	0	0	0	0	0	兼1		
児童スポーツ教育学部共通科目	基幹科目	現代子ども論	3前	2			○			2				兼1	オムニバス	
		子どもと人権	2後	2			○							兼1		
		発育発達論	2前	2			○							兼1		
		児童スポーツ教育論	1前	2			○		2			1				
		児童健康教育論	1後	2			○							兼1		
		食育論	2前	2			○					1				
		スポーツの歴史と本質	1後	2			○							兼1		
		児童の身体の仕組み	1前	2			○		1					兼1	オムニバス	
		スポーツ生理学	1後	2			○		1							
		野外活動論	1	2			○							兼3	オムニバス	
		小計	-	20	0	0		-	3	2	0	1	0	兼8		
	スポーツ実技科目	体操	2	1				○						兼2	共同	
		水泳	1後	1				○						兼4		
		ダンス	1	1				○	1					兼1		
		器械運動	1後		1			○						兼1		
		陸上競技	1後		1			○						兼1		
		バドミントン	1後		1			○	1							
		サッカー	2前		1			○						兼1		
		卓球	2後		1			○						兼1		
		ソフトボール	2前		1			○						兼1		
		トランポリン	3前		1			○						兼1		
		バスケットボール	2後		1			○						兼1		
		新体操	3前		1			○						兼1		
		レクリエーション	4		1			○						兼1		
		小計	-	3	10	0		-	2	0	0	0	0	兼16		
	資格目関連科	アダプテッドスポーツ論	3後			2	○							兼1		
		アダプテッドスポーツ実技	4後			1		○						兼1		
		スポーツ現場実務論	2後			2	○		1	1		1			オムニバス	
		スポーツ現場実習	3後			1		○	1	1		1			集中・共同	
	小計		-	0	0	6		-	1	1	0	1	0	兼1		

区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育の基礎に関する科目		教育原理	1前		2		○				1				兼1		
		保育原理	1前		2		○			1							
		教育の制度と経営	3後		2		○				1						
		教育心理学	2		2		○										
		発達心理学	3前		2		○			1							
		教職入門	1前		2		○			1					兼1		
		特別支援教育概論	3後		2		○				1						
		教育課程論	2後		2		○			1							
		道徳の理論及び指導法	1後		2		○			1							
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	1後		2		○			1							
		教育の方法と技術(メディア教育を含む)	2前		2		○								兼1	兼1	
		生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	3前		2		○										
		教育相談(カウンセリングを含む)	3前		2		○				1						
		幼児理解	4後		2		○										
		小計	-	0	28	0		-		3	2	0	0	0	兼4		
児童スポーツ教育コース専門科目	教科の内容及び指導法に関する科目	初等体育A(陸上運動、器械運動)	2通		2		○						1		兼1	オムニバス	
		初等体育B(ボール運動、表現運動)	2通		2		○			2					兼1	オムニバス	
		初等体育C(体づくり運動、保健)	2通		2		○			2	1				兼1	オムニバス	
		初等国語(書写を含む)	3		2		○			1					兼1	オムニバス	
		初等算数	3後		2		○			1						共同	
		初等音楽	3通		2		○			1							
		初等図画工作	3通		2		○								兼1	オムニバス	
		初等理科	2前		2		○			1					兼1		
		初等社会	3前		2		○			2					兼1		
		初等家庭科	3後		2		○									オムニバス	
		初等英語	3前		2		○				1				兼1		オムニバス
		初等生活	3		2		○			2						兼1	オムニバス
		初等体育科教育法	2後		2		○			1					兼1		オムニバス
		初等国語科教育法	2後		2		○			2						兼1	オムニバス
		初等理科教育法	1後		2		○			2					兼1		オムニバス
		初等算数科教育法	1前		2		○			1						兼1	オムニバス
		初等社会科教育法	1後		2		○			2					兼1		オムニバス
		初等音楽科教育法	1前		2		○			1						兼1	オムニバス
		初等図画工作科教育法	3後		2		○				1				兼1		オムニバス
		初等家庭科教育法	3前		2		○									兼1	オムニバス
		初等英語科教育法	1後		2		○				1				兼1		オムニバス
		初等生活科教育法	2前		2		○			2						兼1	オムニバス
		国語科教育実践論	4前		2		○			1					兼1		オムニバス
		算数科教育実践論	4前		2		○			1						兼1	オムニバス
		理科教育実践論	4前		2		○			1					兼1		オムニバス
		社会科教育実践論	4前		2		○			1						兼1	オムニバス
		英語科教育実践論	4		2		○				1				兼1		オムニバス
		体育科教育実践論	4前		2		○									兼1	オムニバス
		小計	-	0	56	0		-		15	2	0	1	0	兼6		
		児童スポーツ教育科目		児童スポーツ指導論	2前	2			○				1				兼1
児童スポーツトレーニング学	2前				2		○			1							
児童スポーツコーチング学	2後				2		○										
スポーツ社会学	3後				2		○				1				兼2	兼1	
スポーツ心理学	2				2		○										
スポーツバイオメカニクス	3後				2		○										
スポーツ経営管理学	4後				2		○								兼1	兼1	
身体と運動の測定評価学	3				2		○										
スポーツ栄養学	4前				2		○										
衛生学・公衆衛生学	3前				2		○						1		兼1	兼1	
児童医学	4後				2		○										
学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前			2			○										
ヘルスプロモーション	1前				2		○								兼1	兼1	
生涯スポーツ論	4後				2		○				1						
トレーニング実践演習	4前				1			○									
救急処置実習(テーピングを含む)	4後				1			○							兼1	兼1	
小計	-			4	26	0		-		2	1	0	2	0	兼13		
自由科目	資格関連科目	保育内容総論	3後			2	○								兼1		
		保育内容(健康)指導法	4後			2	○										
		保育内容(人間関係)指導法	4前			2	○						1		兼1	オムニバス	
		保育内容(環境)指導法	4後			2	○										
		保育内容(言葉)指導法	4後			2	○				1				兼1	兼1	
		保育内容(表現)指導法	4後			2	○										
		教育実習指導Ⅰ	2後		1			○			3	1			兼1	兼1	
		教育実習Ⅰ	3後		2				○		2	1					
		教育実習指導Ⅱ	4前		1			○			3	1			兼1	兼1	
		教育実習Ⅱ	4		2				○		2	1					
		教職実践演習(幼稚園・小学校)	4後		2			○			3	1			兼1	兼1	
		体験活動(幼稚園)	4		1				○		1	1					
		小計	-	0	0	21		-		8	2	0	2	0	兼4		
		合計(127科目)			-	43	137	45		-		19	6	0	4	0	兼65
学士又は称号			学士(児童スポーツ教育学)			学位又は学科の分野			体育関係、教育学・保育学関係								
卒業要件及び履修方法										授業期間等							
<学部共通>の【言語コミュニケーション科目】から必修科目4単位、【教養科目】から8単位以上、【総合科目】から必修科目4単位、選択科目1単位以上、【基幹科目】から必修科目8単位、小計25単位以上修得し、<学科共通>の【基幹科目】から必修科目20単位、【スポーツ実技科目】必修科目3単位、選択科目から2単位以上、小計25単位以上修得し、学部共通科目及び学科共通科目あわせて50単位を修得するほか、下記から76単位以上を修得し、学部共通及び学科共通と合わせて126単位以上修得すること。 <児童スポーツ教育コース専門科目>の【教育の基礎に関する科目】から選択1より10単位以上、選択2より10単位、小計20単位以上修得し、【教科の内容及び指導法に関する科目】から選択1、2、3よりそれぞれ4単位以上、選択4より16単位上、選択5より2単位以上、小計30単位以上修得し、【児童スポーツ教育科目】から必修科目4単位、選択科目から22単位以上、総計76単位以上を修得すること。 (履修単位の年間登録の上限：44単位(年間))										1学年の学期区分			2 学期				
										1学期の授業時間			1 5 週				
										1時限の授業時間			9 0 分				

教育課程等の概要																
(児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科幼児教育保育コース)																
区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
児童スポーツ教育学部共通科目	言語科目 コミュニケーション	基礎英語Ⅰ	1前	1			○			1				兼2		
		基礎英語Ⅱ	1後	1			○							兼2		
		英語コミュニケーションⅠ	2前	1			○							兼2		
		英語コミュニケーションⅡ	2後	1			○							兼2		
	小計		-	4	0	0	-		0	1	0	0	0	兼3		
	教養科目	現代社会と憲法	1前		2		○							兼1		
		情報機器の操作	1		2		○							兼1		
		心理学	1前		2		○							兼1		
		生命科学	2後		2		○							兼1		
		社会学	2前		2		○							兼1		
		文学	2後		2		○							兼1		
		経済学	2後		2		○							兼1		
	小計		-	0	14	0	-		0	0	0	0	0	兼7		
	総合科目	日体大の歴史（日体伝統実習を含む） （地域社会とスポーツ（CSC科目））	1前	2			○							兼1		
		野外活動実習A（雪上）	1前	2			○							兼1		
		野外活動実習B（山野）	2後	1				○						兼1		
		野外活動実習C（幼児野外活動）	2前	1				○						兼1		
		野外活動実習C（幼児野外活動）	1前	1				○	1					兼1		
	小計		-	4	3	0	-		1	0	0	0	0	兼4		
	基軸科目	基礎ゼミナールⅠ	1前	1			○		3	1						
		基礎ゼミナールⅡ（アカデミックレジャー）	1後	1			○		3	1						
		児童スポーツ教育演習	2通	2			○		6	2						
		児童スポーツ教育研究Ⅰ	3通	2			○		12	6		4				
		児童スポーツ教育研究Ⅱ	4通	2			○		18	5		3				
		小計	-	8	0	0	-		18	6	0	4	0			
自由科目	留学生科目	日本語基礎	1前			2	○							兼1		
		日本語応用	1後			2	○							兼1		
		日本事情Ⅰ	2前			2	○							兼1		
		日本事情Ⅱ	2後			2	○							兼1		
	小計		-	0	0	8	-		0	0	0	0	0	兼1		
資格関連科目	航空操縦士関連科目	航空基礎	1前			2	○							兼1		
		航空概論	1後			2	○							兼1		
		航空産業論	2前			2	○							兼1		
		クルー・リソース・マネジメント	2後			2	○							兼1		
		飛行安全	2後			2	○							兼1		
	小計		-	0	0	10	-		0	0	0	0	0	兼1		
児童スポーツ教育学科共通科目	基幹科目	現代子ども論	3前	2			○			2						
		子どもと人権	2後	2			○							兼1		
		発育発達論	2前	2			○							兼1		
		児童スポーツ教育論	1前	2			○		1							
		児童健康教育論	1後	2			○							兼1		
		食育論	2前	2			○					1				
		スポーツの歴史と本質	1後	2			○							兼1		
		児童の身体の仕組み	1前	2			○		1					兼1		
		スポーツ生理学	1後	2			○		1							
		野外活動論	1	2			○							兼1		
	小計		-	20	0	0	-		3	2	0	1	0	兼6		
	スポーツ実技	体操	2	1				○						兼1		
		水泳	1後	1				○						兼3		
		ダンス	1	1				○	1							
		器械運動	1後		1			○						兼1		
		陸上競技	1後		1			○						兼1		
		バドミントン	1後		1			○	1							
		サッカー	2前		1			○						兼1		
		卓球	2後		1			○						兼1		
		ソフトボール	2前		1			○						兼1		
		トランポリン	3前		1			○						兼1		
		バスケットボール	2後		1			○						兼1		
		新体操	3前		1			○						兼1		
	小計		-	3	10	0	-		2	0	0	0	0	兼13		
	資格関連科目	アダプテッドスポーツ論	3後			2	○							兼1		
		アダプテッドスポーツ実技	4後			1		○						兼1		
		スポーツ現場実務論	2後			2	○		1	1		1				
		スポーツ現場実習	3後			1		○	1	1		1				
	小計		-	0	0	6	-		1	1	0	1	0	兼1		

区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
幼児教育保育コース専門科目	基幹科目	幼児教育・保育入門	1前	2			○			3	1		1		兼1 兼1	オムニバース
		幼児の運動遊びⅠ	1前	1				○					1			
		幼児の運動遊びⅠⅠ	2後	1				○					1			
		教育原理	1前	2			○				1					
		保育原理	1前	2			○			1						
		教師論（幼稚園）	1前	2			○				1					
		発達と教育の心理学	1後	2			○			1						
		子どもの保健	2後	2			○			1						
		子ども家庭福祉	1後	2			○									
		児童文化	2後	2			○									
		キャリアデザインⅠ	1後	1				○		2	1					オムニバース
		保育者論	2前	2				○		1						
		社会福祉学	2前	2				○				1				
		保育の心理学	2前	2				○		1						
		社会的養護Ⅰ	2前	2				○			1					
		乳児保育Ⅰ	2後	2				○		1						
		子どもの理解と援助	2後	2				○		1						
		保育カリキュラム論	2後	2				○				1				
		教育の方法と技術（メディア教育を含む）	3後	2				○				1				
		保育現場体験指導（保育所・施設）	1後	1				○		1	1			1	共同 集中・共同 共同 集中・共同	
		保育現場体験（保育所・施設）	1後	1					○	1	1			1		
		保育現場体験指導（幼稚園）	2前	1				○		1	1			1		
		保育現場体験（幼稚園）	2前	1					○	1	1			1		
		小計	-	-	39	0	0	-	-	3	3	0	2	0	兼2	
	保育の内容と指導に関する科目	幼児と健康	2前	1				○					1		兼1 兼1	オムニバース
		幼児と人間関係	2後	1				○		1			1			
		幼児と環境	2前	1				○								
		幼児と言葉	2後	1				○							兼1 兼1	オムニバース
		幼児と表現	2前	1				○		1						
		保育内容総論演習	1後	1				○							兼1 兼1 兼1 兼1	オムニバース
		保育内容「健康」の指導法	3前	2				○				1				
		保育内容「人間関係」の指導法	3前	2				○		1			1			オムニバース
		保育内容「環境」の指導法	3前	2				○								
		保育内容「言葉」の指導法	3後	2				○								
		保育内容「表現」の指導法	2後	2				○		1					兼1 兼1 兼1 兼1	オムニバース
		音楽表現	1通	2				○		1						
		子どもの表現A	3前		1			○								
		子どもの表現B	3後		1			○								
		子どもの表現C	4		1			○		1					兼1 兼1	オムニバース
		保育とコンピュータ	4		1			○		1						共同
		小計	-	-	18	4	0	-	-	3	0	0	2	0	兼5	
	発展・展開科目	子ども家庭支援の心理学	3後		2			○			1				兼1	
		障がい児保育演習	3後			2			○				1			
		特別支援教育概論	3後			2			○		1					
		乳児保育ⅠⅠ	3後	1				○		1						
		社会的養護ⅠⅠ	3後		1			○			1					
		教育の制度と経営	3後		2			○			1					
子どもの食と栄養		3後		2			○					1				
キャリアデザインⅡ		3前	1				○			1		2		オムニバース		
子ども家庭支援論		4		2			○			1						
子どもの健康と安全		4		1			○		1					兼1	オムニバース	
病児・病後児保育		4前		2			○		1			1			オムニバース	
在宅保育論		4前		2			○		1	1		1		兼1	オムニバース	
子育て支援		4		1			○		1							
小計		-	-	3	18	0	-	-	1	4	0	3	0	兼2		
自由科目	資格関連科目	保育実習指導Ⅰ①	2後			1		○			1				兼1	共同
		保育実習Ⅰ①	2後			2			○		1				兼1	集中
		保育実習指導Ⅰ②	3前			1		○			1					共同
		保育実習Ⅰ②	3前			2			○		1				兼2	集中
		保育実習指導Ⅱ	3後			1		○					1			共同
		保育実習Ⅱ	3後			2			○				1		兼1	集中
		保育実習指導Ⅲ	3			1			○		1					共同
		保育実習Ⅲ	3			2				○	1				兼1	集中
		教育実習指導	4			1			○		1		1			共同
		教育実習（幼稚園）	4			3				○	1		1		兼1	集中・共同
		保育・教職実践演習（幼稚園）	4後			2		○		1	1		1			オムニバース
		小計	-	-	0	0	18	-	-	1	2	0	2	0	兼6	
		合計（120科目）			-	99	49	42	-	-	13	6	0	3	0	兼49
学士又は称号		学士（児童スポーツ教育学）					学位又は学科の分野		体育関係、教育学・保育学関係							
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
＜学部共通＞の【言語コミュニケーション科目】から必修科目4単位、【教養科目】から8単位以上、【総合科目】から必修科目4単位、選択科目1単位以上、【基幹科目】から必修科目8単位、小計25単位以上修得し、＜学科共通＞の【基幹科目】から必修科目20単位、【スポーツ実技科目】必修科目3単位、選択科目から2単位以上、小計25単位以上修得し、学部共通科目及び学科共通科目あわせて50単位を修得するほか、下記から76単位以上を修得し、学部共通及び学科共通と合わせて126単位以上修得すること。									1学年の学期区分		2 学期					
									1学期の授業時間		1 5 週					
＜幼児教育保育コース専門科目＞の【基幹科目】から必修科目39単位、【保育の内容と指導に関する科目】から必修科目26単位を含め選択科目と合わせ20単位以上、【発展・展開科目】から必修科目6単位、選択科目から11単位以上、小計17単位以上を修得し、合わせて76単位以上を修得すること。 （履修単位の年間登録の上限：44単位（年間））									1時限の授業時間		9 0 分					

資 料 目 次

【資料 1】 文部科学省「第 2 期スポーツ基本計画のポイント」	p. 2
【資料 2】 体育学部カリキュラム一覧(2019-20、2021 健康学科のみ)	p. 3
【資料 3】 スポーツ文化学部カリキュラム (2019)	p. 9
【資料 4】 児童スポーツ教育学部カリキュラム (2019)	p.11
【資料 5-1】 日本体育大学体育学部履修規程.....	p.13
【資料 5-2】 日本体育大学スポーツ文化学部履修規程.....	p.37
【資料 5-3】 日本体育大学児童スポーツ教育学部履修規程.....	p.54
【資料 6】 クラス編成一覧.....	p.81
【資料 7】 体育学部における所属クラス別学生数 (2017～2021 年度)	p.82
【資料 8】 キャンパスごとの授業施設収容人数一覧.....	p.83
【資料 9-1】 令和 3 (2021) 年度シャトルバス時刻表.....	p.84
【資料 9-2】 令和 3 (2021) 年度シャトルバス運行日程表.....	p.85
【資料 10】 体育学部における学生の週間動向表 令和 3 年 (2021) 年度.....	p.86



【2019-21年度入学者適用カリキュラム】体育学部 体育学科 スポーツ教育領域

体育学部 共通科目												
区分	保健 体育	キャリア 教育	授業科目	単位	期 間	授業 方法	1年	2年	3年	4年	必要 単位	計
基礎系現科科目			必修 1	1	半期	演習	●					
			英語基礎Ⅰ	1	半期	講義		●				
			英語基礎Ⅱ	1	半期	講義			●			
			基礎英語Ⅲ	1	半期	演習				●		6
基礎系現科科目	★		英語コミュニケーションⅠ	1	半期	演習						
	★		英語コミュニケーションⅡ	1	半期	演習		●				
			英検コミュニケーションⅡ	2	半期	講義	○	○				
	★		留学	2	半期	講義	○	○				
基礎系現科科目			選択 1	2	半期	講義	○					
			法字(日本語療法)	2	半期	講義	○					
			心理学	2	半期	講義	○					
			英新(音楽)	2	半期	講義	○					
基礎系現科科目	★		新科学	2	半期	講義	○					
			情報処理(情報機器の操作を含む)	2	半期	講義	○					
			社会学	2	半期	講義	○					
			歴史学	2	半期	講義	○					
基礎系現科科目			選択 2	2	半期	講義	○					
			経済学	2	半期	講義	○					
			統計学	2	半期	講義	○					
			エコロジー	2	半期	講義	○					
基礎系現科科目			自由 1	2	集中	実習	△					
			応用英語	2	通年	演習	△					
			ドイツ語	2	通年	演習	△					
			中国語	2	通年	演習	△					
基礎系現科科目			自由 2	2	集中	実習	△					
			韓国語	2	通年	演習	△					
			英語(英検対策)	2	通年	演習	△					
			英語(英検対策)	2	通年	演習	△					
基礎系現科科目	★		キャリアデザインA	1	集中	実習		○				
	★		キャリアデザインB	1	集中	実習			○			
	★		キャリアデザインC	1	集中	実習				○		
	★		キャリアデザインD(卒業研究を含む)	2	半期	講義		●				
基礎系現科科目	★		スポーツ研究A	2	半期	講義				△		
	★		スポーツ研究B	2	半期	講義					△	
	★		スポーツ研究C	2	半期	講義						
	★		体育概論	2	半期	講義						
基礎系現科科目	★		スポーツ生理学	2	半期	講義						
	★		野外活動論	2	半期	講義						
			スポーツ研究B	2	半期	講義		●				
			スポーツ研究C(卒業研究を含む)	2	通年	演習			●			7
基礎系現科科目	★		運動方法・体育の歴史	1	半期	実技	●					
	★		運動方法・体育の理論	1	半期	実技	●					
	★		運動方法・陸上競技	1	半期	実技	●					
	★		運動方法・水泳	1	半期	実技	●					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	●					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	●					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	●					
	★		運動方法・ハンドボール	1	半期	実技	●					
基礎系現科科目	★		運動方法・サッカー	1	半期	実技	●					
	★		運動方法・ラグビー	1	半期	実技	●					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1	半期	実技	○					
基礎系現科科目	★		運動方法・バスケットボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バドミントン	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・バレーボール	1	半期	実技	○					
	★		運動方法・卓球	1								

●……必修科目
○……選択科目
△……自由科目
×……キヤップ対象外科目

体育学科 スポーツ教育領域

区分		保健 体育	特別 支援	キャリア	授業科目	単位	期	実施 方法	1年	2年	3年	4年	必要 単位
基礎科目	必修1	★			ローチング等	2	年間	講義		●			10
		★			コーンボール・ハイオメガニクス	2	年間	講義		●			
		★			測定生理学	2	年間	講義			●		
		★			スポーツ心理学	2	年間	講義			●		
		★			発達生理学	2	年間	講義			●		
	選択1	★	■		衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	2	年間	講義		○			12
		★			特別支援教育総論	2	年間	講義		○			
		★			スポーツ科学(食品を含む)	2	年間	講義		○			
		★			スポーツ科学(薬品を含む)	2	年間	講義		○			
		★			学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2	年間	講義		○			
展開科目	選択2	★			スポーツ社会学	2	年間	講義		○			4
		★			スポーツ経営管理	2	年間	講義		○			
		★			スポーツ人論	2	年間	講義		○			
		★			学生スポーツ論	2	年間	講義		○			
		★			学生生活(教養処量を含む)	2	年間	講義		○			
	選択3	★			学生生活(教養処量を含む)	2	年間	講義		○			3
		★			学生生活(教養処量を含む)	2	年間	講義		○			
		★			専門運動方法(コルダ)	1	年間	実技		○			
		★			専門運動方法(フーチェリー)	1	年間	実技		○			
		★			知的障害児・者のスポーツ指導	1	年間	実技		○			
自由科目	選択4	★			知的障害児・者のスポーツ指導	1	年間	実技		○			4
		★			身体不自由児・者のスポーツ指導	1	年間	実技		○			
		★			身体不自由児・者の心理・生理・心理	1	年間	実技		○			
		★			身体不自由児・者の心理・生理・心理	1	年間	実技		○			
		★			身体不自由児・者の心理・生理・心理	1	年間	実技		○			
	選択5	★			知的障害児・者の心理・生理・心理	1	年間	実技		○			4
		★			知的障害児・者の心理・生理・心理	1	年間	実技		○			
		★			知的障害児・者の心理・生理・心理	1	年間	実技		○			
		★			知的障害児・者の心理・生理・心理	1	年間	実技		○			
		★			知的障害児・者の心理・生理・心理	1	年間	実技		○			

体育学部 共通科目													
区分	保健 体育	キャリア	授業科目	単位	期	授業 方法	1年	2年	3年	4年	必要 単位	計	
基礎教育科目	必修		国語表現Ⅰ	1	1 前期	演習	●					6	
	1		国語表現Ⅱ	1	1 前期	演習		●					
			英語表現Ⅰ	1	1 前期	演習	●						
			英語表現Ⅱ	1	1 前期	演習	●						
教養教育科目	★	★	英語コミュニケーションⅠ	1	1 前期	演習	●					8	
			英語コミュニケーションⅡ	1	1 前期	演習		●					
			社会学	2	2 前期	講義		○					
	★	★	法学(日本国憲法)	2	2 前期	講義	○						
			心理学	2	2 前期	講義	○						
			生命科学	2	2 前期	講義	○						
	★	★	情報処理(情報機器の操作を含む)	2	2 前期	講義	○						
			文字学	2	2 前期	講義		○					
			音楽学	2	2 前期	講義		○					
			経営学	2	2 前期	講義		○					
外国語科目			統計学	2	2 前期	講義		○				8	
			英語研究	2	2 前期	講義		○					
			× 海外語学研修	2	2 集中	講義		○					
			× 応用英語	2	2 通年	演習		△					
			× ドイツ語	2	2 通年	演習		△					
			× 中国語	2	2 通年	演習		△					
			× コリア語	2	2 通年	演習		△					
	必修1	立	× 日本史の歴史(日本伝統言語を含む)	2	2 前期	講義	●						2
	選択1	立	× 倫理教育	1	1 前期	講義		△					
		立	× キャリア教育	1	1 集中	実習		○					
総合教育科目	必修2	立	× スケート実習	1	1 集中	実習		○				6	
	必修1		× キャリアデザインA	2	2 前期	講義		●					
	選択1		× キャリアデザインB	2	2 前期	講義		△					
	選択1		× インターンシップ(事業後指導を含む)	1	1 集中	実習							
理数系科目	★	★	スポーツ研究A	2	2 前期	講義						12	
	★	★	スポーツ研究B	2	2 前期	講義		●					
	★	★	スポーツ研究C	2	2 前期	講義		●					
	★	★	情報科学実習	2	2 前期	講義		●					
理数系科目			野外運動論	2	2 前期	講義		●				7	
	必修1		× スポーツ研究D	1	1 前期	実習		●					
		×	× スポーツ研究E	2	2 通年	演習			●				
		×	× スポーツ研究F(卒業研究を含む)	4	4 通年	演習			●				
理数系科目	★	★	運動方法・体育の運動(必修)	1	1 前期	実技	●					6	
	★	★	運動方法・陸上競技	1	1 前期	実技	●						
	★	★	運動方法・水泳	1	1 前期	実技	●						
	★	★	運動方法・フットボール(野球を含む)	1	1 前期	実技	●						
実践系科目	★	立	運動方法・バスケットボール	1	1 前期	実技						2	
	立	立	運動方法・ハンドボール	1	1 前期	実技		○					
	立	立	運動方法・サッカー	1	1 前期	実技		○					
	選択1	立	運動方法・ラグビー	1	1 前期	実技		○					
実践系科目	立	立	運動方法・バレーボール	1	1 前期	実技	○					2	
	立	立	運動方法・テニス	1	1 前期	実技	○						
	立	立	運動方法・卓球	1	1 前期	実技	○						
	立	立	運動方法・武道(柔道)	1	1 前期	実技	○						
実践系科目	立	立	運動方法・バドミントン	1	1 前期	実技	○					2	
	立	立	運動方法・柔道(柔道)	1	1 前期	実技	○						
	立	立	運動方法・卓球(卓球)	1	1 前期	実技	○						
	立	立	運動方法・武道(剣道)	1	1 前期	実技	○						

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目
×…キヤップ対象外科目

体育学部 共通科目													
区分	保健 体育	基礎 知識	キャリア	授 業 科 目	単 位	期 間	授業 方法	1年	2年	3年	4年	必要 単位	計
基礎教育科目	必修			国語表現Ⅰ	1	前期	演習	●					
	必修			国語表現Ⅱ	1	前期	演習	●					
	必修			基礎英語Ⅰ	1	前期	演習	●					
	必修			基礎英語Ⅱ	1	前期	演習	●					
	必修	★	◆	英語コミュニケーションⅠ	1	前期	演習	●					6
	必修	★	◆	英語コミュニケーションⅡ	1	前期	演習	●					
	選択	★	◆	数学(日本国憲法)	2	前期	演習	○					
	選択	★	◆	心理学	2	前期	講義	○					8
	選択			芸術(音楽)	2	前期	講義	○					
	選択	★	◆	生物科学	2	前期	講義	○					
教養教育科目				情報処理(情報機器の操作を含む)	2	前期	講義	○					22
				文学	2	前期	講義	○					
				社会学	2	前期	講義	○					
				歴史学	2	前期	講義	○					8
				経済学	2	前期	講義	○					
				経営学	2	前期	講義	○					
				統計学	2	前期	講義	○					
				エコロジー	2	前期	講義	○					
				海外留学研修	2	集中	実習	△					
				応用英語	2	通年	演習	△					
外国語科目				ドイツ語	2	通年	演習	△				0	
				中国語	2	通年	演習	△					
				ロシア語	2	通年	演習	△					
				日本文学の歴史(日本文献実習を含む)	2	前期	講義	●				2	
	必修1			体育研究発表実習委員会	1	集中	実技	△					
	必修1	☆	◇	海外実習	1	集中	実習	○				1	
	必修1	☆	◇	キャンプ実習	1	集中	実習	○					6
	必修1	☆	◇	スキー実習	1	集中	実習	○					
	必修1	☆	◇	スケート実習	1	集中	実習	○					
	必修1	☆	◇	キャリアテチンA	2	前期	講義	●				1	
運動系科目				キャリアテチンB	2	前期	講義	●				2	
				インターンシップ(専門事後指導を含む)	2	前期	実習	△					
	必修	★	◆	スポーツ研究A	2	前期	実習	●					
	必修	★	◆	スポーツ哲学	2	前期	講義	●					
	必修	★	◆	スポーツ史	2	前期	講義	●					12
	必修	☆	◆	機能解剖学	2	前期	講義	●					
	必修	★	◆	スポーツ生理学	2	前期	講義	●					
				野外活動論	2	前期	講義	●					
	必修			スポーツ研究B	2	前期	実技	●				7	
	必修			スポーツ研究C	2	通年	演習	●					
専門教育科目				スポーツ研究D(卒業研究を含む)	4	通年	演習	●				6	
	必修	★		運動方法・体づく運動(体操)	1	前期	実技	●					
	必修	★	★	運動方法・器械運動	1	前期	実技	●					
	必修	★	★	運動方法・陸上競技	1	前期	実技	●					
	必修	★	★	運動方法・水泳	1	前期	実技	●					
	必修	★	★	運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1	前期	実技	●					
	必修	★	★	運動方法・ダンス(フリースタイルを含む)	1	前期	実技	●					
	選択	☆	☆	運動方法・バスケットボール	1	前期	実技	○				2	
	選択	☆	☆	運動方法・ハンドボール	1	前期	実技	○					
	選択	☆	☆	運動方法・サッカー	1	前期	実技	○					
実践教育科目				運動方法・ラグビー	1	前期	実技	○					
	選択	☆	☆	運動方法・バレーボール	1	前期	実技	○					
	選択	☆	☆	運動方法・テニス	1	前期	実技	○				2	
	選択	☆	☆	運動方法・卓球	1	前期	実技	○					
	選択	☆	☆	運動方法・バドミントン	1	前期	実技	○					
	選択	☆	☆	運動方法・卓球(並進)	1	前期	実技	○					
	選択	☆	☆	運動方法・卓球(並進(前進))	1	前期	実技	○					
	選択	☆	☆	運動方法・卓球(相持)	1	前期	実技	○				2	
	選択	☆	☆	運動方法・レスリング	1	前期	実技	○					
	選択	☆	☆	運動方法・レスリング	1	前期	実技	○					

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目
×…キャリア対象外科目

健康学科 ヘルスプロモーション領域																
区分	保健 体育	基礎 知識	キャリア	授 業 科 目	単 位	期 間	授業 方法	1年	2年	3年	4年	必要 単位	計			
基礎 科目	必修 1			ヘルスプロモーション論	2	前期	講義	●				6				
			社会福祉Ⅰ	2	前期	講義	●									
	必修 1	★	◆	健康増進学	2	前期	講義	●					12			
			衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	●									
			救急処置	2	前期	講義										
			労働衛生	2	前期	講義										
			労働衛生法規Ⅰ	2	前期	講義										
			労働衛生法規Ⅱ	2	前期	講義										
		☆		労働安全衛生	2	前期	講義									
		☆		スポーツ医学	2	前期	講義	○								
	★	◆	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2	前期	講義		○								
	◇	◇	予防医学	2	前期	講義		○								
展開 科目	選択 1			衛生学・公衆衛生学Ⅱ	2	前期	講義		○			20				
			◇	高齢者福祉と介護Ⅰ	2	前期	講義		○							
				アダプティブ・テクノロジー	2	前期	講義		○							
				ソニヤルワーク理論A	2	前期	講義		○前							
				ソニヤルワーク理論B	2	前期	講義		○後							
				医学概論	2	前期	講義			○前						
			★	◇	学校安全(救急処置を含む)	2	前期	講義		○						
			◇	臨床心理学(カウンセリングを含む)	2	前期	講義		○							
				社会福祉Ⅱ	2	前期	講義		○							
				児童・家庭福祉	2	前期	講義		○							
展開 科目	選択 1			障害福祉	2	前期	講義		○			40				
				地域福祉A	2	前期	講義		○							
			×	ソニヤルワークA	2	集中	講義		○							
			×	ソニヤルワークB	2	集中	講義		○							
			×	ソニヤルワークC	2	集中	講義		○							
			×	ソニヤルワークD	2	集中	講義		○							
			×	ソニヤルワークE	2	集中	講義		○							
			×	臨床心理学(実習を含む)	2	前期	講義		○前							
			◆	ヘルシング・トレーニング	2	前期	講義		○							
			★	◆	スポーツ実習(各自学習を含む)	2	前期	講義		○						
展開 科目	選択 2			スポーツ実習(実習を含む)	2	前期	講義		○			2				
			★	★	スポーツ社会学	2	前期	講義		○						
			★	★	スポーツ終身学習学	2	前期	講義		○						
					コーチング学	2	前期	講義		○						
					スポーツ・バイオメカニクス	2	前期	講義		○						
					測定評価学	2	前期	講義		○						
			★	★	スポーツ心理学	2	前期	講義		○						
			★	★	人権教育	2	前期	講義		○						
					トレーニング実践演習	1	前期	演習		○						2
					運動処方演習	1	前期	演習		○						2
展開 科目	必修 1		◆	エアロビクスダンス	2	前期	講義	●				2				
			◆	精神保健	2	前期	講義									
			◇	看護概論(看護教諭の職務を含む)	2	前期	講義									
			◇	精神医学	2	前期	講義									
			◇	基礎看護学	2	前期	講義									
			◇	免疫学	2	前期	講義									
			◇	学校保健Ⅱ(保健室経営を含む)	2	前期	講義		○前							
			◇	栄養学(学校給食を含む)	2	前期	講義		○							
			◇	微生物学	2	前期	講義		○							
			◇	思春期保健	2	集中	講義		○							
展開 科目	選択 1	★	★	教育原理	2	前期	講義					22	25			
		★	★	教育心理学	2	前期	講義									
		★	★	体育と教育法	2	前期	講義									
		★	★	保健科教育法	2	前期	講義									
		★	★	運動教育の指導法	2	前期	講義									
		★	★	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	前期	講義									
		★	★	教師(道・看護)	2	前期	講義									
		★	★	教育の制度と経営	2	前期	講義									
		★	★	特別支援教育概論	2	前期	講義									
		★	★	教育の力と技術	2	前期	講義									
展開 科目	選択 2	★	◆	基礎看護学(看護指導・キャリア教育を含む)	2	前期	講義					1				
		★	◆	看護概論(看護指導・キャリア教育を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	体育と教育法	2	前期	講義									
		★	◆	体育と教育法	2	前期	講義									
		★	◆	体育と教育法	2	前期	講義									
		★	◆	体育と教育法	2	前期	講義									
		★	◆	体育と教育法	2	前期	講義									
		★	◆	体育と教育法	2	前期	講義									
		★	◆	体育と教育法	2	前期	講義									
自由 科目	自由	★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義					0				
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									
		★	◆	看護学(学校給食を含む)	2	前期	講義									

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目
×…キヤップ対象外科目

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目
×…キヤップ対象

体育学部 共通科目									
区分	保健 体育	英語 キヤップ	授 業 科 目	単 位	期	1年	2年	3年	計
教 養 教 育 科 目	必修		国語基礎Ⅰ	1	前期	●			6
	必修		国語基礎Ⅱ	1	前期	●			
	必修		基礎英語Ⅰ	1	前期	●			
	必修	◆	基礎英語Ⅱ	1	前期	●			
	必修	◆	基礎コミュニケーションⅠ	1	前期	●			
	必修	◆	基礎コミュニケーションⅡ	1	前期	●			
	選択		初学	2	前期	○			8
	選択		法学(日本国憲法)	2	前期	○			
	選択		心理学	2	前期	○			
	選択		芸術(音楽)	2	前期	○			
教 養 科 目	必修	◆	情報処理(情報機器の操作を含む)	2	前期	○			22
	必修		文学	2	前期	○			
	選択		社会学	2	前期	○			
	選択		歴史学	2	前期	○			
	選択		経済学	2	前期	○			
	選択		統計学	2	前期	○			
	選択	×	エコロジー	2	前期	○			2
	選択	×	海外留学研修	2	集中	△			
	自由	×	応用英語	2	通年	△			
	自由	×	ドイツ語	2	通年	△			
外 国 語 科 目	必修	×	中国語	2	通年	△			0
	必修	×	ロシア語	2	通年	△			
	必修	×	日本文学の歴史(日校伝統実習を含む)	2	前期	●			
	必修	×	体育研究発表実演会	2	集中	△			
	必修	×	海外実習	1	集中	△			
	必修	×	英語実習	1	集中	△			6
	必修	◇	英語実習	1	集中	○			
	必修	◇	スキー実習	1	集中	○			
	必修	◇	スキー実習	1	集中	○			
	必修	◇	スキー実習	1	集中	○			1
理 論 系 科 目	必修		キャリアデザインA	2	前期	●			
	必修		キャリアデザインB	2	前期	●			2
	必修		インターンシップ(事前事後指導を含む)	2	前期	●			
	必修	×	スポーツ研究A	1	集中	△			6
	必修	×	スポーツ研究B	1	集中	△			
	必修	×	スポーツ研究C	2	通年	●			7
	必修	×	スポーツ研究D(卒業研究を含む)	2	通年	●			
	必修	×	運動方法・器械運動	4	前期	●			6
	必修	×	運動方法・陸上競技	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・水泳	1	前期	●			31
実 践 系 科 目	必修	×	運動方法・フットボール(野球を含む)	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・バスケットボール	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・ハンドボール	1	前期	●			2
	必修	×	運動方法・ラグビー	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・サッカー	1	前期	●			2
	必修	×	運動方法・バレーボール	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・テニス	1	前期	●			2
	必修	×	運動方法・卓球	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・バドミントン	1	前期	●			2
	必修	×	運動方法・武道(柔道)	1	前期	●			
専 門 教 育 科 目	必修	×	運動方法・武道(剣道)	1	前期	●			2
	必修	×	運動方法・武道(相撲)	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・レスリング	1	前期	●			2
	必修	×	運動方法・レスリング	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・レスリング	1	前期	●			2
	必修	×	運動方法・レスリング	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・レスリング	1	前期	●			2
	必修	×	運動方法・レスリング	1	前期	●			
	必修	×	運動方法・レスリング	1	前期	●			2
	必修	×	運動方法・レスリング	1	前期	●			

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目
×…キヤップ対象外科目

健康学科 ヘルスプロモーション領域

健康学科 ヘルスプロモーション領域												
区分	保健 体育	英語 キヤップ	業 務 科 目	単 位	期	1年	2年	3年	4年	必要 単位		
必修科目			ヘルスプロモーション論	2	前期	●				6		
			社会福祉Ⅰ	2	前期	●						
	★	◆	健康増進学	2	前期	●						
		◆	衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	2	前期	●						
		◆	労働衛生	2	前期	●						
		◆	労働衛生	2	前期	●						
	必修科目			労働衛生Ⅰ	2	前期	●				12	
				労働衛生Ⅱ	2	前期	●					
				労働衛生Ⅲ	2	前期	●					
				労働衛生Ⅳ	2	前期	●					
		☆	労働衛生Ⅴ	2	前期	○				●		
		☆	労働衛生Ⅵ	2	前期	○						
		☆	労働衛生Ⅶ	2	前期	○						
		☆	労働衛生Ⅷ	2	前期	○						
選択科目				労働衛生Ⅸ	2	前期	○				20	
				労働衛生Ⅹ	2	前期	○					
			労働衛生Ⅺ	2	前期	○						
			労働衛生Ⅻ	2	前期	○						
			労働衛生Ⅼ	2	前期	○				2		
			労働衛生Ⅽ	2	前期	○						
			労働衛生Ⅾ	2	前期	○						
			労働衛生Ⅿ	2	前期	○						
	選択科目			労働衛生ⅰ	2	前期	○				2	
				労働衛生ⅱ	2	前期	○					
			労働衛生ⅲ	2	前期	○						
			労働衛生ⅳ	2	前期	○						
選択科目				労働衛生ⅴ	2	前期	○				22	
				労働衛生ⅵ	2	前期	○					
				労働衛生ⅶ	2	前期	○					
				労働衛生ⅷ	2	前期	○					
		選択科目			労働衛生ⅸ	2	前期	○				25
					労働衛生ⅹ	2	前期	○				
				労働衛生ⅺ	2	前期	○					
				労働衛生ⅽ	2	前期	○					
	選択科目				労働衛生ⅾ	2	前期	○				1
					労働衛生ⅿ	2	前期	○				
				労働衛生ⅿ	2	前期	○					
				労働衛生ⅿ	2	前期	○					
選択科目					労働衛生ⅿ	2	前期	○				0
					労働衛生ⅿ	2	前期	○				
				労働衛生ⅿ	2	前期	○					
				労働衛生ⅿ	2	前期	○					

体育学部 共通科目												
区分	保健 体育	社会 福祉士 キップ	授業 科目	単位	期	授業 方法	1年	2年	3年	4年	必要 単位	計
教養教育科目	言語表現科目	★	国語表現Ⅰ	1	前期	演習	●	●				6
			国語表現Ⅱ	1	前期	演習	●	●				
			基礎英語Ⅰ	1	前期	演習	●	●				
			基礎英語Ⅱ	1	前期	演習	●	●				
	選択科目	★	英語コミュニケーションⅠ	1	前期	演習		●				8
			英語コミュニケーションⅡ	1	前期	演習		●				
			数学	2	前期	講義	○	○				
			化学	2	前期	講義	○	○				
	選択科目	★	法字(日本国憲法)	2	前期	講義	○	○				22
			心理学	2	前期	講義	○	○				
			芸術(音楽)	2	前期	講義	○	○				
			生命科学	2	前期	講義	○	○				
選択科目	★	情報処理(情報機器の操作を含む)	2	前期	講義	○	○				8	
		文学	2	前期	講義							
		社会学	2	前期	講義							
		歴史学	2	前期	講義							
選択科目	★	経済学	2	前期	講義						0	
		経営学	2	前期	講義							
		経営学	2	前期	講義							
		経営学	2	前期	講義							
自由1	★	エコロジー	2	前期	講義		△				2	
		海外留学研修	2	集中	実習		△					
		応用英語	2	通年	演習		△					
		ドイツ語	2	通年	演習		△					
総合教育科目	必修1	★	中国語	2	通年	演習		△			6	
			ロシア語	2	通年	演習		△				
			中国語	2	通年	演習		△				
			ロシア語	2	通年	演習		△				
	選択1	★	日本文学の歴史(日本文献実習を含む)	2	前期	講義	●	●			2	
			日本文学の歴史(日本文献実習を含む)	2	前期	講義	●	●				
			日本文学の歴史(日本文献実習を含む)	2	前期	講義	●	●				
			日本文学の歴史(日本文献実習を含む)	2	前期	講義	●	●				
	選択2	★	体育研究発表実習会	1	集中	実習		△			1	
			体育研究発表実習会	1	集中	実習		△				
			体育研究発表実習会	1	集中	実習		△				
			体育研究発表実習会	1	集中	実習		△				
選択3	★	キャリアデザインA	1	集中	実習		○			1		
		キャリアデザインB	1	集中	実習		○					
		キャリアデザインC	1	集中	実習		○					
		キャリアデザインD	1	集中	実習		○					
専門教育科目	必修	★	インテリゲンツァ(専門事後指導を含む)	2	前期	講義		●			12	
			インテリゲンツァ(専門事後指導を含む)	2	前期	講義		●				
			インテリゲンツァ(専門事後指導を含む)	2	前期	講義		●				
			インテリゲンツァ(専門事後指導を含む)	2	前期	講義		●				
	必修1	★	スポーツ研究A	1	集中	実習		△			7	
			スポーツ研究A	1	集中	実習		△				
			スポーツ研究A	1	集中	実習		△				
			スポーツ研究A	1	集中	実習		△				
	必修2	★	スポーツ研究B	1	集中	実習		●			2	
			スポーツ研究B	1	集中	実習		●				
			スポーツ研究B	1	集中	実習		●				
			スポーツ研究B	1	集中	実習		●				
必修3	★	スポーツ研究C	1	集中	実習		●			2		
		スポーツ研究C	1	集中	実習		●					
		スポーツ研究C	1	集中	実習		●					
		スポーツ研究C	1	集中	実習		●					
実践系科目	必修	★	スポーツ研究D(卒業研究を含む)	4	通年	演習		●			6	
			スポーツ研究D(卒業研究を含む)	4	通年	演習		●				
			スポーツ研究D(卒業研究を含む)	4	通年	演習		●				
			スポーツ研究D(卒業研究を含む)	4	通年	演習		●				
	必修2	★	運動方法・器械運動	1	前期	実技		●			31	
			運動方法・器械運動	1	前期	実技		●				
			運動方法・器械運動	1	前期	実技		●				
			運動方法・器械運動	1	前期	実技		●				
	選択1	★	運動方法・水泳	1	前期	実技		●			2	
			運動方法・水泳	1	前期	実技		●				
			運動方法・水泳	1	前期	実技		●				
			運動方法・水泳	1	前期	実技		●				
選択2	★	運動方法・フットボール(野球を含む)	1	前期	実技		●			2		
		運動方法・フットボール(野球を含む)	1	前期	実技		●					
		運動方法・フットボール(野球を含む)	1	前期	実技		●					
		運動方法・フットボール(野球を含む)	1	前期	実技		●					
選択3	★	運動方法・バスケットボール	1	前期	実技		○			2		
		運動方法・バスケットボール	1	前期	実技		○					
		運動方法・バスケットボール	1	前期	実技		○					
		運動方法・バスケットボール	1	前期	実技		○					
選択4	★	運動方法・ハンドボール	1	前期	実技		○			2		
		運動方法・ハンドボール	1	前期	実技		○					
		運動方法・ハンドボール	1	前期	実技		○					
		運動方法・ハンドボール	1	前期	実技		○					
選択5	★	運動方法・ラグビー	1	前期	実技		○			2		
		運動方法・ラグビー	1	前期	実技		○					
		運動方法・ラグビー	1	前期	実技		○					
		運動方法・ラグビー	1	前期	実技		○					
選択6	★	運動方法・バレーボール	1	前期	実技		○			2		
		運動方法・バレーボール	1	前期	実技		○					
		運動方法・バレーボール	1	前期	実技		○					
		運動方法・バレーボール	1	前期	実技		○					
選択7	★	運動方法・テニス	1	前期	実技		○			2		
		運動方法・テニス	1	前期	実技		○					
		運動方法・テニス	1	前期	実技		○					
		運動方法・テニス	1	前期	実技		○					
選択8	★	運動方法・ハンドミント	1	前期	実技		○			2		
		運動方法・ハンドミント	1	前期	実技		○					
		運動方法・ハンドミント	1	前期	実技		○					
		運動方法・ハンドミント	1	前期	実技		○					
選択9	★	運動方法・柔道(後進)	1	前期	実技		○			2		
		運動方法・柔道(後進)	1	前期	実技		○					
		運動方法・柔道(後進)	1	前期	実技		○					
		運動方法・柔道(後進)	1	前期	実技		○					
選択10	★	運動方法・柔道(初進)	1	前期	実技		○			2		
		運動方法・柔道(初進)	1	前期	実技		○					
		運動方法・柔道(初進)	1	前期	実技		○					
		運動方法・柔道(初進)	1	前期	実技		○					
選択11	★	運動方法・柔道(相撲)	1	前期	実技		○			2		
		運動方法・柔道(相撲)	1	前期	実技		○					
		運動方法・柔道(相撲)	1	前期	実技		○					
		運動方法・柔道(相撲)	1	前期	実技		○					

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目
×…キャリアアップ対象外科目

健康学科 ソーシャルサポート領域

区分	保健 体育	社会 福祉士 キップ	授業 科目	単位	期	授業 方法	1年	2年	3年	4年	必要 単位	計
健康学科 共通科目	必修1	★	ヘルスプロモーション論	2	前期	講義	●	●				6
			健康増進学	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	●	●				
	必修1	★	健康増進学Ⅰ	2	前期	講義	●	●				12
			健康増進学Ⅱ	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学Ⅲ	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学Ⅳ	2	前期	講義	●	●				
	選択1	★	健康増進学Ⅴ	2	前期	講義	●	●				20
			健康増進学Ⅵ	2	前期	講義	●	●				
健康学科 ソーシャルサポート領域	必修2	★	ヘルスプロモーション論	2	前期	講義	●	●				2
			健康増進学	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	●	●				
	選択2	★	ヘルスプロモーション論	2	前期	講義	●	●				22
			健康増進学	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	●	●				
	必修3	★	ヘルスプロモーション論	2	前期	講義	●	●				25
			健康増進学	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	●	●				
			健康増進学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	●	●				

区分	キャップ	授業科目	単 位	期 間	学 期	授業 方法	コマ	学年	1年	2年	3年	4年	必要 単位	計		
学 部 共 通	必修	国語表現Ⅰ	1	前期	演習	演習	2	2	●				6	14		
		国語表現Ⅱ	1	前期	演習	演習	2	2		●						
		英語コミュニケーションⅠ	1	前期	演習	演習	2	2		●						
		英語コミュニケーションⅡ	1	前期	演習	演習	2	2		●						
	選択	基礎英語Ⅰ	1	前期	演習	演習	2	1	●							
		基礎英語Ⅱ	1	前期	演習	演習	2	1	●							
		法政(日本国憲法)	2	前期	講義	講義	1	1	○						8	
		情報処理(情報機器の操作を含む)	2	前期	講義	講義	2	1	○							
		芸術	2	前期	講義	講義	2	1	○							
		初学	2	前期	講義	講義	2	1	○							
		自由	心理学	2	前期	講義	講義	1	1	○						0
			社会学	2	前期	講義	講義	1	1	○						
			経済学	2	前期	講義	講義	1	1	○						
			経営学	2	前期	講義	講義	1	1	○						
増外語学研修	2		集中	演習	演習	1	2		○							
英語	2		通年	演習	演習	1	3		△							
学 部 専 門 (理 論)	必修	英語	2	通年	演習	演習	1	3		△			2	17		
		ドイツ語	2	通年	演習	演習	1	3								
		フランス語	2	通年	演習	演習	1	3								
		中国語	2	通年	演習	演習	1	3								
	総合	必修1	× 日本文学の歴史(日本文学概論を含む)	2	前期	講義	講義	1	1	●					7	
		自由1	× 体育研究発展史演習	1	集中	演習	演習	1	1	△						
		選択1	× 集団行動演習	1	前期	演習	演習	1	2		○					2
		× スポーツと組織	2	前期	演習	演習	1	2		○						
		選択2	× 海防演習	1	集中	演習	演習	1	2		○					1
		× キーパー演習	1	集中	演習	演習	1	2		○						
		選択3	× スキー演習	1	集中	演習	演習	1	3			○				1
		× スノーボード演習	1	集中	演習	演習	1	3			○					
		必修2	× スポーツ文化研究A	2	前期	講義	講義	1	2	●						0
		× スポーツ文化研究B	2	前期	演習	演習	2	2		△						
展開	必修3	× スポーツ文化研究C	2	通年	演習	演習	2	3		●			2			
	× スポーツ文化研究D	2	通年	演習	演習	2	4									
	自由2	× 卒業研究	2	通年	演習	演習	2	4						0		
	× 他国社会とスポーツ	2	前期	演習	演習	1	1	●								
学 部 専 門 (体 育 実 技)	必修	他国社会とスポーツ	2	前期	演習	演習	2	2		△			0	18		
		他国スポーツ演習	1	集中	演習	演習	2	3		●						
		キーパーデザイン	2	前期	演習	演習	2	3								
		キーパーデザイン	2	前期	演習	演習	2	3								
	基 幹	自由4	× インターナショナル演習	1	集中	演習	演習	1	2		△				6	
		必修	× スポーツ社会学	2	前期	講義	講義	1	3			●				8
		× スポーツ哲学	2	前期	講義	講義	1	1	●							
		× スポーツ史	2	前期	講義	講義	1	2								
		× 武道論	2	前期	講義	講義	1	2		○						
		× 武道文化論	2	前期	講義	講義	1	2								
		× スポーツの安全指導(リスクマネジメント)	2	前期	講義	講義	1	1	○							
		× スポーツ医学	2	前期	講義	講義	1	2		○						
		× 野外活動論	2	前期	講義	講義	1	1								
		× 武道論概論	2	前期	講義	講義	1	2		○						
展開	× 身体文化論	2	前期	講義	講義	1	2		○				4			
	× 学生・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	2	前期	講義	講義	1	1	○								
	× 機能解剖学	2	前期	講義	講義	1	1	○								
	× 栄養学演習	2	前期	講義	講義	1	2									
学 部 専 門 (体 育 実 技)	必修	× 運動方法・格闘(体操)	1	前期	実技	実技	2	1	●				8	10		
		× 運動方法・器械運動	1	前期	実技	実技	2	1	●							
		× 運動方法・水上競技	1	前期	実技	実技	2	1	●							
		× 運動方法・水泳	1	前期	実技	実技	2	1	●							
		× 運動方法・フットボール(野球を含む)	1	前期	実技	実技	2	1	●							
		× 運動方法・バスケットボール(バスを含む)	1	前期	実技	実技	2	1	●							
	選択1	× 運動方法・球技A	1	前期	実技	実技	2	1	○						1	
		× 運動方法・球技B	1	前期	実技	実技	2	1	○							
		× 運動方法・武道(柔道)	1	前期	実技	実技	2	1	○							
		× 運動方法・武道(剣道)	1	前期	実技	実技	2	1	○							
		× 運動方法・武道(射道)	1	前期	実技	実技	2	1	○							
		× スポーツ実技指導法・柔道	1	前期	実技	実技	2	1	○							
		× スポーツ実技指導法・剣道	1	前期	実技	実技	2	1	○							
		× スポーツ実技指導法・相撲	1	前期	実技	実技	1	3								
選択2	× スポーツ実技指導法・相撲	1	前期	実技	実技	1	3						1			
	× スポーツ実技指導法・相撲	1	前期	実技	実技	1	3									

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目

区分		キャップ	授業科目	単 位	期 間	学 期	授業 方法	コマ	学年	1年	2年	3年	4年	必要 単位	計	
学科基礎	基 幹	必修	スポーツ文化論	2	前期	後期	講義	1	1	●				9	25	
			文化人類学	2	前期	後期	講義	1	1	●						
			スポーツ人類学	2	前期	後期	講義	1	1	●						
			経済論	2	前期	後期	講義	1	2							
			社会学	2	前期	後期	講義	1	2							
	展 開	選択1	× レーニング学	2	前期	前期	講義	2	1	●						
			× スポーツ心理学	2	前期	後期	講義	1	3			○			4	
			× スポーツバイオメカニクス	2	前期	後期	講義	1	3			○				
			× 人間教育	2	前期	後期	講義	1	2			○			6	
			× 学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2	前期	後期	講義	1	3			○				
学科専門	基 幹	必修	学校安全(緊急処置を含む)	2	前期	後期	講義	1	3			○			2	30
			× スポーツ経営管理	2	前期	後期	講義	1	3			○				
			× 国際経済論	2	前期	後期	講義	1	3			○				
			× スポーツと国際協力	2	前期	後期	講義	1	3			○		2		
			× 国際保健学	2	前期	後期	講義	1	3			○				
	展 開 (理論)	選択1	× 伝達技能学	2	前期	後期	講義	1	3			○			4	
			× 伝達技能学	2	前期	後期	講義	1	2			○				
			× 伝達技能学	2	前期	後期	講義	1	2			○				
			× 伝達技能学	2	前期	前期	講義	1	2			○				
			× 比較運動学	2	前期	前期	講義	1	2			○				
資格関連	基 幹	必修	武道教育論	2	前期	前期	講義	1	2		●			8		
			× 武道技術論	2	前期	後期	講義	8	3			●				
			× 格闘論	2	前期	後期	講義	1	3							
			× 比較武道文化論	2	前期	前期	講義	1	2			●				2
			× 武道国際交流論	2	前期	前期	講義	1	2			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 伝達文化・交流・受入A	2	前期	後期年中	実習	1	2			○			1	
			× 伝達文化・交流・受入B	2	前期	後期年中	実習	1	2			○				
			× 武道結核教育法	2	前期	後期	講義	1	3			○				
			× 武道教育研究法	2	前期	前期	演習	2	3			○				
			× 武道用具論	2	前期	前期	講義	1	4			○		8		
学科専門	基 幹	必修	武道文獻講座	2	前期	後期	講義	1	2		○			3		
			× 古典芸能論(能・舞踊)	2	前期	後期	講義	1	2			○				
			× 芸能創作論(作品論を含む)	2	前期	後期	講義	1	2			○				
			× 芸能鑑賞論	2	前期	後期	講義	1	4			○				
			× 芸能鑑賞交流論	2	前期	前期	講義	1	2			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 国際武道実技	1	前期	後期	実技	2	1			○			3	
			× 武道実技(弓道)	1	前期	前期	実技	2	3			○				
			× 武道実技(形)	1	前期	前期	実技	2	2			○				
			× 武道実技(防具)	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 専攻武道実技Ⅰ	2	通年	通年	実技	8	1			○				
資格関連	基 幹	必修	専攻武道実技Ⅱ	2	通年	通年	実技	8	2					8		
			× 専攻武道実技Ⅲ	2	通年	通年	実技	8	3							
			× 専攻武道実技Ⅳ	2	通年	通年	実技	8	4							
			× 伝達至能実技Ⅰ	1	前期	前期	実技	1	1			○				
			× 伝達至能実技Ⅱ	1	前期	前期	実技	1	2			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 伝達至能実技Ⅲ	1	前期	前期	実技	1	3			○			8	
			× 伝達至能実技Ⅳ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅴ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅵ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅶ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
資格関連	基 幹	必修	伝達至能実技Ⅷ	1	前期	後期	実技	1	3			○		10		
			× 伝達至能実技Ⅸ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅹ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅺ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅻ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 伝達至能実技Ⅼ	1	前期	後期	実技	1	3			○			10	
			× 伝達至能実技Ⅽ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅾ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅿ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技ⅰ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
資格関連	基 幹	必修	武道教育論	2	前期	前期	講義	1	1	○				10		
			× 武道技術論	2	前期	後期	講義	1	1							
			× 格闘論	2	前期	後期	講義	1	2			○				
			× 比較武道文化論	2	前期	前期	講義	1	2			○				
			× 武道国際交流論	2	前期	前期	講義	1	2			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 伝達文化・交流・受入A	2	前期	後期	実習	1	2			○			10	
			× 伝達文化・交流・受入B	2	前期	後期	実習	1	2			○				
			× 武道結核教育法	2	前期	後期	講義	1	3			○				
			× 武道教育研究法	2	前期	前期	演習	2	3			○				
			× 武道用具論	2	前期	前期	講義	1	4			○				
資格関連	基 幹	必修	武道文獻講座	2	前期	後期	講義	1	2		○			3		
			× 古典芸能論(能・舞踊)	2	前期	後期	講義	1	2			○				
			× 芸能創作論(作品論を含む)	2	前期	後期	講義	1	2			○				
			× 芸能鑑賞論	2	前期	後期	講義	1	4			○				
			× 芸能鑑賞交流論	2	前期	前期	講義	1	2			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 国際武道実技	1	前期	後期	実技	2	1			○			3	
			× 武道実技(弓道)	1	前期	前期	実技	2	3			○				
			× 武道実技(形)	1	前期	前期	実技	2	2			○				
			× 武道実技(防具)	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 専攻武道実技Ⅰ	2	通年	通年	実技	8	1			○				
資格関連	基 幹	必修	専攻武道実技Ⅱ	2	通年	通年	実技	8	2					8		
			× 専攻武道実技Ⅲ	2	通年	通年	実技	8	3							
			× 専攻武道実技Ⅳ	2	通年	通年	実技	8	4							
			× 伝達至能実技Ⅰ	1	前期	前期	実技	1	1			○				
			× 伝達至能実技Ⅱ	1	前期	前期	実技	1	2			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 伝達至能実技Ⅲ	1	前期	前期	実技	1	3			○			8	
			× 伝達至能実技Ⅳ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅴ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅵ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅶ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
資格関連	基 幹	必修	伝達至能実技Ⅷ	1	前期	後期	実技	1	3			○		10		
			× 伝達至能実技Ⅸ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅹ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅺ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅻ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 伝達至能実技Ⅼ	1	前期	後期	実技	1	3			○			10	
			× 伝達至能実技Ⅽ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅾ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅿ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技ⅰ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
資格関連	基 幹	必修	武道教育論	2	前期	前期	講義	1	2		●			8		
			× 武道技術論	2	前期	後期	講義	8	3			●				
			× 格闘論	2	前期	後期	講義	1	3							
			× 比較武道文化論	2	前期	前期	講義	1	2			●				2
			× 武道国際交流論	2	前期	前期	講義	1	2			○				
	展 開 (理論)	選択1	× 伝達文化・交流・受入A	2	前期	後期年中	実習	1	2			○			1	
			× 伝達文化・交流・受入B	2	前期	後期年中	実習	1	2			○				
			× 武道結核教育法	2	前期	後期	講義	1	3			○				
			× 武道教育研究法	2	前期	前期	演習	2	3			○				
			× 武道用具論	2	前期	前期	講義	1	4			○		8		
資格関連	基 幹	必修	武道文獻講座	2	前期	後期	講義	1	2		○			3		
			× 古典芸能論(能・舞踊)	2	前期	後期	講義	1	2			○				
			× 芸能創作論(作品論を含む)	2	前期	後期	講義	1	2			○				
			× 芸能鑑賞論	2	前期	後期	講義	1	4			○				
			× 芸能鑑賞交流論	2	前期	前期	講義	1	2			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 国際武道実技	1	前期	後期	実技	2	1			○			3	
			× 武道実技(弓道)	1	前期	前期	実技	2	3			○				
			× 武道実技(形)	1	前期	前期	実技	2	2			○				
			× 武道実技(防具)	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 専攻武道実技Ⅰ	2	通年	通年	実技	8	1			○				
資格関連	基 幹	必修	専攻武道実技Ⅱ	2	通年	通年	実技	8	2					8		
			× 専攻武道実技Ⅲ	2	通年	通年	実技	8	3							
			× 専攻武道実技Ⅳ	2	通年	通年	実技	8	4							
			× 伝達至能実技Ⅰ	1	前期	前期	実技	1	1			○				
			× 伝達至能実技Ⅱ	1	前期	前期	実技	1	2			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 伝達至能実技Ⅲ	1	前期	前期	実技	1	3			○			8	
			× 伝達至能実技Ⅳ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅴ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅵ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅶ	1	前期	前期	実技	1	3			○				
資格関連	基 幹	必修	伝達至能実技Ⅷ	1	前期	後期	実技	1	3			○		10		
			× 伝達至能実技Ⅸ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅹ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅺ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅻ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
	展 開 (実践)	選択1	× 伝達至能実技Ⅼ	1	前期	後期	実技	1	3			○			10	
			× 伝達至能実技Ⅽ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅾ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技Ⅿ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
			× 伝達至能実技ⅰ	1	前期	後期	実技	1	3			○				
資格関連	基 幹	必修	武道教育論	2	前期</											

【2019-21年度入学者適用 カリキュラム】

区分	キャンパス	授業科目	単 位	期	学期	授業方法	コマ	学年	1年	2年	3年	4年	必要単位	
学部共通	教養	必修	国語表現Ⅰ	1	前期	演習	2	1	●					
				1	前期	演習	2	2		●				
				1	前期	演習	2	2		●			6	
				1	前期	演習	2	2		●				
		選択	基礎英語Ⅰ	1	前期	演習	2	1	●					
				2	前期	演習	2	1	●					
				2	前期	講義	2	1	○					
				2	前期	講義	2	1	○				8	
		自由	心理学	2	前期	講義	2	1	○					
				2	前期	講義	2	1	○					
				2	前期	講義	2	1	○					
				2	前期	講義	2	1	○					
	総合	必修1	海外建学研修	2	集中	講義	1	2	△					
				2	集中	講義	1	2	△					
				2	集中	講義	1	2	△					
				2	集中	講義	1	2	△					
		必修2	スポーツ文化研究A	2	前期	講義	1	1	●					2
				2	前期	講義	1	1	△				0	
				2	前期	講義	1	1	△				2	
	基幹	必修3	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	●					
				2	前期	講義	1	1	●					
				2	前期	講義	1	1	●					
				2	前期	講義	1	1	●					
		必修4	スポーツ文化研究B	2	前期	講義	1	1	●					
				2	前期	講義	1	1	●					
				2	前期	講義	1	1	●					
		必修5	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	●					
				2	前期	講義	1	1	●					
				2	前期	講義	1	1	●					
学部専門（理論）	展開	必修	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
		必修2	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
		必修3	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
	展開	必修4	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
学部専門（体育・実技）	展開	必修	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
		必修2	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
		必修3	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					
	展開	必修4	身体活動実習	2	前期	講義	1	1	○					
				2	前期	講義	1	1	○					

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目

区分	小学校	幼稚園	キヤッ ップ	授業科目の名称	単位	期	授業方 法	必修 選択 区分	開講 学年	1年	2年	3年	4年	必要単 位	社
児童スポーツ教育コース専門科目	★	★		教育原理	2	前期	講義	選択	1	○					
				教育の制度と経営	2	中期	講義	選択	1	○					
	★	★		教育心理学	2	中期	講義	選択	3						
	★	★		発達心理学	2	中期	講義	選択	2		○			10	
	★	★		教師入門	2	中期	講義	選択	3		○				
	★	★		特別支援教育概論	2	中期	講義	選択	3		○				
	★	★		教育課程理論	2	中期	講義	選択	2		○				
	★	★		道徳の理論及び指導法	2	中期	講義	選択	1	○					
	★	★		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	中期	講義	選択	1	○					
	★	★		教員の方法と技術(メテア教育を含む)	2	中期	講義	選択	1	○					
	★	★		生徒指導論(道徳指導・キャリア教育を含む)	2	中期	講義	選択	3		○			10	
	★	★		教育実践(ウェルセンツを含む)	2	中期	講義	選択	3						
	☆	☆		幼児指導	2	前期	実習	選択	4					○	
	☆	☆		初等体育Ⅰ(陸上運動・器械運動)	2	後期	実習	選択	2		○				4
	☆	☆		初等体育Ⅱ(水泳・球技・ダンス)	2	後期	実習	選択	2		○				4
	☆	★		初等音楽Ⅰ(体つくり運動・保健)	2	前期	実習	選択	3			○			4
	☆	★		初等図画(書写を含む)	2	前期	実習	選択	3			○			4
	☆	★		初等算数	2	前期	演習	選択	3						
	☆	☆		初等国語	2	前期	演習	選択	3						
	☆	☆		初等理科	2	前期	演習	選択	3						
☆	☆		初等理科	2	前期	演習	選択	3							
☆	☆		初等社会	2	前期	演習	選択	3							
☆	☆		初等英語	2	前期	演習	選択	3							
☆	☆		初等外国語科	2	前期	講義	選択	3						4	
☆	☆		初等英語	2	前期	講義	選択	3							
☆	☆		初等生活	2	前期	講義	選択	3							
☆	★		初等体育科教育法	2	前期	講義	選択	3							
★	★		初等理科教育法	2	前期	講義	選択	2							
★	★		初等国語科教育法	2	前期	講義	選択	1	○					16	
★	★		初等算数科教育法	2	前期	講義	選択	1	○						
★	★		初等理科教育法	2	前期	講義	選択	1	○						
★	★		初等社会科教育法	2	前期	講義	選択	3							
★	★		初等外国語科教育法	2	前期	講義	選択	3							
★	★		初等英語科教育法	2	前期	講義	選択	3							
★	★		初等英語科教育法	2	前期	講義	選択	1	○						
★	★		初等生活科教育法	2	前期	講義	選択	2							
☆	☆		国際教育実践論	2	前期	講義	選択	4						2	
☆	☆		理科教育実践論	2	前期	講義	選択	4							
☆	☆		芸術教育実践論	2	前期	講義	選択	4							
☆	☆		体育教育実践論	2	前期	講義	選択	4							
☆	☆		音楽教育実践論	2	前期	講義	選択	4							
★	★		児童・スポーツ教育概論	2	前期	講義	必修	2		●					
			児童・スポーツ・リコーニング学	2	前期	講義	選択	2		○					
			児童・スポーツ・リコーニング学	2	前期	講義	選択	2		○					
			児童・スポーツ・リコーニング学	2	前期	講義	選択	3							
			スポート心理学	2	前期	講義	選択	2							
			スポートバイオメカニクス	2	前期	講義	選択	3							
			スポート経営管理工学	2	前期	講義	選択	4							
			身体・運動の測定評価学	2	前期	講義	選択	3							
			スポート栄養学	2	前期	講義	選択	4						26	
			衛生学・公衆衛生学	2	前期	講義	選択	4							
			児童医学	2	前期	講義	選択	3							
			学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2	前期	講義	必修	3		●					
★	★		ヘルスプロモーション	2	前期	講義	選択	1	○						
			生涯スポーツ論	2	前期	講義	選択	4							
			トレーニング実践演習	2	前期	演習	選択	4							
			教育実習実習(テーマニングを含む)	1	前期	演習	選択	4							
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		★	×	×	×	×	×								

【資料4】

区分	キ ャ ッ プ	授業科目の名称	単 位	期	授 業 方 法	必修 選択 区分	開講 学年	1年	2年	3年	4年	必要 単 位	
基礎スポーツ教育学科共通科目	シ ャ ッ ク 目	基礎英語Ⅰ	1	1学期	演習	必修	1	●					
		基礎英語Ⅱ	1	1学期	演習	必修	1	●					
		基礎コミュニケーションⅠ	1	1学期	演習	必修	2		●			4	
		基礎コミュニケーションⅡ	2	1学期	演習	必修	2		●				
		現代社会と憲法	2	2学期	講義	選択	1	○					
		情報機器の操作	2	2学期	講義	選択	1	○					
		心理学	2	2学期	講義	選択	1	○					
		生命科学	2	2学期	講義	選択	2	○				8	
		社会学	2	2学期	講義	選択	2	○					
		文学	2	2学期	講義	選択	2	○					
	総合科目	終業式	2	2学期	講義	必修	2		●				25
		日本文学の歴史(日本伝説等を含む)	2	2学期	講義	必修	1	●					2
		地域社会とスポーツ(GSC科目Ⅰ)	2	2学期	講義	必修	1	●					2
		野外活動実習B(雪上)	1	集中	実習	選択	2	○					1
		野外活動実習B(山野)	1	集中	実習	選択	2	○					1
基礎科目	野外活動実習C(幼児野外活動)	1	集中	実習	選択	1	○						
	基礎ゼミナールⅠ	1	1学期	演習	必修	1	●						
	基礎ゼミナールⅡ(ワグミガリ行方)	1	1学期	演習	必修	1	●						
	児童スポーツ教育演習Ⅰ	2	2学期	実習	必修	1	●					8	
	児童スポーツ教育演習Ⅱ	2	2学期	実習	必修	2	●						
	児童スポーツ教育演習Ⅲ	2	2学期	実習	必修	3	●						
	日本国史Ⅰ	2	2学期	講義	自由	1	△						
	日本国史Ⅱ	2	2学期	講義	自由	2	△					0	
	日本事情Ⅰ	2	2学期	講義	自由	1	△						
	日本事情Ⅱ	2	2学期	講義	自由	2	△						
関連資格科目	経営基礎	2	2学期	講義	自由	1	△						
	経営戦略	2	集中	講義	自由	1	△						
	経営実務	2	集中	講義	自由	2	△					0	
	クレディターズ・マネジメント	2	集中	講義	自由	2	△						
	飛行安全	2	集中	講義	自由	2	△						
	現代子ども論	2	2学期	講義	必修	3			●				
	子どもと人権	2	2学期	講義	必修	2			●				
	剣道外選講	2	2学期	講義	必修	2			●				
	児童スポーツ教育論	2	2学期	講義	必修	1	●						
	児童健康教育論	2	2学期	講義	必修	2			●			20	
基礎スポーツ教育学科共通科目	基礎科目	食育論	2	2学期	講義	必修	2			●			
		スポーツの歴史と文化	2	2学期	講義	必修	1	●					
		児童の身体づくり	2	2学期	講義	必修	2			●			
		スポーツ生理学	2	2学期	講義	必修	1	●					
		野外活動論	2	2学期	講義	必修	1	●					
		体操	2	2学期	実技	必修	2			●			3
		水泳	1	1学期	実技	必修	1	●					
		ダンス	1	1学期	実技	必修	1	●					
		競艇運動	1	1学期	実技	選択	1	○					
		陸上競技	1	1学期	実技	選択	1	○					
	スポーツ実技科目	バドミントン	1	1学期	実技	選択	1	○					
		サッカー	1	1学期	実技	選択	2		○				2
		卓球	1	1学期	実技	選択	2		○				
		ソフトボール	1	1学期	実技	選択	2		○				
		トランポリン	1	1学期	実技	選択	3		○				
選択科目	バスケットボール	1	1学期	実技	選択	2		○					
	新体操	1	1学期	実技	選択	3		○					
	フィギュアスケート	1	1学期	実技	選択	3		○					
	アクアティックスポーツ競技	2	2学期	実技	選択	4				△		0	
	アクアティックスポーツ競技	2	2学期	実技	選択	4				△			
	スポーツ指導実習	2	2学期	実習	選択	3				△			
	スポーツ指導実習	2	2学期	実習	選択	3				△			
	専攻基礎	2	2学期	実習	選択	3				△			
	専攻基礎	2	2学期	実習	選択	3				△			
	専攻基礎	2	2学期	実習	選択	3				△			

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目
×…キヤップ対象外科目

区分	キャンパス	授業科目の名称	単位	期	授業方法	必修・選択・区分	開講学年	1年	2年	3年	4年	必要単位	計	
児童スポーツ教育学部共通科目	シケヨニコ目	基礎英語Ⅰ	1	前期	演習	必修	1	●						
		基礎英語Ⅱ	1	前期	演習	必修	1	●						
		英語コミュニケーションⅠ	1	前期	演習	必修	2	●					4	
		英語コミュニケーションⅡ	1	前期	演習	必修	2	●						
		現代社会と憲法	2	前期	講義	選択	1	○						
		情報機器の操作	2	前期	講義	選択	1	○						
		心理学	2	前期	講義	選択	1	○						
		生命科学	2	前期	講義	選択	2	○						
		社会学	2	前期	講義	選択	2	○					8	
		文学	2	前期	講義	選択	2	○						
総合科目		経済学	2	前期	講義	必修	1	●					25	
	日本文の歴史(日本文学史を含む)	2	前期	講義	必修	1	●							
	(地域社会とスポーツ(OSGH目))	2	前期	講義	必修	1	●							
	野外活動実習A(電上)	1	集中	実習	必修	2	○							
	野外活動実習B(山野)	1	集中	実習	必修	2	○							
	野外活動実習C(幼児野活動)	1	集中	実習	必修	1	○							
	基礎ゼミナールⅠ	1	前期	演習	必修	1	●							
	基礎ゼミナールⅡ(カワシキリナリ)	1	前期	演習	必修	1	●							
	児童スポーツ教育演習	2	通年	演習	必修	2	●							
	児童スポーツ教育研究Ⅰ	2	通年	演習	必修	3	●							
基礎科目		児童スポーツ教育研究Ⅱ	2	通年	演習	必修	4					8		
	日本体育基礎	2	前期	講義	自由	1	△				●			
	日本体育応用	2	前期	講義	自由	1	△					0		
	日本体育Ⅰ	2	前期	講義	自由	2	△							
	日本体育Ⅱ	2	前期	講義	自由	2	△							
	創造基礎	2	集中	講義	自由	1	△							
	創造演習	2	集中	講義	自由	2	△							
	創造実習	2	集中	講義	自由	2	△							
	創造実習Ⅱ	2	集中	講義	自由	2	△							
	創造実習Ⅲ	2	集中	講義	自由	3	△							
基礎科目		創造実習Ⅳ	2	集中	講義	必修	3	●						
	創造実習Ⅴ	2	集中	講義	必修	4	●							
	創造実習Ⅵ	2	集中	講義	必修	5	●							
	創造実習Ⅶ	2	集中	講義	必修	6	●							
	創造実習Ⅷ	2	集中	講義	必修	7	●							
	創造実習Ⅷ	2	集中	講義	必修	8	●							
	創造実習Ⅸ	2	集中	講義	必修	9	●							
	創造実習Ⅹ	2	集中	講義	必修	10	●							
	創造実習Ⅺ	2	集中	講義	必修	11	●							
	創造実習Ⅻ	2	集中	講義	必修	12	●							
基礎科目		創造実習Ⅼ	2	集中	講義	必修	2	●					20	
	創造実習Ⅽ	2	集中	講義	必修	3	●							
	創造実習Ⅾ	2	集中	講義	必修	4	●							
	創造実習Ⅿ	2	集中	講義	必修	5	●							
	創造実習ⅰ	2	集中	講義	必修	6	●							
	創造実習ⅱ	2	集中	講義	必修	7	●							
	創造実習ⅲ	2	集中	講義	必修	8	●							
	創造実習ⅳ	2	集中	講義	必修	9	●							
	創造実習ⅴ	2	集中	講義	必修	10	●							
	創造実習ⅵ	2	集中	講義	必修	11	●							
スポーツ実技		体育	1	前期	実技	必修	2	●					3	
	ダンス	1	前期	実技	必修	3	●							
	水泳	1	前期	実技	必修	4	●							
	球技演習	1	前期	実技	選択	1	○							
	陸上競技	1	前期	実技	選択	1	○							
	バドミントン	1	前期	実技	選択	1	○							
	サッカー	1	前期	実技	選択	2	○							
	剣道	1	前期	実技	選択	2	○							
	ソフトボール	1	前期	実技	選択	2	○							
	トランポリン	1	前期	実技	選択	3	○							
実技・情報科目		バスケットボール	1	前期	実技	選択	2	○					2	
	新体操	1	前期	実技	選択	3	○							
	レクリエーション	1	前期	実技	選択	4	○							
	アパティオスポーツⅠ	2	前期	講義	自由	3	○							
	アパティオスポーツⅡ	2	前期	講義	自由	4	○							
	スポーツ情報実習	1	前期	実習	自由	3	○							
	スポーツ情報実習Ⅱ	1	前期	実習	自由	4	○							
	スポーツ情報実習Ⅲ	2	前期	実習	自由	3	○							
	スポーツ情報実習Ⅳ	2	前期	実習	自由	4	○							
	スポーツ情報実習Ⅴ	2	前期	実習	自由	5	○							

●…必修科目
○…選択科目
△…自由科目
×…ギャップ対応

【資料 5-1】

○日本体育大学体育学部履修規程

平成25年3月4日

教授会制定

最近改正 平成31年3月27日

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、日本体育大学学則(以下「学則」という。)に基づき、体育学部(以下「本学部」という。)において、授業科目の単位を修得するために授業を受講し学修すること(以下「履修」という。)や単位の取扱いのほか、授業の実施に関して必要な事項を定める。

(適用)

第2条 本学部における学修については、学則によるもののほか、入学年度の履修規程による。

第2章 履修登録

(履修登録)

第3条 学則第20条に定めるもののほか、履修科目の登録に関しては、この章の定めるところによる。

- 2 学生は、授業科目の履修登録に際しては、所属する学科等の教育課程により開講される授業科目について、履修計画表に基づき、その年度に履修しようとするすべての授業科目を、特別に指示のある授業科目を除き、日本体育大学(以下「本学」という。)が管理するインターネットを利用した情報提供システムで運用する「nssu-passport(以下、「n-pass」という。)」により、指定期間内に申請を行った上で、所定の期日までに登録(以下「Web履修登録」という。)を完了しなければならない。
- 3 Web履修登録の内容に不備があったとき、学生支援センターが指定する方法により、所定の期日までに追加又は変更(以下「履修登録修正等」という。)の手続きを行わなければならない。
- 4 受講目的が達成されないなどの理由がある場合に限り、学生支援センターが指定する方法により、所定の期日までに履修科目の削除の手続きを行うことができる。

(履修登録の締切)

第4条 前条第3項及び第4項の期日を過ぎてから、履修登録の追加又は変更を行うことは認めない。ただし、履修登録が完了しなかった理由について、当該学生のクラス担任の申し出に基づき、学部長がやむを得ないと認めた場合に限り、履修登録修正等を認めることが

ある。

- 2 前項の規定にかかわらず、当該授業科目の全授業日数の5分の1を経過したときは履修登録修正等を認めない。

(履修登録の配当年次制限)

- 第5条 授業科目については、当該配当学年次よりも下級学年に属する学生が履修することはできない。

(重複登録の禁止)

- 第6条 同一授業時刻に開始される授業(以下「同一講時の授業」という。)を重複して履修登録することはできない。

- 2 同一講時の授業を2科目以上履修登録した場合は、それらの科目の履修登録をすべて無効とする。

(合格済科目の履修登録の禁止)

- 第7条 既に単位を修得した授業科目については、再び履修することはできない。

(授業科目の履修登録の上限)

- 第8条 1年間に履修登録することができる単位数(以下「キャップ数」という。)の上限について、次のとおり定める。

	体育学科		健康学科	
領域	スポーツ教育	競技スポーツ	ヘルスプロモーション	ソーシャルサポート
学年				
1年次	50	50	50	50
2年次	50	50	50	50
3年次	50	50	50	50
4年次	50	50	50	50
計	200	200	200	200

- 2 次の各号に掲げる授業科目はキャップ数の対象としない。

- (1) 学外で実施される集中実習及び集中実技又は授業時間外に実施される実習・実技・演習
- (2) 学則第21条第2項に規定する授業科目
- (3) 法令等に定められた資格取得に関連した授業科目のうち、卒業に必要な所定の授業科目以外の授業科目又は休日あるいは休業期間中に開講される授業科目
- (4) 教育実習の事前及び事後の指導にあたる授業科目

(受講人数の制限)

第9条 本学部は、授業の方法及び授業の施設、設備その他の教育条件を考慮して、教育効果を十分にあげられるよう、また、運動実技の安全確保を目的として、あらかじめ指定した授業科目に限り、受講人数を制限するため、受講定員を設ける場合がある。

- 2 前項の受講定員が定められた授業科目については、所定の期日までに予備登録を行わなければならない。
- 3 前項の予備登録は原則としてn・passを使用した抽選で行うものとし、履修希望を申告した者の中から、設定した定員の数を満たすまで無作為に選ぶ方法又は登録の申込順で行う方法とする。
- 4 学外で行う野外実習の受講人数については、別に定める。
- 5 その他、学部長が必要と認めた授業科目については別に指定する。

(再履修及び下学年次科目履修)

第10条 一度不合格と判定され単位を修得できなかった授業科目を再び履修(以下「再履修」という。)しようとする場合は、翌年度以降に履修登録しなければならない。

- 2 再履修又は属する学年よりも下級の学年次に配当されている授業科目(以下「下学年次科目」という。)の履修に際しては、当該授業に割り当てられた学科及びクラスで履修することを要しない。ただし、授業の方法のうち、実技及び演習の方法で実施される授業科目並びに音楽関連科目及びその他本学が指定した授業科目については、性別によって区分されたクラスの授業を履修しなければならない。
- 3 前項にかかわらず、再履修については、あらかじめ指定された授業クラスが設けられた場合は、当該授業を履修登録しなければならない。
- 4 再履修しようとする授業科目又は履修しようとする下学年次科目の授業については、履修登録を制限することがある。また、履修登録後であっても、正規に割り当てられた当該学年及びクラスの履修人数等の状況によって、受講を制限することがある。
- 5 前項の規定により履修登録又は受講が制限されたとき、他の授業の履修を希望する場合は、履修しようとする授業担当教員の許可に基づき、履修登録を行うことができる。

(履修登録の取消し)

第11条 学則第43条に定める授業料その他所定の学費を定められた期日までに完納しない者のうち、日本体育大学・日本体育大学大学院の学費に関する規程第5条に定める延納の手続きを行わない者は、履修登録を無効とし、すべての登録科目を取消すものとする。

(スポーツ研究の履修登録)

第12条 「スポーツ研究C」及び「スポーツ研究D(卒業研究を含む)」の履修登録は、履修登録等期間中に当該担当教員に所定の履修申告書を提出しなければならない。

2 前項により、授業担当教員が申告者の履修の可否を決定し、所定の期日までに、学生支援センターへ履修を許可する者の履修申告書を提出することによって履修が登録されたものとする。

3 「スポーツ研究C」及び「スポーツ研究D(卒業研究を含む)」は、原則として同一の担当教員の下で継続して履修するものとする。

(看護臨床実習の履修要件)

第13条 「看護臨床実習」を履修しようとする者は、「臨床看護学(実習を含む)」を履修するとともに、次の各号に掲げる要件を満たさなければならない。

(1) 「看護臨床実習」を履修しようとする前年度末までに、次に掲げる授業科目の単位を修得しなければならない。

ア 情報処理(情報機器の操作を含む)

イ 機能解剖学

ウ スポーツ生理学

エ 衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)

オ 基礎看護学

カ 精神保健

キ 養護概説(養護教諭の職務を含む)

2 科目等履修生として「看護臨床実習」を履修しようとする者は、次の各号に掲げる要件を満たさなければならない。

(1) 日本体育大学を卒業した者、日本体育大学大学院に在学する者又は修了した者のみとする。

(2) 第13条第1項第1号に掲げる授業科目の単位を修得していること。

3 前各項に定める要件ほか、「看護臨床実習」への参加に関して必要な基準は、別に定める。

(教育実習の履修要件)

第14条 「教育実習」を履修しようとする者は、「事前事後の指導」を履修するとともに、次の号に掲げる要件を満たさなければならない。

(1) 「教育実習」を履修しようとする年度の前年度末までに、次に掲げる授業科目の単位を修得しているとともに、合わせて総修得単位数100単位以上を修得していること。

- ア 体育科教育法
- イ 保健科教育法
- ウ 教育原理
- エ 教師論
- オ 教育の制度と経営
- カ 教育心理学
- キ 特別支援教育概論
- ク 教育課程論
- ケ 道德教育の指導法
- コ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
- サ 教育の方法と技術
- シ 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)
- ス 教育相談(カウンセリングを含む)

2 科目等履修生として「教育実習」を履修しようとする者は、「事前事後の指導」を履修するとともに、次の各号に掲げる要件を満たさなければならない。

- (1) 日本体育大学を卒業した者、日本体育大学大学院に在学する者又は修了した者のみとする。
- (2) 第14条第1項第1号に掲げる授業科目の単位を修得していること。

3 前各項に定める要件のほか、教育実習の履修等に関して必要な基準は、教職センター運営委員会の議を経て、学長が別に定める。

(養護実習の履修要件)

第15条 「養護実習(事前事後の指導を含む)」を履修しようとする者は、次の号に掲げる要件を満たさなければならない。

- (1) 「養護実習(事前事後の指導を含む)」を履修する年度の前年度末までに、次に掲げる授業科目の単位を修得するとともに、合わせて総修得単位数100単位以上を修得していること。

- ア 学校保健(小児保健・精神保健を含む)
- イ ヘルスカウンセリング
- ウ 栄養学(学校給食を含む)
- エ 臨床看護学(実習を含む)
- オ 救急処置

- カ 看護臨床実習
- キ 教育原理
- ク 教師論(養護)
- ケ 教育の制度と経営
- コ 教育心理学
- サ 特別支援教育概論
- シ 教育課程論
- ス 道徳教育の指導法
- セ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
- ソ 教育の方法と技術
- タ 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)
- チ 教育相談(カウンセリングを含む)
- ツ 次に掲げる授業科目のうち7単位以上
 - (ア) 学校安全(救急処置を含む) 2単位
 - (イ) 臨床心理学(カウンセリングを含む) 2単位
 - (ウ) 精神医学 2単位
 - (エ) 学校保健Ⅱ(保健室経営を含む) 2単位
 - (オ) 衛生学・公衆衛生学実験実習 1単位

2 科目等履修生として「養護実習」を履修しようとする者は、次の各号に掲げる要件を満たさなければならない。

- (1) 日本体育大学を卒業した者、日本体育大学大学院に在学する者又は修了した者のみとする。
- (2) 第15条1項1号に掲げる授業科目の単位を修得していること。

3 前各項に定める要件のほか、養護実習の履修等に関して必要な基準は、教職センター運営委員会の議を経て学長が別に定める。

(特別支援学校教諭一種免許状に係る教科目の履修要件)

第16条 特別支援学校教諭一種免許状に係る教科目のうち、次の各号に掲げる教科目については、所定の要件を満たさなければならない。

- (1) 「知的障害児・者の心理・生理・病理」を履修しようとするものは、その履修しようとする年度の前年度末までに、『特別支援教育総論』『重複障害児・者等教育総論』『発達障害児・者等教育総論』の単位を修得しなければならない。

- (2) 「病弱児・者の心理・生理・病理」を履修しようとするものは、その履修しようとする年度の前年度末までに、『特別支援教育総論』『重複障害児・者等教育総論』『発達障害児・者等教育総論』の単位を修得しなければならない。
- (3) 「肢体不自由児・者の心理・生理・病理」を履修しようとするものは、その履修しようとする年度の前年度末までに、『特別支援教育総論』『重複障害児・者等教育総論』『発達障害児・者等教育総論』の単位を修得しなければならない。
- (4) 「知的障害児・者教育論」を履修しようとするものは、その履修しようとする年度の前年度末までに、『知的障害児・者の心理・生理・病理』の単位を修得しなければならない。
- (5) 「病弱児・者教育論」を履修しようとするものは、その履修しようとする年度の前年度末までに、『病弱児・者の心理・生理・病理』の単位を修得しなければならない。

(特別支援教育実習の履修要件)

第17条 「特別支援教育実習」を履修しようとする者は、「特別支援教育実習指導」を履修するとともに、次の号に掲げる要件を満たさなければならない。

- (1) 第14条の「教育実習」の履修要件を満たしていること。ただし、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有する者は、この限りではない。
- (2) 「特別支援教育実習」を履修しようとする年度の前年度末までに、次に掲げる授業科目の単位を修得しているとともに、合わせて総修得単位数100単位以上を修得していること。

ア 特別支援教育総論

イ 重複障害児・者等教育総論

ウ 発達障害児・者等教育総論

エ 知的障害児・者の心理・生理・病理

オ 病弱児・者の心理・生理・病理

カ 肢体不自由児・者の心理・生理・病理

キ 知的障害児・者教育論

ク 肢体不自由児・者教育論

ケ 病弱児・者教育論

コ 知的障害児・者のスポーツ指導

- 2 前項に定める要件のほか、特別支援教育実習の履修等に関して必要な基準は、教職センター運営委員会の議を経て学長が別に定める。

(教職実践演習(中・高)の履修要件)

第18条 「教職実践演習(中・高)」を履修しようとする者は、「教育実習」を履修するほか、第38条第2項1号に定める履修カルテを提出していなければならない。

(教職実践演習(養護)の履修要件)

第19条 「教職実践演習(養護)」を履修しようとする者は、「養護実習(事前事後の指導を含む)」を履修するほか、第38条第2項1号に定める履修カルテを提出していなければならない。

(海浜実習の履修要件)

第20条 「海浜実習」を履修しようとする者は、前年度末までに「運動方法・水泳」の単位を修得しなければならない。ただし、本部長が参加を認める者についてはこの限りではない。

(中学校教諭一種免許状(保健体育)の授与資格の取得)

第21条 本学部の教育課程を履修する者のうち、学則第19条第2項に定める中学校教諭一種免許状(保健体育)の授与資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、教育職員免許法(昭和24年法律第147号。以下「教育職員免許法」という。)及び同法施行規則(昭和29年文部省令第26号。以下「施行規則」という。)に定める所要単位を修得しなければならない。

2 前項に定めるもののほか、中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律(平成9年6月18日法律第90号)に定める介護等の体験を行わなければならない。

3 介護等の体験に関し、必要な事項は別に定める。

4 第1項に定める所要単位の教科は、別表1のとおりとする。

(高等学校教諭一種免許状(保健体育)の授与資格の取得)

第22条 本学部の教育課程を履修する者のうち、学則第19条第2項に定める高等学校教諭一種免許状(保健体育)の授与資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要単位を修得しなければならない。

2 前項に定める所要単位の教科は、別表1のとおりとする。

(養護教諭一種免許状の授与資格の取得)

第23条 本学部健康学科の教育課程のうち、ヘルスプロモーション領域の教育課程を履修する者で、学則第19条第2項に定める養護教諭一種免許状の授与資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要単

位を修得しなければならない。

- 2 前項に定める所要単位の教科は、別表2のとおりとする。

(特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)の授与資格の取得)

第24条 本学部体育学科の教育課程を履修する者で、学則第19条第2項に定める特別支援学校教諭一種免許状の授与資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要単位を修得しなければならない。

- 2 前項に定める所要単位の教科は、別表1及び別表3のとおりとする。

(資格)

第25条 第21条、第22条、第23条及び第24条に定めるもののほか、本学部の教育課程を修めることにより取得できる資格については別に定める。

第3章 授業

(授業の方法)

第26条 授業は、講義、演習、実験、実習、又は実技により行うものとする。

(単位の計算方法)

第27条 学則第21条第1項第1号については、次のとおりとする。

講義については15時間の授業をもって1単位、演習については30時間の授業をもって1単位とする。ただし、次の科目は15時間の授業をもって1単位とする。

ア 体育科教育実践法

イ 保健科教育実践法

ウ 教職実践演習(中・高)

(授業の期間)

第28条 各授業科目の授業は、学則第29条に定める各学期について、それぞれ15週にわたる期間を単位として行う。

- 2 前項にかかわらず、次の各号に掲げる授業については、集中授業として、これらの期間より短い特定の期間において授業(以下「集中授業」という。)を行うことができる。

(1) 教育上特別の必要があり、教育効果が期待できると認められた授業

(2) 校外で実施する野外活動実習又は学外施設における実習もしくは実技

(3) 教育職員免許法に規定される教育職員免許状の授与の所要資格を取得するための教育実習

- 3 集中授業は、原則として、土曜日又は学則第30条に定める休業日に開講するものとする。

- 4 「スポーツ研究C」又は「スポーツ研究D(卒業研究を含む)」の担当教員は、当該授業の

一部を学外で行う場合又はその他教育活動と認められる活動を行うときは、所定の届け出を行わなければならない。

(授業の時間)

第29条 本学の授業時間は、1日5時制限及び一回の時限を90分制とし、次の各号に掲げる時間帯に実施する。ただし、あらかじめ設定する各授業科目の実施時間帯の割当ては、原則として第1号から第4号に掲げる時間帯に割当てするものとする。

- (1) 第1時限 9：00から10：30
- (2) 第2時限 10：40から12：10
- (3) 第3時限 13：00から14：30
- (4) 第4時限 14：40から16：10
- (5) 第5時限 16：20から17：50

2 前項の規定にかかわらず、学長は、臨時に時限を設けるほか、時限及び時間帯を変更することができる。

(授業の出席及び欠席の確認)

第30条 授業の出席の確認は、原則として授業の開始時に行うものとする。

- 2 授業の20分以上の遅刻又は早退は欠席とみなす。また、20分未満の遅刻又は早退は、通算三回をもって一回の欠席とみなす。ただし、遅刻又は早退となった理由について、授業担当教員がやむを得ないと認めた場合は、出席を認めることがある。
- 3 前項にかかわらず、一回の授業の一部が欠けることにより当該学修成果が著しく損なわれると認められる場合、あらかじめ学部長の許可を得た上で、授業担当教員が事前に告知したときは遅刻を認めない。

(休講)

第31条 授業担当教員は、日本体育大学教職員の出張等に関する規程に定める出張任務を命じられた時又は学外研修あるいは学外派遣が許可されたとき、又は、やむを得ない理由により授業を行うことができない場合、所定の手続きにより、学部長の許可を得て、担当する授業を休講することができる。

- 2 各時限の開始時刻から20分以上過ぎても授業が開始されない場合は休講とみなす。
- 3 休講しようとする授業担当教員は、休講した場合は、履修者に不利益のないよう配慮の上、期日を設けて代替授業を行わなければならない。
- 4 休講しようとする授業担当教員は、代替授業を行うことにより履修者に不利益が生ずると判断したときは、所定の手続きにより、当該授業の分野を専門とする本学の教授あるいは

は准教授又は授業を担当する資格を有する助教による授業の代行者を措置することができる。

- 5 休講しようとする授業担当教員は、所定の手続きにより、前項に定める教員のほか、助教又は助手の職にある者の監督の下、当該授業時限の出席者に課題を与えて実施することにより、当該授業の開講に換えることができる。

(補講)

第32条 授業担当教員は、授業の到達目標に著しく劣る全部又は一部の履修者に対し、補習授業を設けることができる。

(特別講師による授業)

第33条 授業担当教員は、あらかじめ授業展開で定めた内容に基づき、学外有識者を講師(以下「特別講師」という。)として、当該授業を担当させることができる。

- 2 特別講師の手続きに関して必要な事項は別に定める。

(通学及び出席の停止)

第34条 学校保健安全法施行規則第18条(昭和33年6月13日文部省令第18号)に定める学校において予防すべき感染症にかかった者は、同規則第19条に規定する基準に基づき、通学及び授業への出席を停止する。

(交通ストライキ又は気象警報発令時の授業)

第35条 授業期間中に、本学が通学経路として認める公共交通機関にストライキが起こった場合、又は、本学が定めた地域に気象警報が発令された場合は、授業を開講しないことができる。

(特別な履修)

第36条 試験に合格しなかった者が、その翌年度以降において再履修し、単位を修得しようとするとき、不合格となった年度の翌年度に定期試験のみを受験し、これに合格することによって、当該科目の単位を付与することがある。

- 2 前項の履修の対象となる授業科目及びその取扱いについては、教育企画センター運営委員会が別に定める。

(学修経費の負担)

第37条 校外で実施する野外実習又は学外施設における実習もしくは実技については、交通費、宿泊費又は教材費のほか、学修に必要な経費を徴収することがある。

- 2 前項の経費の徴収については、別に定める。

(履修カルテ)

第38条 本学は、在籍する学生の履修履歴を把握するため、履修カルテを作成し、入学の段階からそれぞれの学生の学習内容、理解度等を把握するとともに、履修カルテに基づき、必要な指導を行うものとする。

2 履修カルテの対象とする授業科目は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 教育職員免許状の授与資格の取得に必要な授業科目のうち、教職センター運営委員会が指定する授業科目

(2) 本学の人材育成方針に基づく学生教育として行うプログラムに係る授業科目で、教育企画センター運営委員会が選定する授業科目

(3) 前2号のほか、学生支援センターが必要と認めた授業科目

3 学生は、自ら履修した授業科目に関し、**n・pass**を使用して、本学所定の履修カルテを作成し学生支援センターが定める期日までに提出しなければならない。

4 履修カルテの対象となる授業科目の授業担当教員は、**n・pass**を通じて、当該年度に担当する学生の履修カルテの作成状況を確認するほか、必要に応じて提出を督促しなければならない。ただし、第2項第3号の授業科目を除く。

5 クラス担任は、学生から提出された履修カルテを参照して、担当する学生の履修状況を把握するとともに、必要に応じて個別の補完的な指導を行わなければならない。ただし、第2項第3号の授業科目を除く。

6 履修カルテは学生支援センターが管理する。

(授業施設及び設備等)

第39条 本学の教室、実験室、実技施設及び実習施設のほか、共有の利用に供する教材又は教育設備は、専ら授業の用に供するものとしなければならない。ただし、授業の使用に支障のない場合に限り、日本体育大学目的外使用規程に基づき、その使用を認めるものとする。

第4章 単位の授与に係る試験及び成績

(単位の授与)

第40条 単位の授与に係る試験及び成績の評価については、学則第22条及び第25条に定めるもののほか、この章の定めるところによる。

(試験の方法)

第41条 試験は、授業の担当教員が、筆記試験、口述試験、実技試験又はレポート(以下「試験等」という。)の提出等の方法により行う。

2 授業担当教員は、実施した試験等の答案は、適切な方法により、当該授業を実施した年

度の翌年度末まで保管しなければならない。

(定期試験)

第42条 履修した授業科目に関する試験は、原則として、每学期末に行う。ただし、各授業科目の担当教員が必要と認めたときは、臨時に行うことができる。

- 2 受験の際は、必ず学生証を携行しなければならない。
- 3 定期試験の公認欠席に関しては、日本体育大学体育学部公認欠席認定基準の規定を準用する。

(追試験)

第43条 授業担当教員は、病気、その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった者に対し、相当と認めたときは追試験を実施することができる。

- 2 授業担当教員は、学部長の指示があったとき、追試験を実施しなければならない。
- 3 追試験を受けようとするときは、当該授業科目の担当教員に所定の欠席届を提出するとともに、別に定める追試験受験料を払い、追試験受験カードを用意しなければならない。
- 4 前条第3項により公認欠席が認められた者は、追試験を受験することができる。ただし追試験受験料は徴しない。
- 5 前項により追試験を受験しようとする者は、学生支援センターが発行する公認欠席証明書に、当該授業科目の担当者の追試験の受験許可を表す確認印を受けた上で、学生支援センターに提示し、公認欠席受験カードを受領しなければならない。
- 6 追試験受験カード又は公認欠席受験カードは、答案用紙、レポート等に添えて提出しなければならない。
- 7 追試験を欠席した者に対し、再度追試験は実施しない。
- 8 追試験で不合格となった者に対し、再試験は実施しない。

(再試験)

第44条 授業担当教員は、定期試験を受験した結果、合格に至らなかった者を対象として再試験を実施することができる。

- 2 授業担当教員は、学部長の指示があったとき、再試験を実施しなければならない。
- 3 前項の再試験を受けようとする者は、別に定める再試験受験料を払い、再試験受験カードを用意するものとする。
- 4 再試験受験カードは、答案用紙、レポート等に添えて、提出しなければならない。
- 5 再試験は、授業担当教員が期日を定めて行う。
- 6 再試験を欠席した者に対して、その追試験は実施しない。

(試験等における不正行為)

第45条 定期試験、追試験又は再試験において不正行為又は予備行為のあった者には直ちに退室を命ずるほか、次の措置を取る。

(1) 当該受験科目を含め当該学期の授業科目の全受験科目を無効とする。

(2) 学則第58条に定める懲戒の対象とし、その事実と氏名を公示する。

2 試験終了後において不正行為があったことが確認された場合は、前項各号を適用する。

(受験の不許可)

第46条 次に掲げる各号のいずれかに該当する場合には、試験を受けることができない。

(1) 授業の出席時間数が授業時間数の3分の2に達しないとき

(2) 学生証を提示しないとき

(3) 試験開始後15分を経過したとき

(4) 学則第43条に定める授業料その他所定の学費を定められた期日までに完納しない者で、学費に関する規程第5条に定める延納の手続きを行った者のうち、誓約した期日までに学費が完納しない者

2 前項第1号の出席時間数には、所定の手続きに基づく公認欠席のうち、次の各号に定める事項を全て満たした者は、公認欠席を欠席扱いとはせず、当該授業の時間数に含むものとする。なお、公認欠席の認定基準については別に定める。

(1) 原則として、当該授業に1学期あたり3分の1以上出席していること。

(2) 公認欠席した当該授業の担当教員から指示された課題を遂行すること。または、補講の指示・指導を受けること。

3 前項に関わらず、次に掲げる資格養成指定科目について、公認欠席の取扱いを受けた者は当該授業に対する補講措置等を希望することができるが、補講の受講等により欠席が出席に替わることはない。

ア 社会福祉士

(成績評価)

第47条 学則第25条第2項に基づき、評価の基準を次の各号に掲げるとおり定める。

(1) A 10点満点法による10点から8点までとし、学修目標の内容を十分に理解し、修得したものと認められる優れた成績を示す。

(2) B 10点満点法による7点とし、学修目標の根幹的な部分は理解し、修得したものと認められる妥当な成績を示す。

(3) C 10点満点法による6点とし、学修目標の最低限の理解が得られたものと認められ

る成績を示す。

- (4) D 10点満点法による6点未満とし、学修目標の最低限の理解が得られていないと認められる成績を示す。
- 2 前項の成績もしくは素点評価に基づき、成績の数値平均「Grade Point Average(以下「GPA」という。)」を算出するものとする。
- 3 GPAに関し必要な事項は別に定める。
- 4 学則第25条及び前項各号にかかわらず、学則第23条又は第24条の規定により認定された科目の成績及び評価については、成績の評語及び評価の基準いずれもNで表す。
- 5 再試験を受験した者の評価の基準は第2項第2号を上限とする。
- 6 授業担当教員は、前学期又は後学期それぞれ定められた期間内に、原則としてn・passを使用して評価を登録しなければならない。
- 7 学生は、n・passを通じて履修した授業の成績評価を確認しなければならない。
- 8 授業担当教員は、当該授業の履修者から、評価に関する照会があった場合は、適切に対応しなければならない。
- 9 履修した年度及び学期に付された評価については、当該年度末をもって確定するものとし、履修した年度の翌年度以降に変更することはできない。

第5章 証明書

(卒業見込証明書)

第48条 第3学年次末における修得単位数と第4学年次における履修登録単位数の合計が、卒業所要単位数を満たしている者には、卒業見込証明書を発行する。

(学力に関する証明書)

第49条 本学は、教育職員免許法(昭和24年5月31日法律第147号)第7条に基づき、免許状の授与又は教育職員検定を受けようとする者から請求があったときは、免許状の取得に必要な単位修得証明書として学力に関する証明書を発行しなければならない。

(改廃)

第50条 この規程の改廃は、教育企画センター運営委員会、体育学部教授会、学部長会の議を経て学長が行う。

附 則

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成25年度の入学生から適用し、平成24年度以前の入学生については、なお従前の例による。

- 3 この規程の施行をもって、日本体育大学授業科目履修規程(平成12年5月29日教授会制定)及び日本体育大学授業科目履修規程施行細則(平成12年5月29日教授会制定)は廃止する。

附 則
(施行日)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

- 附 則
- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
 - 2 この規程は、平成25年4月1日以降に入学したすべての学生に適用する。

- 附 則
- 1 この規程は、平成27年8月1日から施行する。
 - 2 第18条第2項については、平成28年度履修登録から適用する。

- 附 則
- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
 - 2 改正後の別表1及び別表2は、平成28年度の入学生から適用し、平成27年度以前の入学生については、なお従前の例による。

- 附 則
- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
 - 2 改正後の別表1・別表2及び別表3は、平成29年度の入学生から適用し、平成28年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則
(施行日)

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則
(施行日)

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表1及び別表2は、平成31年度の入学生から適用し、平成30年度以前の入学生については、なお従前の例による。

別表1(第21条第4項及び第22条第2項関係)

中学校教諭1種免許状・高等学校教諭1種免許状(保健体育)の取得要件科目

教員免許法に定められた内容	本学が課程認定を受けている内容
---------------	-----------------

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項 (保健体育)		最低修得単位数		体育学部 2019カリキュラム	単位数	★必修 ☆選択	大学が定める免許取得に必要な単位数
				中学校	高等学校				
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	28	24	運動方法・陸上競技	1	★	1
						運動方法・水泳	1	★	1
						運動方法・体づくり運動(体操)	1	★	1
						運動方法・器械運動	1	★	1
						運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1	★	1
						運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1	★	1
						運動方法・バスケットボール	1	☆	2単位以上
						運動方法・ハンドボール	1	☆	
						運動方法・サッカー	1	☆	
						運動方法・ラグビー	1	☆	
						運動方法・バレーボール	1	☆	2単位以上
						運動方法・テニス	1	☆	
						運動方法・卓球	1	☆	
						運動方法・バドミントン	1	☆	
						運動方法・武道(柔道)	1	☆	1単位以上
						運動方法・武道(剣道)	1	☆	
						運動方法・武道(相撲)	1	☆	
		「体育原理、体育心理学、体育経営			スポーツ哲学	2	★	2	
					スポーツ心理学	2	★	2	

		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	2	★	2
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の指導法：中免のみ	2	★	2
		総合的な学習の時間の指導法			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	★	2
		特別活動の指導法			教育の方法と技術	2	★	2
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	2	★	2
		生徒指導の理論及び方法			教育相談(カウンセリングを含む)	2	★	2
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法						
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実習	4	★	4
					事前事後の指導	1	★	1
		教職実践演習	2	2	教職実践演習(中・高)	2	★	2
第六欄	大学が独自に設定する科目		4	12	スポーツ医学	2	☆	
					発育発達論	2	☆	
					機能解剖学	2	☆	
					人権教育	2	☆	
					スポーツ栄養学(食品学を含む)	2	☆	
					(道徳教育の指導法): 高免のみ	2	☆	※1
必要な単位数計			59	59	合計			68単位以上

教員 免許 法施 行規 則(第 66条 の6) に定 める 科目	日本国憲法	2	法学(日本国憲法)	2	★	2
	体育	2	スポーツ研究A	2	★	2
			海浜実習	1	☆	1単位
			キャンプ実習	1	☆	以上
			スキー実習	1	☆	1単位
			スケート実習	1	☆	以上
	外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション I	1	★	1
			英語コミュニケーション II	1	★	1
	情報機器の操作	2	情報処理(情報機器の操 作を含む)	2	★	2

★：必修科目 ☆：選択科目(必要単位数を修得すること。)

※1 「道徳教育の指導法」は、高1種免許取得の場合は教育職員免許法施行規則第五条の第六欄「大学が独自に設定する科目」に位置づけ、中1種免許取得の場合は教育職員免許法施行規則第四条の第四欄「道徳の理論及び指導法」に位置づける。

※2 別表1第六欄「大学が独自に設定する科目」の単位数は、第二欄「教科及び教科の指導法に関する科目」又は第三欄「教育の基礎的理解に関する科目」、第四欄「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、第五欄「教育実践に関する科目」の必要単位数を上回る単位をもって当てることができる。

別表2(第23条第2項関係)

養護教諭1種免許状の取得要件科目

教員免許法に定められた内容					本学が課程認定を受けている内容			
第一欄	養護及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項(養護)	最低修得単位数		体育学部 健康学科 2019カリキュラム	単位数	★必修☆選択	大学が定める免許取得に必要な単位数
第二	養護に関	衛生学及び公衆衛生学(予防	4以	28	衛生学・公衆衛生学(運動	2	★	2

欄	する科目	医学を含む。)	上	衛生学を含む)			
				予防医学	2	☆	2単位
				衛生学・公衆衛生学Ⅱ	2	☆	以上
		学校保健	2以上	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2	★	2
		養護概説	2以上	養護概説(養護教諭の職務を含む)	2	★	2
		健康相談活動の理論及び方法	2以上	ヘルスカウンセリング	2	★	2
		栄養学(食品学を含む。)	2以上	栄養学(学校給食を含む)	2	★	2
		解剖学及び生理学	2以上	機能解剖学	2	★	2
				スポーツ生理学	2	★	2
		「微生物学、免疫学、薬理概論」	2以上	免疫学	2	☆	2単位
				微生物学	2	☆	以上
		精神保健	2以上	精神保健	2	★	2
		看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	10以上	基礎看護学	2	★	2
				臨床看護学(実習を含む)	2	★	2
				救急処置	2	★	2
				看護臨床実習	5	★	5
第三欄	教育の基礎理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び指導	8	教育原理	2	★	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教師論(養護)	2	★	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2	★	2

		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	★	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2	★	2
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2	★	2
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育の指導法	2	★	2
				特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	★	2
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	2	★	2
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	2	★	2
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談(カウンセリングを含む)	2	★	2
第五欄	教育実践に関する科目	養護実習	5	養護実習(事前事後の指導を含む)	5	★	5
		教職実践演習	2	教職実践演習(養護教諭)	2	★	2
第六欄	大学が独自に設定する科目		7	健康管理学	2	★	2
				精神医学	2	☆	7単位以上
				学校保健Ⅱ(保健室経営を含む)	2	☆	
				衛生学・公衆衛生学実験実習	1	☆	
				学校安全(救急処置を含む)	2	☆	
				臨床心理学(カウンセリ	2	☆	

			ングを含む)			
必要な単位数計	56	合計		69単位	以上	

教員	日本国憲法	2	法学(日本国憲法)	2	★	2
免許	体育	2	スポーツ研究A	2	★	2
法施			海浜実習	1	☆	1単位
行規			キャンプ実習	1	☆	以上
則(第			スキー実習	1	☆	1単位
66条			スケート実習	1	☆	以上
の6)	外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション I	1	★	1
に定			英語コミュニケーション II	1	★	1
める						
科目	情報機器の操作	2	情報処理(情報機器の操作を含む)	2	★	2

★：必修科目 ☆：選択科目(必要単位数を修得すること。)

別表3(第24条第2項関係)

特別支援学校教諭1種免許状(知・肢・病)の取得要件科目

教員免許法に定められた内容			本学が課程認定を受けている内容	体育学部体育学科			
教育職員免許法に定める科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	本学授業科目(2013カリキュラム)	単位数	開講年次	履修規程に表記している教免必要科	必要単位数

						目	
特 別 支 援 教 育 に 関 す る 科 目	特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育総論	2	1年次	★	2
	特別支援教育領域に関する科目	16	知的障害児・者の心理・生理・病理	2	2年次	★	2
			肢体不自由児・者の心理・生理・病理	2	3年次	★	2
			病弱児・者の心理・生理・病理	2	2年次	★	2
			知的障害児・者教育論	2	3年次	★	2
			肢体不自由児・者教育論	2	3年次	★	2
			病弱児・者教育論	2	3年次	★	2
			知的障害児・者のスポーツ指導	2	3年次	★	2
			肢体不自由児・者のスポーツ指導	2	4年次	★	2
	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	視覚障害児・者教育総論	2	4年次	★	2
			聴覚障害児・者教育総論	2	4年次	★	2
			重複障害児・者等教育総論	2	1年次	★	2
			発達障害児・者等教育総論	2	1年次	★	2
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	特別支援教育実習指導	1	4年次	★	1
			特別支援教育実習	2	4年次	★	2
計		26	合計	29	単位		

★：必修科目

【資料 5-2】

○日本体育大学スポーツ文化学部履修規程

平成29年3月21日

学長制定

最近改正 平成31年3月27日

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、日本体育大学学則(以下「学則」という。)に基づき、スポーツ文化学部(以下「本学部」という。)において、授業科目の単位を修得するために授業を受講し学修すること(以下「履修」という。)や単位の取扱いのほか、授業の実施に関して必要な事項を定める。

(適用)

第2条 本学部における学修については、学則によるもののほか、入学年度の履修規程による。

第2章 履修登録

(履修登録)

第3条 学則第20条に定めるもののほか、履修科目の登録に関しては、この章の定めるところによる。

- 2 学生は、授業科目の履修登録に際しては、所属する学科等の教育課程により開講される授業科目について、履修計画表に基づき、その年度に履修しようとするすべての授業科目を、特別に指示のある授業科目を除き、日本体育大学(以下「本学」という。)が管理するインターネットを利用した情報提供システムで運用する「nssu-passport(以下、「n-pass」という。))」により、指定期間内に申請を行った上で、所定の期日までに登録(以下「Web履修登録」という。)を完了しなければならない。
- 3 Web履修登録の内容に不備があったとき、学生支援センターが指定する方法により、所定の期日までに追加又は変更(以下「履修登録修正等」という。)の手続きを行わなければならない。
- 4 受講目的が達成されないなどの理由がある場合に限り、学生支援センターが指定する方法により、所定の期日までに履修科目の削除の手続きを行うことができる。

(履修登録の締切)

第4条 前条第3項及び第4項の期日を過ぎてから、履修登録の追加又は変更を行うことは認めない。ただし、履修登録が完了しなかった理由について、当該学生のクラス担任の申し

出に基づき、学部長がやむを得ないと認めた場合に限り、履修登録修正等を認めることがある。

- 2 前項の規定にかかわらず、当該授業科目の全授業日数の5分の1を経過したときは履修登録修正等を認めない。

(履修登録の配当年次制限)

第5条 授業科目については、当該配当学年次よりも下級学年に属する学生が履修することはできない。

(重複登録の禁止)

第6条 同一授業時刻に開始される授業(以下「同一講時の授業」という。)を重複して履修登録することはできない。

- 2 同一講時の授業を2科目以上履修登録した場合は、それらの科目の履修登録をすべて無効とする。

(合格済科目の履修登録の禁止)

第7条 既に単位を修得した授業科目については、再び履修することはできない。

(授業科目の履修登録の上限)

第8条 1年間に履修登録することができる単位数(以下「キャップ数」という。)の上限について、次のとおり定める。

学科 学年	武道教育学科	スポーツ国際学科
1年次	44単位	44単位
2年次	44単位	44単位
3年次	44単位	44単位
4年次	44単位	44単位

- 2 次の各号に掲げる授業科目はキャップ数の対象としない。

- (1) 学外で実施される集中実習及び集中実技又は授業時間外に実施される実習・実技・演習
- (2) 学則第21条第2項に規定する授業科目
- (3) 法令等に定められた資格取得に関連した授業科目のうち、卒業に必要な所定の授業科目以外の授業科目又は休日あるいは休業期間中に開講される授業科目
- (4) 教育実習の事前及び事後の指導にあたる授業科目
- (5) 教育企画センター運営委員会の議を経て、学部長が認めた授業科目

(受講人数の制限)

第9条 本学部は、授業の方法及び授業の施設、設備その他の教育条件を考慮して、教育効果を十分にあげられるよう、また、運動実技の安全確保を目的として、あらかじめ指定した授業科目に限り、受講人数を制限するため、受講定員を設ける場合がある。

- 2 前項の受講定員が定められた授業科目については、所定の期日までに予備登録を行わなければならない。
- 3 前項の予備登録は原則としてn-passを使用した抽選で行うものとし、履修希望を申告した者の中から、設定した定員の数を満たすまで無作為に選ぶ方法又は登録の申込順で行う方法とする。
- 4 学外で行う野外実習の受講人数については、別に定める。

(再履修及び下学年次科目履修)

第10条 一度不合格と判定され単位を修得できなかった授業科目を再び履修(以下「再履修」という。)しようとする場合は、翌年度以降に履修登録しなければならない。

- 2 再履修又は属する学年よりも下級の学年次に配当されている授業科目(以下「下学年次科目」という。)の履修に際しては、当該授業に割り当てられた学科及びクラスで履修することを要しない。ただし、授業の方法のうち、実技及び演習の方法で実施される授業科目並びに音楽関連科目及びその他本学が指定した授業科目については、性別によって区分されたクラスの授業を履修しなければならない。
- 3 前項にかかわらず、再履修については、あらかじめ指定された授業クラスが設けられた場合は、当該授業を履修登録しなければならない。
- 4 再履修しようとする授業科目又は履修しようとする下学年次科目の授業については、履修登録を制限することがある。また、履修登録後であっても、正規に割り当てられた当該学年及びクラスの履修人数等の状況によって、受講を制限することがある。
- 5 前項の規定により履修登録又は受講が制限されたとき、他の授業の履修を希望する場合は、履修しようとする授業担当教員の許可に基づき、履修登録を行うことができる。

(履修登録の取消し)

第11条 学則第43条に定める授業料その他所定の学費を定められた期日までに完納しない者のうち、日本体育大学・日本体育大学大学院の学費に関する規程第5条に定める延納の手続きを行わない者は、履修登録を無効とし、すべての登録科目を取消すものとする。

(スポーツ文化研究及び卒業研究の履修登録)

第12条 「スポーツ文化研究C」・「スポーツ文化研究D」及び「卒業研究」の履修登録は、

履修登録等期間中に当該担当教員に所定の履修申告書を提出しなければならない。

- 2 前項により、授業担当教員が申告者の履修の可否を決定し、所定の期日までに、学生支援センターへ履修を許可する者の履修申告書を提出することによって履修が登録されたものとする。
- 3 「スポーツ文化研究C」・「スポーツ文化研究D」及び「卒業研究」は、原則として同一の担当教員の下で継続して履修するものとする。

(教育実習の履修要件)

第13条 「教育実習」を履修しようとする者は、「事前事後の指導」を履修するとともに、次の号に掲げる要件を満たさなければならない。

- (1) 「教育実習」を履修しようとする年度の前年度末までに、次に掲げる授業科目の単位を修得しているとともに、合わせて総修得単位数100単位以上を修得していること。

- ア 体育科教育法
- イ 保健科教育法
- ウ 教育原理
- エ 教師論
- オ 教育の制度と経営
- カ 教育心理学
- キ 特別支援教育概論
- ク 教育課程論
- ケ 道德教育の指導法
- コ 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
- サ 教育の方法と技術
- シ 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)
- ス 教育相談(カウンセリングを含む)

- 2 科目等履修生として「教育実習」を履修しようとする者は、「事前事後の指導」を履修するとともに、次の各号に掲げる要件を満たさなければならない。

- (1) 日本体育大学を卒業した者、日本体育大学大学院に在学する者又は修了した者のみとする。

- (2) 第13条第1項第1号に掲げる授業科目の単位を修得していること。

- 3 前各項に定める要件のほか、教育実習の履修等に関して必要な基準は、教職センター運営委員会の議を経て、学長が別に定める。

(教職実践演習(中・高)の履修要件)

第14条 「教職実践演習(中・高)」を履修しようとする者は、「教育実習」を履修するほか、第32条第2項第1号に定める履修カルテを提出していなければならない。

(スポーツ国際実習／スポーツ国際支援実習の履修要件)

第15条 「スポーツ国際実習」及び「スポーツ国際支援実習」を履修しようとする者は、前年度末までに、次の各号に掲げる授業科目の単位を修得しなければならない。

ア 基礎英語Ⅰ

イ 基礎英語Ⅱ

2 前各項に定める要件のほか、「スポーツ国際実習」及び「スポーツ国際支援実習」を履修しようとする者は、前年度末までに教育企画センター運営委員会の議を経て、定められた英語検定試験の基準を満たさなければならない。ただし、学部長が参加を認める者についてはこの限りではない。

(海浜実習の履修要件)

第16条 「海浜実習」を履修しようとする者は、前項に定めるもののほか、前年度末までに「運動方法・水泳」の単位を修得しなければならない。ただし、本部長が参加を認める者についてはこの限りではない。

(中学校教諭一種免許状(保健体育)の授与資格の取得)

第17条 本学部教育課程を履修する者のうち、学則第19条第2項に定める中学校教諭一種免許状(保健体育)の授与資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、教育職員免許法(昭和24年法律第147号。以下「教育職員免許法」という。)及び同法施行規則(昭和29年文部省令第26号。以下「施行規則」という。)に定める所要単位を修得しなければならない。

2 前項に定めるもののほか、中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律(平成9年6月18日法律第90号)に定める介護等の体験を行わなければならない。

3 介護等の体験に関し、必要な事項は別に定める。

4 第1項に定める所要単位の教科は、別表1のとおりとする。

(高等学校教諭一種免許状(保健体育)の授与資格の取得)

第18条 本学部教育課程を履修する者のうち、学則第19条第2項に定める高等学校教諭一種免許状(保健体育)の授与資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所要単位を修得しなければならない。

2 前項に定める所要単位の教科は、別表1のとおりとする。

(資格)

第19条 第17条及び第18条に定めるもののほか、本学部の教育課程を修めることにより取得できる資格については別に定める。

第3章 授業

(授業の方法)

第20条 授業は、講義、演習、実験、実習、又は実技により行うものとする。

(単位の計算方法)

第21条 学則第21条第1項第1号については、次のとおりとする。

講義については15時間の授業をもって1単位、演習については30時間の授業をもって1単位とする。ただし、次の科目は15時間の授業をもって1単位とする。

ア 体育科教育実践法

イ 保健科教育実践法

ウ 教職実践演習(中・高)

(授業の期間)

第22条 各授業科目の授業は、学則第29条に定める各学期について、それぞれ15週にわたる期間を単位として行う。

2 前項にかかわらず、次の各号に掲げる授業については、集中授業として、これらの期間より短い特定の期間において授業(以下「集中授業」という。)を行うことができる。

(1) 教育上特別の必要があり、教育効果が期待できると認められた授業

(2) 校外で実施する野外活動実習又は学外施設における実習もしくは実技

(3) 教育職員免許法に規定される教育職員免許状の授与の所要資格を取得するための教育実習

3 集中授業は、原則として、土曜日又は学則第30条に定める休業日に開講するものとする。

4 「スポーツ文化研究C」・「スポーツ文化研究D」及び「卒業研究」の担当教員は、当該授業の一部を学外で行う場合又はその他教育活動と認められる活動を行うときは、所定の届け出を行わなければならない。

(授業の時間)

第23条 本学の授業時間は、1日5時制限及び一回の時限を90分制とし、次の各号に掲げる時間帯に実施する。ただし、あらかじめ設定する各授業科目の実施時間帯の割当ては、原則として第1号から第4号に掲げる時間帯に割当てするものとする。

- (1) 第1時限 9:00から10:30
- (2) 第2時限 10:40から12:10
- (3) 第3時限 13:00から14:30
- (4) 第4時限 14:40から16:10
- (5) 第5時限 16:20から17:50

2 前項の規定にかかわらず、学長は、臨時に時限を設けるほか、時限及び時間帯を変更することができる。

(授業の出席及び欠席の確認)

第24条 授業の出席の確認は、原則として授業の開始時に行うものとする。

2 授業の20分以上の遅刻又は早退は欠席とみなす。また、20分未満の遅刻又は早退は、通算三回をもって一回の欠席とみなす。ただし、遅刻又は早退となった理由について、授業担当教員がやむを得ないと認めた場合は、出席を認めることがある。

3 前項にかかわらず、一回の授業の一部が欠けることにより当該学修成果が著しく損なわれると認められる場合、あらかじめ学部長の許可を得た上で、授業担当教員が事前に告知したときは遅刻を認めない。

(休講)

第25条 授業担当教員は、日本体育大学教職員の出張等に関する規程に定める出張任務を命じられた時又は学外研修あるいは学外派遣が許可されたとき、又は、やむを得ない理由により授業を行うことができない場合、所定の手続きにより、学部長の許可を得て、担当する授業を休講することができる。

2 各時限の開始時刻から20分以上過ぎても授業が開始されない場合は休講とみなす。

3 休講しようとする授業担当教員は、休講した場合は、履修者に不利益のないよう配慮の上、期日を設けて代替授業を行わなければならない。

4 休講しようとする授業担当教員は、代替授業を行うことにより履修者に不利益が生ずると判断したときは、所定の手続きにより、当該授業の分野を専門とする本学の教授あるいは准教授又は授業を担当する資格を有する助教による授業の代行者を措置することができる。

5 休講しようとする授業担当教員は、所定の手続きにより、前項に定める教員のほか、助教又は助手の職にある者の監督の下、当該授業時限の出席者に課題を与えて実施することにより、当該授業の開講に換えることができる。

(補講)

第26条 授業担当教員は、授業の到達目標に著しく劣る全部又は一部の履修者に対し、補習授業を設けることができる。

(特別講師による授業)

第27条 授業担当教員は、あらかじめ授業展開で定めた内容に基づき、学外有識者を講師(以下「特別講師」という。)として、当該授業を担当させることができる。

2 特別講師の手続きに関して必要な事項は別に定める。

(通学及び出席の停止)

第28条 学校保健安全法施行規則第18条(昭和33年6月13日文部省令第18号)に定める学校において予防すべき感染症にかかった者は、同規則第19条に規定する基準に基づき、通学及び授業への出席を停止する。

(交通ストライキ又は気象警報発令時の授業)

第29条 授業期間中に、本学が通学経路として認める公共交通機関にストライキが起こった場合、又は、本学が定めた地域に気象警報が発令された場合は、授業を開講しないことができる。

(特別な履修)

第30条 試験に合格しなかった者が、その翌年度以降において再履修し、単位を修得しようとするとき、不合格となった年度の翌年度に定期試験のみを受験し、これに合格することによって、当該科目の単位を付与することがある。

2 前項の履修の対象となる授業科目及びその取扱いについては、教育企画センター運営委員会が別に定める。

(学修経費の負担)

第31条 校外で実施する野外実習又は学外施設における実習もしくは実技については、交通費、宿泊費又は教材費のほか、学修に必要な経費を徴収することがある。

2 前項の経費の徴収については、別に定める。

(履修カルテ)

第32条 本学は、在籍する学生の履修履歴を把握するため、履修カルテを作成し、入学の段階からそれぞれの学生の学習内容、理解度等を把握するとともに、履修カルテに基づき、必要な指導を行うものとする。

2 履修カルテの対象とする授業科目は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 教育職員免許状の授与資格の取得に必要な授業科目のうち、教職センター運営委員会が指定する授業科目

- (2) 本学の人材育成方針に基づく学生教育として行うプログラムに係る授業科目で、教育企画センター運営委員会が選定する授業科目
 - (3) 前2号のほか、学生支援センターが必要と認めた授業科目
- 3 学生は、自ら履修した授業科目に関し、**n-pass**を使用して、本学所定の履修カルテを作成し学生支援センターが定める期日までに提出しなければならない。
- 4 履修カルテの対象となる授業科目の授業担当教員は、**n-pass**を通じて、当該年度に担当する学生の履修カルテの作成状況を確認するほか、必要に応じて提出を督促しなければならない。ただし、第2項第3号の授業科目を除く。
- 5 クラス担任は、学生から提出された履修カルテを参照して、担当する学生の履修状況を把握するとともに、必要に応じて個別の補完的な指導を行わなければならない。ただし、第2項第3号の授業科目を除く。
- 6 履修カルテは学生支援センターが管理する。

(授業施設及び設備等)

第33条 本学の教室、実験室、実技施設及び実習施設のほか、共有の利用に供する教材又は教育設備は、専ら授業の用に供するものとしなければならない。ただし、授業の使用に支障のない場合に限り、日本体育大学目的外使用規程に基づき、その使用を認めるものとする。

第4章 単位の授与に係る試験及び成績

(単位の授与)

第34条 単位の授与に係る試験及び成績の評価については、学則第22条及び第25条に定めるもののほか、この章の定めるところによる。

(試験の方法)

第35条 試験は、授業の担当教員が、筆記試験、口述試験、実技試験又はレポート(以下「試験等」という。)の提出等の方法により行う。

2 授業担当教員は、実施した試験等の答案は、適切な方法により、当該授業を実施した年度の翌年度末まで保管しなければならない。

(定期試験)

第36条 履修した授業科目に関する試験は、原則として、每学期末に行う。ただし、各授業科目の担当教員が必要と認めたときは、臨時に行うことができる。

2 受験の際は、必ず学生証を携行しなければならない。

3 定期試験の公認欠席に関しては、日本体育大学スポーツ文化学部公認欠席認定基準第2

条から第4条の規定を準用する。

(追試験)

第37条 授業担当教員は、病気、その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった者に対し、相当と認めたときは追試験を実施することができる。

- 2 授業担当教員は、学部長の指示があったとき、追試験を実施しなければならない。
- 3 追試験を受けようとするときは、当該授業科目の担当教員に所定の欠席届を提出するとともに、別に定める追試験受験料を払い、追試験受験カードを用意しなければならない。
- 4 前条第3項により公認欠席が認められた者は、追試験を受験することができる。ただし追試験受験料は徴しない。
- 5 前項により追試験を受験しようとする者は、学生支援センターが発行する公認欠席証明書に、当該授業科目の担当者の追試験の受験許可を表す確認印を受けた上で、学生支援センターに提示し、公認欠席受験カードを受領しなければならない。
- 6 追試験受験カード又は公認欠席受験カードは、答案用紙、レポート等に添えて提出しなければならない。
- 7 追試験を欠席した者に対し、再度追試験は実施しない。
- 8 追試験で不合格となった者に対し、再試験は実施しない。

(再試験)

第38条 授業担当教員は、定期試験を受験した結果、合格に至らなかった者を対象として再試験を実施することができる。

- 2 授業担当教員は、学部長の指示があったとき、再試験を実施しなければならない。
- 3 前項の再試験を受けようとする者は、別に定める再試験受験料を払い、再試験受験カードを用意するものとする。
- 4 再試験受験カードは、答案用紙、レポート等に添えて、提出しなければならない。
- 5 再試験は、授業担当教員が期日を定めて行う。
- 6 再試験を欠席した者に対して、その追試験は実施しない。

(試験等における不正行為)

第39条 定期試験、追試験又は再試験において不正行為又は予備行為のあった者には直ちに退室を命ずるほか、次の措置を取る。

- (1) 当該受験科目を含め当該学期の授業科目の全受験科目を無効とする。
 - (2) 学則第58条に定める懲戒の対象とし、その事実と氏名を公示する。
- 2 試験終了後において不正行為があったことが確認された場合は、前項各号を適用する。

(受験の不許可)

第40条 次に掲げる各号のいずれかに該当する場合には、試験を受けることができない。

- (1) 授業の出席時間数が授業時間数の3分の2に達しないとき
- (2) 学生証を提示しないとき
- (3) 試験開始後15分を経過したとき
- (4) 学則第43条に定める授業料その他所定の学費を定められた期日までに完納しない者
で、学費に関する規程第5条に定める延納の手続きを行った者のうち、誓約した期日ま
でに学費が完納しない者

2 前項第1号の出席時間数には、所定の手続きに基づく公認欠席のうち、次の各号に定め
る事項を全て満たした者は、公認欠席を欠席扱いとはせず、当該授業の時間数に含むもの
とする。なお、公認欠席の認定基準については別に定める。

- (1) 原則として、当該授業に1学期あたり3分の1以上出席していること。
- (2) 公認欠席した当該授業の担当教員から指示された課題を遂行すること。又は、補講
の指示・指導を受けること。

(成績評価)

第41条 学則第25条第2項に基づき、評価の基準を次の各号に掲げるとおり定める。

- (1) A 10点満点法による10点から8点までとし、学修目標の内容を十分に理解し、修得
したものと認められる優れた成績を示す。
- (2) B 10点満点法による7点とし、学修目標の根幹的な部分は理解し、修得したものと
認められる妥当な成績を示す。
- (3) C 10点満点法による6点とし、学修目標の最低限の理解が得られたものと認められ
る成績を示す。
- (4) D 10点満点法による6点未満とし、学修目標の最低限の理解が得られていないと認
められる成績を示す。

2 前項の成績もしくは素点評価に基づき、成績の数値平均「Grade Point Average(以下
「GPA」という。)」を算出するものとする。

3 GPAに関し必要な事項は別に定める。

4 学則第25条及び前項各号にかかわらず、学則第23条又は第24条の規定により認定された
科目の成績及び評価については、成績の評語及び評価の基準いずれもNで表す。

5 再試験を受験した者の評価の基準は第1項第2号を上限とする。

6 授業担当教員は、前学期又は後学期それぞれ定められた期間内に、原則としてn-pass

を使用して評価を登録しなければならない。

- 7 学生は、n-passを通じて履修した授業の成績評価を確認しなければならない。
- 8 授業担当教員は、当該授業の履修者から、評価に関する照会があった場合は、適切に対応しなければならない。
- 9 履修した年度及び学期に付された評価については、当該年度末をもって確定するものとし、履修した年度の翌年度以降に変更することはできない。

第5章 証明書

(卒業見込証明書)

第42条 第3学年次末における修得単位数と第4学年次における履修登録単位数の合計が、卒業所要単位数を満たしている者には、卒業見込証明書を発行する。

(学力に関する証明書)

第43条 本学は、教育職員免許法第7条に基づき、免許状の授与又は教育職員検定を受けようとする者から請求があったときは、免許状の取得に必要な単位修得証明書として学力に関する証明書を発行しなければならない。

(改廃)

第44条 この規程の改廃は、教育企画センター運営委員会、スポーツ文化学部教授会、学部長会の議を経て学長が行う。

附 則

(施行日)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

(施行日)

この規程は、平成29年10月19日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

附 則

(施行日)

この規程は、平成30年4月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

附 則

(施行日)

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表1は、平成31年度の入学生から適用し、平成30年度以前の入学生については、なお従前の例による。

別表1(第17条第4項及び第18条第2項関係)

中学校教諭1種免許状・高等学校教諭1種免許状(保健体育)の取得要件科目

教員免許法に定められた内容					本学が課程認定を受けている内容			
第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項 (保健体育)	最低修得単位数		スポーツ文化学部 2019カリキュラム	単位数	★必修☆選択	大学が定める免許取得に必要な単位数
			中 学 校	高 等 学 校				
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	28	24	運動方法・陸上競技	1	★	1
					運動方法・水泳	1	★	1
					運動方法・体つくり運動(体操)	1	★	1
					運動方法・器械運動	1	★	1
					運動方法・ソフトボール(野球を含む)	1	★	1
					運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	1	★	1
					運動方法・球技A	1	★	1
					運動方法・球技B	1	★	1
					運動方法・武道(柔道)	1	☆	1単位以上
					運動方法・武道(剣道)	1	☆	

					運動方法・武道 (相撲)	1	☆	
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	スポーツ哲学	2	★	2		
			スポーツ心理学	2	★	2		
			スポーツ経営管理学	2	★	2		
			スポーツ社会学	2	★	2		
			スポーツ史	2	★	2		
			トレーニング学	2	★	2		
			スポーツ生理学	2	★	2		
		衛生学・公衆衛生学	2	★	2			
		学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2	★	2		
			学校安全(救急処置を含む)	2	★	2		
			体育科教育法	2	★	2		
		保健科教育法	2	★	2			
		体育科教育実践法	2	★	2			
		保健科教育実践法	2	★	2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育原理	2	★	2				
	教師論	2	★	2				

第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	2	★	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)						

		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育の制度と経営	2	★	2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2	★	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	2	★	2
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	2	★	2
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の指導法：中免のみ	2	★	2
		総合的な学習の時間の指導法			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	★	2
		特別活動の指導法			教育の方法と技術	2	★	2
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	2	★	2
		生徒指導の理論及び方法			教育相談(カウンセリングを含む)	2	★	2
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法						
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実習	4	★	4
					事前事後の指導	1	★	1
		教職実践演習	2	2	教職実践演習(中・高)	2	★	2
第六欄	大学が独自に設定する科目		4	12	スポーツ医学	2	☆	

欄			発育発達論	2	☆	
			機能解剖学	2	☆	
			人権教育	2	☆	
			スポーツ栄養学 (食品学を含む)	2	☆	
			(道徳教育の指導 法)：高免のみ	2	☆	※1
必要な単位数計		59	59	合計		66単位以上

教員 免許 法施行規則(第66条の6)に定める科目	日本国憲法	2	法学(日本国憲法)	2	★	2
	体育	2	スポーツ文化研究A	2	★	2
			海浜実習	1	☆	1単位
			キャンプ実習	1	☆	以上
			スキー実習	1	☆	1単位
			スケート実習	1	☆	以上
	外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	1	★	1
			英語コミュニケーションⅡ	1	★	1
	情報機器の操作	2	情報処理(情報機器の操作を含む)	2	★	2

★：必修科目 ☆：選択科目(必要単位数を修得すること。)

※1 「道徳教育の指導法」は、高1種免許取得の場合は教育職員免許法施行規則第五条の第六欄「大学が独自に設定する科目」に位置づけ、中1種免許取得の場合は教育職員免許法施行規則第四条の第四欄「道徳の理論及び指導法」に位置づける。

※2 別表1第六欄「大学が独自に設定する科目」の単位数は、第二欄「教科及び教科の指

導法に関する科目」又は第三欄「教育の基礎的理解に関する科目」、第四欄「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、第五欄「教育実践に関する科目」の必要単位数を上回る単位をもって当てることができる。

○日本体育大学児童スポーツ教育学部履修規程

平成25年3月12日

教授会制定

最近改正 令和2年2月25日

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、日本体育大学学則(以下「学則」という。)に基づき、児童スポーツ教育学部(以下「本学部」という。)において、授業科目の単位を修得するために授業を受講し学修すること(以下「履修」という。)や単位の取扱いのほか、授業の実施に関して必要な事項を定める。

(適用)

第2条 本学部における学修については、学則によるもののほか、入学年度の履修規程による。

第2章 履修登録

(履修登録)

第3条 学則第20条に定めるもののほか、履修科目の登録に関しては、この章の定めるところによる。

- 2 学生は、授業科目の履修登録に際しては、所属する学科及びコースの教育課程により開講される授業科目について、履修計画表に基づき、その年度に履修しようとするすべての授業科目を、特別に指示のある授業科目を除き、日本体育大学(以下「本学」という。)が管理するインターネットを利用した情報提供システムで運用する「nssu・passport(以下、「n・pass」という。)」により、指定期間内に申請を行った上で、所定の期日までに登録(以下「Web履修登録」という。)を完了しなければならない。
- 3 Web履修登録の内容に不備があったとき、学生支援センターが指定する方法により、所定の期日までに追加又は変更(以下「履修登録修正等」という。)の手続きを行わなければならない。
- 4 受講目的が達成されないなどの理由がある場合に限り、学生支援センターが指定する方法により、所定の期日までに履修科目の削除の手続きを行うことができる。

(履修登録の締切)

第4条 前条第3項及び第4項の期日を過ぎてから、履修登録の追加又は変更を行うことは認めない。ただし、履修登録が完了しなかった理由について、当該学生の担当教員の申し出

に基づき、学部長がやむを得ないと認めた場合に限り、履修登録修正等を認めることがある。

- 2 前項の規定にかかわらず、当該授業科目の全授業日数の5分の1を経過したときは履修登録修正等を認めない。

(履修登録の配当年次制限)

第5条 授業科目については、当該配当学年次よりも下級学年に属する学生が履修することはできない。

(重複登録の禁止)

第6条 同一授業時刻に開始される授業(以下「同一講時の授業」という。)を重複して履修登録することはできない。

- 2 同一講時の授業を2科目以上履修登録した場合は、それらの科目の履修登録をすべて無効とする。

(合格済科目の履修登録の禁止)

第7条 既に単位を修得した授業科目については、再び履修することはできない。

(授業科目の履修登録の上限)

第8条 1年間に履修登録することができる単位数(以下「キャップ数」という。)の上限について、次のとおり定める。

	児童スポーツ教育コース	幼児教育保育コース
1年次	44単位	44単位
2年次	44単位	44単位
3年次	44単位	44単位
4年次	44単位	44単位
計	176単位	176単位

- 2 次の各号に掲げる授業科目はキャップ数の対象としない。

- (1) 学外で実施される集中実習及び集中実技又は授業時間外に実施される実習
 - (2) 学則第21条第2項に規定する授業科目
 - (3) 法令等に定められた資格取得に関連した授業科目のうち、卒業に必要な所定の授業科目以外の授業科目又は休日あるいは休業期間中に開講される授業科目
 - (4) 教育企画センター運営委員会の議を経て、学部長が認めた授業科目
- (受講人数の制限)

第9条 本学部は、あらかじめ指定した授業科目に限り、受講定員を設ける場合がある。

- 2 前項の受講定員が定められた授業科目については、所定の期日までに予備登録を行わなければならない。
- 3 前項の予備登録は原則としてn・passを使用した抽選で行うものとし、履修希望を申告した者の中から、設定した定員の数を満たすまで無作為に選ぶ場合又は登録の申込順で行う場合がある。

(再履修及び下学年次科目履修)

第10条 一度不合格と判定され単位を修得できなかった授業科目を再び履修(以下「再履修」という。)しようとする場合は、翌年度以降に履修登録しなければならない。

- 2 再履修又は属する学年よりも下級の学年次に配当されている授業科目(以下「下学年次科目」という。)の履修に際しては、当該授業に割り当てられた学科及びクラスで履修することを要しない。
- 3 前項にかかわらず、再履修については、あらかじめ指定された授業クラスが設けられた場合は、当該授業を履修登録しなければならない。
- 4 再履修しようとする授業科目又は履修しようとする下学年次科目の授業については、履修登録を制限することがある。また、履修登録後であっても、正規に割り当てられた当該学年及びクラスの履修人数等の状況によって、受講を制限することがある。
- 5 前項の規定により履修登録又は受講が制限されたとき、他の授業の履修を希望する場合は、履修しようとする授業担当教員の許可に基づき、履修登録を行うことができる。

(履修登録の取消し)

第11条 学則第43条に定める授業料その他所定の学費を定められた期日までに完納しない者のうち、日本体育大学・日本体育大学大学院の学費に関する規程第5条に定める延納の手続きを行わない者は、履修登録を無効とし、すべての登録科目を取消すものとする。

(児童スポーツ教育研究の履修登録)

第12条 児童スポーツ教育研究Ⅰ及び児童スポーツ教育研究Ⅱの履修登録は、履修登録等期間中に当該担当教員に所定の履修申告書を提出しなければならない。

- 2 前項により、授業担当教員が申告者の履修の可否を決定し、所定の期日までに、学生支援センターへ履修を許可する者の履修申告書を提出することによって履修が登録されたものとする。
- 3 児童スポーツ教育研究Ⅰ及び児童スポーツ教育研究Ⅱは、原則として同一の担当教員の下で継続して履修するものとする。

(保育士資格取得に係る保育実習の履修要件)

第13条 保育実習Ⅰ①を履修しようとする者は、保育実習指導Ⅰ①を履修するとともに、保育実習Ⅰ①を履修しようとする前年度末までに、次の各号に掲げる授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 保育原理
- (2) 保育現場体験(保育所・施設)
- (3) 保育内容総論演習

2 保育実習Ⅰ②を履修しようとする者は、保育実習指導Ⅰ②を履修するとともに、保育実習Ⅰ②を履修しようとする前年度末までに、次の各号に掲げる授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 子ども家庭福祉
- (2) 保育実習Ⅰ①
- (3) 社会的養護Ⅰ

3 保育実習Ⅱを履修しようとする者は、保育実習指導Ⅱ及び保育実習Ⅰ②を履修するとともに、保育実習Ⅱを履修しようとする前年度末までに、保育実習Ⅰ①の単位を修得しなければならない。

4 保育実習Ⅲを履修しようとする者は、保育実習指導Ⅲ及び保育実習Ⅰ②を履修するとともに、保育実習Ⅲを履修しようとする前年度末までに、保育実習Ⅰ①の単位を修得しなければならない。

(児童スポーツ教育コースの教育実習の履修要件)

第14条 教育実習Ⅰを履修しようとする者は、教育実習Ⅰを履修しようとする前年度末までに、次の各号に掲げる授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 教育原理
- (2) 教育の方法と技術(メディア教育を含む)
- (3) 教職入門
- (4) 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
- (5) 教育心理学
- (6) 教育課程論
- (7) 道徳の理論及び指導法
- (8) 教育実習指導Ⅰ

2 教育実習Ⅱを履修しようとする者は、教育実習指導Ⅱを履修するとともに、教育実習Ⅱを履修しようとする前年度末までに、次の各号に掲げる授業科目の単位を修得しなければ

ならない。

(1) 教育実習Ⅰ

(2) 次に掲げる科目のうち1科目以上

ア 初等体育A(陸上運動、器械運動)

イ 初等体育B(ボール運動、表現運動)

ウ 初等体育C(体づくり運動、保健)

(3) 初等音楽

(4) 次に掲げる科目のうち7科目以上

ア 初等体育科教育法

イ 初等国語科教育法

ウ 初等理科教育法

エ 初等算数科教育法

オ 初等社会科教育法

カ 初等音楽科教育法

キ 初等生活科教育法

ク 初等英語科教育法

3 教育実習指導Ⅱを履修しようとする者は教育実習Ⅱを履修しなければならない。

4 前各項に定める要件のほか、教育実習の履修等に関して必要な基準は、教職センター運営委員会の議を経て、学長が別に定める。

(幼児教育保育コースの保育現場体験(幼稚園)の履修要件)

第15条 保育現場体験(幼稚園)を履修しようとする者は、保育現場体験指導(幼稚園)を履修するとともに、保育現場体験(幼稚園)を履修しようとする前年度末までに、次の各号に掲げる授業科目の単位を修得しなければならない。

(1) 幼児の運動遊びⅠ

(2) 教育原理

(3) 教師論(幼稚園)

(幼児教育保育コースの教育実習の履修要件)

第16条 教育実習(幼稚園)を履修しようとする者は、教育実習指導を履修するとともに、教育実習(幼稚園)を履修しようとする前年度末までに、次の各号に掲げる授業科目の単位を修得しなければならない。

(1) 保育現場体験(幼稚園)

- (2) 子どもの理解と援助
- (3) 保育カリキュラム論
- (4) 幼児と人間関係

- 2 教育実習指導を履修しようとする者は教育実習(幼稚園)を履修しなければならない。
- 3 前各項に定める要件のほか、教育実習の履修等に関して必要な基準は、教職センター運営委員会の議を経て、学長が別に定める。

(教職実践演習(幼稚園・小学校)の履修要件)

第17条 教職実践演習(幼稚園・小学校)を履修しようとする者は、教育実習Ⅱを履修するほか、第36条第2項第1号に定める履修カルテを提出していなければならない。

(保育・教職実践演習(幼稚園)の履修要件)

第18条 保育・教職実践演習(幼稚園)を履修しようとする者は、教育実習(幼稚園)、保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲのいずれかを履修しなければならない。

- 2 幼児教育保育コースに所属する者で、幼稚園教諭一種免許状の授与資格を取得しようとするもののうち、保育・教職実践演習(幼稚園)を履修しようとする者は、教育実習(幼稚園)を履修するとともに、第36条第2項第1号に定める履修カルテを提出していなければならない。

(スポーツ現場実習の履修要件)

第19条 スポーツ現場実習を履修しようとする者は、スポーツ現場実習を履修しようとする前年度末までに、スポーツ現場実務論の単位を修得しなければならない。

(小学校教諭一種免許状の授与資格の取得)

第20条 児童スポーツ教育学科の児童スポーツ教育コースの教育課程を履修する者のうち、学則第19条第2項に定める小学校教諭一種免許状の授与資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、教育職員免許法(昭和24年法律第147号。以下「教育職員免許法」という。)及び同法施行規則(昭和29年文部省令第26号。以下「施行規則」という。)に定める所要単位を修得しなければならない。

- 2 前項に定めるもののほか、小学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律(平成9年6月18日法律第90号)に定める介護等の体験を行わなければならない。
- 3 介護等の体験に関し、必要な事項は別に定める。
- 4 第1項に定める所要単位の教科は、別表1のとおりとする。

(児童スポーツ教育コースにおける幼稚園教諭一種免許状の授与資格の取得)

第21条 児童スポーツ教育学科の児童スポーツ教育コースの教育課程を履修する者のうち、学則第19条第2項に定める幼稚園教諭一種免許状の授与資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、教育職員免許法及び施行規則に定める所要単位を修得しなければならない。

2 第1項に定める所要単位の教科は、別表2のとおりとする。

(幼児教育保育コースにおける幼稚園教諭一種免許状の授与資格の取得)

第22条 児童スポーツ教育学科の幼児教育保育コースの教育課程を履修する者のうち、学則第19条第2項に定める幼稚園教諭一種免許状の授与資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、教育職員免許法及び施行規則に定める所要単位を修得しなければならない。

2 第1項に定める所要単位の教科は、別表3のとおりとする。

(資格)

第23条 児童スポーツ教育学科の幼児教育保育コースの教育課程を履修する者のうち、児童福祉法(昭和22年法律第164号)に規定する保育士資格を取得しようとする者は、卒業に必要な所要の単位のほか、厚生労働省告示第198号に定める所要単位を修得しなければならない。

2 前項に定める所要単位の教科は、別表4のとおりとする。

3 前3条及び第1項に定めるもののほか、本学部の教育課程を修めることにより取得できる資格については別に定める。

第3章 授業

(授業の方法)

第24条 授業は、講義、演習、実験、実習、又は実技により行うものとする。

(単位の計算方法)

第25条 学則第21条第1項第1号については、次のとおりとする。

講義については15時間の授業をもって1単位、演習については30時間の授業をもって1単位とする。ただし、次の科目は15時間の授業をもって1単位とする。

ア 初等理科

イ 教職実践演習(幼稚園・小学校)

ウ 子どもの理解と援助

エ 保育内容「健康」の指導法

オ 保育内容「人間関係」の指導法

- カ 保育内容「環境」の指導法
- キ 保育内容「言葉」の指導法
- ク 保育内容「表現」の指導法
- ケ 障がい児保育演習
- コ 子どもの食と栄養
- サ 保育・教職実践演習(幼稚園)

(授業の期間)

第26条 各授業科目の授業は、学則第29条に定める各学期について、それぞれ15週にわたる期間を単位として行う。

2 前項にかかわらず、次の各号に掲げる授業については、集中授業として、これらの期間より短い特定の期間において授業(以下「集中授業」という。)を行うことができる。

- (1) 教育上特別の必要があり、教育効果が期待できると認められた授業
- (2) 校外で実施する野外活動実習又は学外施設における実習もしくは実技
- (3) 教育職員免許法に規定される教育職員免許状の授与の所要資格を取得するための教育実習
- (4) 児童福祉法に規定される保育士となる資格を取得するための実習

3 集中授業は、原則として、土曜日又は学則第30条に定める休業日に開講するものとする。

4 児童スポーツ教育研究Ⅰ又は児童スポーツ教育研究Ⅱの担当教員は、当該授業の一部を学外で行う場合又はその他教育活動と認められる活動を行うときは、所定の届け出を行わなければならない。

(授業の時間)

第27条 本学の授業時間は、1日5時制限及び一回の時限を90分制とし、次の各号に掲げる時間帯に実施する。ただし、あらかじめ設定する各授業科目の実施時間帯の割当ては、原則として第1号から第4号に掲げる時間帯に割当てするものとする。

- (1) 第1時限 9：00から10：30
- (2) 第2時限 10：40から12：10
- (3) 第3時限 13：00から14：30
- (4) 第4時限 14：40から16：10
- (5) 第5時限 16：20から17：50

2 前項の規定にかかわらず、学長は、臨時に時限を設けるほか、時限及び時間帯を変更することができる。

(授業の出席及び欠席の確認)

第28条 授業の出席の確認は、原則として授業の開始時に行うものとする。

- 2 授業の20分以上の遅刻又は早退は欠席とみなす。また、20分未満の遅刻又は早退は、通算三回をもって一回の欠席とみなす。ただし、遅刻又は早退となった理由について、授業担当教員がやむを得ないと認めた場合は、出席を認めることがある。
- 3 前項にかかわらず、一回の授業の一部が欠けることにより当該学修成果が著しく損なわれると認められる場合、あらかじめ学部長の許可を得た上で、授業担当教員が事前に告知したときは遅刻を認めない。

(休講)

第29条 授業担当教員は、日本体育大学教職員の出張等に関する規程に定める出張任務を命じられた時又は学外研修あるいは学外派遣が許可されたとき、又は、やむを得ない理由により授業を行うことができない場合、所定の手続きにより、学部長の許可を得て、担当する授業を休講することができる。

- 2 各時限の開始時刻から20分以上過ぎても授業が開始されない場合は休講とみなす。
- 3 休講しようとする授業担当教員は、休講した場合は、履修者に不利益のないよう配慮の上、期日を設けて代替授業を行わなければならない。
- 4 休講しようとする授業担当教員は、代替授業を行うことにより履修者に不利益が生ずると判断したときは、所定の手続きにより、当該授業の分野を専門とする本学の教授あるいは准教授又は授業を担当する資格を有する助教による授業の代行者を措置することができる。
- 5 休講しようとする授業担当教員は、所定の手続きにより、前項に定める教員のほか、助教又は助手の職にある者の監督の下、当該授業時限の出席者に課題を与えて実施することにより、当該授業の開講に換えることができる。

(補講)

第30条 授業担当教員は、授業の到達目標に著しく劣る全部又は一部の履修者に対し、補習授業を設けることができる。

(特別講師による授業)

第31条 授業担当教員は、あらかじめ授業展開で定めた内容に基づき、学外有識者を講師(以下「特別講師」という。)として、当該授業を担当させることができる。

- 2 特別講師の手続きに関して必要な事項は別に定める。

(通学及び出席の停止)

第32条 学校保健安全法施行規則第18条(昭和33年6月13日文部省令第18号)に定める学校において予防すべき感染症にかかった者は、同規則第19条に規定する基準に基づき、通学及び授業への出席を停止する。

(交通ストライキ又は気象警報発令時の授業)

第33条 授業期間中に、本学が通学経路として認める公共交通機関にストライキが起こった場合、又は、本学が定めた地域に気象警報が発令された場合は、授業を開講しないことができる。

(特別な履修)

第34条 試験に合格しなかった者が、その翌年度以降において再履修し、単位を修得しようとするとき、不合格となった年度の翌年度に定期試験のみを受験し、これに合格することによって、当該科目の単位を付与することがある。

2 前項の履修の対象となる授業科目及びその取扱いについては、教育企画センター運営委員会が別に定める。

(学修経費の負担)

第35条 校外で実施する野外活動実習又は学外施設における実習もしくは実技については、交通費、宿泊費又は教材費のほか、学修に必要な経費を徴収することがある。

2 前項の経費の徴収については、別に定める。

(履修カルテ)

第36条 本学は、在籍する学生の履修履歴を把握するため、履修カルテを作成し、入学の段階からそれぞれの学生の学習内容、理解度等を把握するとともに、履修カルテに基づき、必要な指導を行うものとする。

2 履修カルテの対象とする授業科目は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 教育職員免許状の授与資格の取得に必要な授業科目のうち、教職センター運営委員会が指定する授業科目

(2) 本学の人材育成方針に基づく学生教育として行うプログラムに係る授業科目で、教育企画センター運営委員会が選定する授業科目

(3) 前2号のほか、学生支援センターが必要と認めた授業科目

3 学生は、自ら履修した授業科目に関し、n・passを使用して、本学所定の履修カルテを作成し学生支援センターが定める期日までに提出しなければならない。

4 履修カルテの対象となる授業科目の授業担当教員は、n・passを通じて、当該年度に担当する学生の履修カルテの作成状況を確認するほか、必要に応じて提出を督促しなければならない。

らない。ただし、第2項第3号の授業科目を除く。

- 5 クラス担任は、学生から提出された履修カルテを参照して、担当する学生の履修状況を把握するとともに、必要に応じて個別の補完的な指導を行わなければならない。ただし、第2項第3号の授業科目を除く。

- 6 履修カルテは学生支援センターが管理する。

(授業施設及び設備等)

第37条 本学の教室、実験室、実技施設及び実習施設のほか、共有の利用に供する教材又は教育設備は、専ら授業の用に供するものとしなければならない。ただし、授業の使用に支障のない場合に限り、日本体育大学目的外使用規程に基づき、その使用を認めるものとする。

第4章 単位の授与に係る試験及び成績

(単位の授与)

第38条 単位の授与に係る試験及び成績の評価については、学則第22条及び第25条に定めるもののほか、この章の定めるところによる。

(試験の方法)

第39条 試験は、授業の担当教員が、筆記試験、口述試験、実技試験又はレポート(以下「試験等」という。)の提出等の方法により行う。

- 2 授業担当教員は、実施した試験等の答案は、適切な方法により、当該授業を実施した年度の翌年度末まで保管しなければならない。

(定期試験)

第40条 履修した授業科目に関する試験は、原則として、每学期末に行う。ただし、各授業科目の担当教員が必要と認めたときは、臨時に行うことができる。

- 2 受験の際は、必ず学生証を携行しなければならない。
- 3 定期試験の公認欠席に関しては、日本体育大学児童スポーツ教育学部公認欠席認定基準の規定を準用する。

(追試験)

第41条 授業担当教員は、病気、その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった者に対し、相当と認めたときは追試験を実施することができる。

- 2 授業担当教員は、学部長の指示があったとき、追試験を実施しなければならない。
- 3 追試験を受けようとするときは、当該授業科目の担当教員に所定の欠席届を提出するとともに、別に定める追試験受験料を払い、追試験受験カードを用意しなければならない。

- 4 前条第3項により公認欠席が認められた者は、追試験を受験することができる。ただし追試験料は徴しない。
- 5 前項により追試験を受験しようとする者は、学生支援センターが発行する公認欠席証明書に、当該授業科目の担当者の追試験受験の許可を表す確認印を受けた上で、学生支援センターに提示し、公認欠席受験カードを受領しなければならない。
- 6 追試験受験カード又は公認欠席受験カードは、答案用紙、レポート等に添えて提出しなければならない。
- 7 追試験を欠席した者に対し、再度追試験は実施しない。
- 8 追試験で不合格となった者に対し、再試験は実施しない。

(再試験)

第42条 授業担当教員は、定期試験を受験した結果、合格に至らなかった者を対象として再試験を実施することができる。

- 2 授業担当教員は、学部長の指示があったとき、再試験を実施しなければならない。
- 3 前項の再試験を受けようとする者は、別に定める再試験受験料を払い、再試験受験カードを用意するものとする。
- 4 再試験受験カードは、答案用紙、レポート等に添えて、提出しなければならない。
- 5 再試験は、授業担当教員が期日を定めて行う。
- 6 再試験を欠席した者に対して、その追試験は実施しない。

(試験等における不正行為)

第43条 定期試験、追試験又は再試験において不正行為又は予備行為のあった者には直ちに退室を命ずるほか、次の措置を取る。

- (1) 当該受験科目を含め当該学期の授業科目の全受験科目を無効とする。
 - (2) 学則第58条に定める懲戒の対象とし、その事実と氏名を公示する。
- 2 試験終了後において不正行為があったことが確認された場合は、前項各号を適用する。

(受験の不許可)

第44条 次に掲げる各号のいずれかに該当する場合には、試験を受けることができない。

- (1) 授業の出席時間数が授業時間数の3分の2に達しないとき
- (2) 学生証を提示しないとき
- (3) 試験開始後15分を経過したとき
- (4) 学則第43条に定める授業料その他所定の学費を定められた期日までに完納しない者で、学費に関する規程第5条に定める延納の手続きを行った者のうち、誓約した期日まで

でに学費が完納しない者

- 2 前項第1号の出席時間数について、次の各号に定める事項を全て満たした者は、公認欠席を欠席扱いとはせず、当該授業の時間数に含むものとする。なお、公認欠席の認定基準については別に定める。
 - (1) 原則として、当該授業に1学期あたり3分の1以上出席していること。
 - (2) 公認欠席した当該授業の担当教員から指示された課題を遂行すること。または、補講の指示・指導を受けること。
- 3 前項に関わらず、次に掲げる資格養成指定科目について、公認欠席の取扱いを受けた者は当該授業に対する補講措置等を希望することができるが、補講の受講等により欠席が出席に替わることはない。

ア 保育士

(成績評価)

第45条 学則第25条第2項に基づき、評価の基準を次の各号に掲げるとおり定める。

- (1) A 10点満点法による10点から8点までとし、学修目標の内容を十分に理解し、修得したものと認められる優れた成績を示す。
 - (2) B 10点満点法による7点とし、学修目標の根幹的な部分は理解し、修得したものと認められる妥当な成績を示す。
 - (3) C 10点満点法による6点とし、学修目標の最低限の理解が得られたものと認められる成績を示す。
 - (4) D 10点満点法による6点未満とし、学修目標の最低限の理解が得られていないと認められる成績を示す。
- 2 前項の成績もしくは素点評価に基づき、成績の数値平均「Grade Point Average(以下「GPA」という。)」を算出するものとする。
- 3 GPAに関し必要な事項は別に定める。
- 4 学則第25条及び前項各号にかかわらず、学則第23条又は第24条の規定により認定された科目の成績及び評価については、成績の評語及び評価の基準いずれもNで表す。
- 5 再試験を受験した者の評価の基準は第2項第2号を上限とする。
- 6 授業担当教員は、前学期又は後学期それぞれ定められた期間内に、原則としてn・passを使用して評価を登録しなければならない。
- 7 学生は、n・passを通じて履修した授業の成績評価を確認しなければならない。
- 8 授業担当教員は、当該授業の履修者から、評価に関する照会があった場合は、適切に対

応しなければならない。

- 9 履修した年度及び学期に付された評価については、当該年度末をもって確定するものとし、履修した年度の翌年度以降に変更することはできない。

第5章 証明書

(卒業見込証明書)

第46条 第3学年次末における修得単位数と第4学年次における履修登録単位数の合計が、卒業所要単位数を満たしている者には、卒業見込証明書を発行する。

(学力に関する証明書)

第47条 本学は、教育職員免許法第7条に基づき、免許状の授与又は教育職員検定を受けようとする者から請求があったときは、免許状の取得に必要な単位修得証明書として学力に関する証明書を発行しなければならない。

(改廃)

第48条 この規程の改廃は、教育企画センター運営委員会、児童スポーツ教育学部教授会、学部長会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、改正の日(平成25年12月18日)から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則

(施行日)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、施行日に在籍するすべての学生に適用する。

附 則

(施行日)

この規程は、平成27年6月22日から施行し、平成25年度入学生から適用する。

附 則

(施行日)

この規程は、平成27年8月1日から施行する。

附 則

(施行日)

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

(施行日)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

(施行日)

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

(施行日)

この規程は、平成30年11月30日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成31年度の入学生から適用し、平成30年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則

(施行日)

- 1 この規程は、令和元年10月29日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成31年度の入学生から適用し、平成30年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則

(施行日)

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程は、令和2年度の入学生から適用し、平成31年度以前の入学生については、なお従前の例による。

別表1(第20条第4項関係)

小学校教諭1種免許状の取得要件科目

教員免許法に定められた内容				本学が課程認定を受けている内容			
第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項 (小学校)	最低修	児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 児童スポーツ教育コース	単位数	★必修	大学が定める免許取

				得 単 位 数	授業科目:(2019カリキュラ ム)	☆ 選 択	得に必 要な単 位数	
				小 学 校				
第二 欄	教科及び教 科の指導法 に関する科 目	教科に関す る専門的事 項	国語(書写を含 む。)	30	初等国語(書写を含む)	2	☆	4単位 以上
			算数		初等算数	2	☆	
			音楽		初等音楽	2	☆	
			図画工作		初等図画工作	2	☆	
			社会		初等社会	2	☆	4単位 以上
			理科		初等理科	2	☆	
			生活		初等生活	2	☆	
			家庭		初等家庭科	2	☆	
			外国語		初等英語	2	☆	
			体育		初等体育A(陸上運動、器械 運動)	2	☆	4単位 以上
					初等体育B(ボール運動、表 現運動)	2	☆	
					初等体育C(体づくり運動、 保健)	2	☆	
		各教科の指 導法(情報機 器及び教材 の活用を含 む。)	国語(書写を含 む。)		初等国語科教育法	2	★	2
					国語科教育実践論	2	☆	
			社会		初等社会科教育法	2	★	2
					社会科教育実践論	2	☆	
			算数		初等算数科教育法	2	★	2
					算数科教育実践論	2	☆	
			理科		初等理科教育法	2	★	2

					理科教育実践論	2	☆	
			生活		初等生活科教育法	2	★	2
			音楽		初等音楽科教育法	2	★	2
			図画工作		初等図画工作科教育法	2	★	2
			家庭		初等家庭科教育法	2	★	2
			体育		初等体育科教育法	2	★	2
					体育科教育実践論	2	☆	
			外国語		初等英語科教育法	2	★	2
					英語科教育実践論	2	☆	
第三 欄	教育の基礎 的理解に関 する科目	教育の理念並びに教育に関 する歴史及び思想			10 教育原理	2	★	2
		教職の意義及び教員の役 割・職務内容(チーム学校へ の対応を含む。)			教職入門	2	★	2
		教育に関する社会的、制度 的又は経営的事項(学校と 地域との連携及び学校安全 への対応を含む。)			教育の制度と経営	2	★	2
		幼児、児童及び生徒の心身 の発達及び学習の過程			教育心理学	2	★	2
		特別の支援を必要とする幼 児、児童及び生徒に対する 理解			特別支援教育概論	2	★	2
		教育課程の意義及び編成の 方法(カリキュラム・マネジ メントを含む。)			教育課程論	2	★	2
第四 欄	道徳、総合的 な学習の時 間等の指導 法及び生徒	道徳の理論及び指導法			10 道徳の理論及び指導法	2	★	2
		総合的な学習の時間の指導 法			特別活動及び総合的な学習 の時間の指導法	2	★	2
		特別活動の指導法						

	指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術(メディア教育を含む)	2	★	2
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	2	★	2
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	の理論及び方法	教育相談(カウンセリングを含む)	2	★	2
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	2	★	※
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導Ⅰ	1	★	1
				教育実習指導Ⅱ	1	★	1
				教育実習Ⅰ	2	★	2
				教育実習Ⅱ	2	★	2
		教職実践演習	2	教職実践演習(幼稚園・小学校)	2	★	2
第六欄	大学が独自に設定する科目		2	発育発達論	2	★	2
				児童スポーツ教育論	2	★	2
				児童健康教育論	2	★	2
				食育論	2	★	2
				児童の身体の仕組み	2	☆	
				児童スポーツ指導論	2	★	2
				学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2	★	2
			59	74			

教員免許法施行規	日本国憲法	2	現代社会と憲法	2	★	2
	体育	2	体操	1	★	1
			ダンス	1	★	1
	外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	1	★	1

則(第			英語コミュニケーションⅡ	1	★	1
66条	情報機器の操作	2	情報機器の操作	2	★	2
の6)						
に定						
める						
科目						

別表2(第21条第2項関係)

幼稚園教諭1種免許状の取得要件科目

免許法に定められた内容				本学が課程認定を受けている内容				
第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項 (幼稚園)		最低修得単位数	児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 児童スポーツ教育コース 授業科目：(2019カリキュラム)	単位数 ☆ 選択	★ 必修 ☆ 得に必要な単位数	
				幼稚園				
第二欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	国語	16	初等国語(書写を含む)	2	★	2
			算数		初等算数	2	★	2
			生活		初等生活	2	★	2
			音楽		初等音楽	2	★	2
			図画工作		初等図画工作	2	☆	
			体育		初等体育A(陸上運動、器械運動)	2	☆	4単位以上
					初等体育B(ボール運動、表現運動)	2	☆	
					初等体育C(体づくり運動、保健)	2	☆	

		保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		保育内容総論	2	★	2
				保育内容(健康)指導法	2	★	2
				保育内容(人間関係)指導法	2	★	2
				保育内容(環境)指導法	2	★	2
				保育内容(言葉)指導法	2	★	2
				保育内容(表現)指導法	2	★	2
第三 欄	教育の基礎 的理解に関 する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	★	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		保育原理	2	☆	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教職入門	2	★	2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育の制度と経営	2	★	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育心理学	2	★	2
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		発達心理学	2	☆	
				特別支援教育概論	2	★	2
				教育課程論	2	★	2
第四 欄	道徳、総合的 な学習の時 間等の指導 法及び生徒 指導、教育相 談等に関す	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育の方法と技術(メディア教育を含む)	2	★	2
		幼児理解の理論及び方法		幼児理解	2	★	2
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む)	2	★	2

	る科目						
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導Ⅰ	1	★	1
				教育実習指導Ⅱ	1	★	1
				教育実習Ⅰ	2	★	2
				教育実習Ⅱ	2	★	2
		教職実践演習	2	2	★	2	
第六欄	大学が独自に設定する科目	14	発育発達論	2	★	2	
			児童スポーツ教育論	2	★	2	
			児童健康教育論	2	★	2	
			食育論	2	★	2	
			児童の身体の仕組み	2	☆		
			児童スポーツ指導論	2	★	2	
			学校保健(小児保健・精神保健を含む)	2	★	2	
		51				60	

教員 免許 法施 行規 則(第 66条 の6) に定 める 科目	日本国憲法	2	現代社会と憲法	2	★	2
	体育	2	体操	1	★	1
			ダンス	1	★	1
	外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	1	★	1
			英語コミュニケーションⅡ	1	★	1
	情報機器の操作	2	情報機器の操作	2	★	2

別表3(第22条第2項関係)

幼稚園教諭1種免許状の取得要件科目

免許法に定められた内容	本学が課程認定を受けている内容
-------------	-----------------

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数 幼稚園	児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 幼児教育保育コース 授業科目:(2019カリキュラム)	単位数	★必修 ☆選択	大学が定める免許取得に必要な単位数
第二欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項 保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	16	幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現 保育内容総論演習 保育内容「健康」の指導法 保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「環境」の指導法 保育内容「言葉」の指導法 保育内容「表現」の指導法	1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対	10	教育原理 保育原理 教師論(幼稚園) 教育の制度と経営	2 2 2 2	★ ☆ ★ ★	2 2 2

		応を含む。)					
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達と教育の心理学	2	★	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2	★	2
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		保育カリキュラム論	2	★	2
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育の方法と技術(メディア教育を含む)	2	★	2
		幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	2	★	2
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法					
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1	★	1
				教育実習(幼稚園)	3	★	3
		学校体験活動		保育現場体験指導(幼稚園)	1	★	1
				保育現場体験(幼稚園)	1	★	1
		教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	★	2
第六欄	大学が独自に設定する科目		14	発育発達論	2	★	2
				児童スポーツ教育論	2	★	2
				児童健康教育論	2	★	2
				食育論	2	★	2
				児童の身体の仕組み	2	☆	
				保育の心理学	2	★	2

		子どもの保健	2	☆	
		子どもの健康と安全	1	☆	
		障がい児保育演習	2	★	2
		保育者論	2	★	2
		幼児の運動遊びⅠ	1	★	1
		幼児の運動遊びⅡ	1	★	1
		音楽表現	2	★	2
		子どもの表現A	1	☆	
		子どもの表現B	1	☆	
		子どもの表現C	1	☆	
		保育とコンピュータ	1	☆	
		児童文化	2	☆	
		子ども家庭支援の心理学	2	☆	
		乳児保育Ⅰ	2	☆	
		保育現場体験指導(保育所・施設)	1	☆	
		保育現場体験(保育所・施設)	1	☆	
	51				58

教育	日本国憲法	2	現代社会と憲法	2	★	2
職員	体育	2	体操	1	★	1
免許			ダンス	1	★	1
法施	外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションⅠ	1	★	1
行規			英語コミュニケーションⅡ	1	★	1
則第	情報機器の操作	2	情報機器の操作	2	★	2
66条						
の6						
に定						
める						

科目							
----	--	--	--	--	--	--	--

別表4(第23条第2項関係)

厚生労働省告示第198号に定める修業教科目及び単位数並びに履修方法

告示による系列・教科目			本学の教科目内容				
			最低 修得 単位 数	授業科目名	授業 形態	必修 科目 単位 数	選択 科目 単位 数
教養科目	外国語、体育 以外の科目	11	現代社会と憲法	講義		2	※1
			情報機器の操作	講義		2	※1
			心理学	講義		2	※1
			生命科学	講義		2	※1
			社会学	講義		2	※1
			文学	講義		2	※1
			経済学	講義		2	※1
	外国語		基礎英語Ⅰ	演習		1	※2
			基礎英語Ⅱ	演習		1	※2
			英語コミュニケーションⅠ	演習		1	※2
			英語コミュニケーションⅡ	演習		1	※2
	体育		発育発達論	講義	2		
			ダンス	実技	1		
告示 別表 第1 によ る教 科目	保育の本質・ 目的に関する 科目	58	保育原理	講義	2		
			教育原理	講義	2		
			子ども家庭福祉	講義	2		
			社会福祉	講義	2		
			子ども家庭支援論	講義	2		
			社会的養護Ⅰ	講義	2		
			保育者論	講義	2		

	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	保育の心理学	講義	2		
		子ども家庭支援の心理学	子ども家庭支援の心理学	講義	2		
		子どもの理解と援助	子どもの理解と援助	演習	2		
		子どもの保健	子どもの保健	講義	2		
		子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	演習	2		
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	保育カリキュラム論	講義	2		
		保育内容総論	保育内容総論演習	演習	1		
		保育内容演習	幼児と健康	演習	1		
			幼児と人間関係	演習	1		
			幼児と環境	演習	1		
			幼児と言葉	演習	1		
			幼児と表現	演習	1		
		保育内容の理解と方法	保育内容「健康」の指導法	演習	2		
			保育内容「人間関係」の指導法	演習	2		
			保育内容「環境」の指導法	演習	2		
			保育内容「言葉」の指導法	演習	2		
			保育内容「表現」の指導法	演習	2		
		乳児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	講義	2		
		乳児保育Ⅱ	乳児保育Ⅱ	演習	1		
		子どもの健康と安全	子どもの健康と安全	演習	1		
		障害児保育	障がい児保育演習	演習	2		
		社会的養護Ⅱ	社会的養護Ⅱ	演習	1		
		子育て支援	子育て支援	演習	1		
	保育実習	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅰ①	実習	2		

				保育実習Ⅰ②	実習	2		
		保育実習指導Ⅰ		保育実習指導Ⅰ①	演習	1		
				保育実習指導Ⅰ②	演習	1		
	総合演習	保育実践演習		保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2		
告示別表第2による教科科目	保育の本質・目的に関する科目		18	幼児教育・保育入門	講義	2		
				幼児の運動遊びⅡ	演習	1		
	保育の対象の理解に関する科目			病児・病後児保育	講義	2		
	保育の内容・方法に関する科目			幼児の運動遊びⅠ	演習	1		
				音楽表現	演習	2		
				児童文化	講義	2		
				発達と教育の心理学	講義	2		
				子どもの表現A	演習	1		
				子どもの表現B	演習	1		
				子どもの表現C	演習	1		
	保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ		保育実習Ⅱ	実習		2	※3
				保育実習Ⅲ	実習		2	※3
				保育実習指導Ⅱ	演習		1	※3
				保育実習指導Ⅲ	演習		1	※3

※1：※1の中から3科目6単位以上修得すること。

※2：※2の中から2科目2単位以上修得すること。

※3：保育実習Ⅱと保育実習指導Ⅱ又は保育実習Ⅲと保育実習指導Ⅲの3単位修得すること。

■日本体育大学 クラス編成一覧表

(1) 体育学部

学科	性別	記号	横浜・健志台キャンパス 授業クラス	東京・世田谷キャンパス 授業クラス
体育学科	男	A	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16	21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
	女		39 40 41 42 43 44	45 46 47 48 49 50
健康学科	男	B		01 02 03 04 05 06
	女			07 08 09 10

(2) スポーツ文化学部

学科	性別	記号	横浜・健志台キャンパス 授業クラス	東京・世田谷キャンパス 授業クラス
武道教育学科	男女	S	—	01 02 03 04
スポーツ国際学科	男女	T	—	01 02 03 04

(3) スポーツマネジメント学部

学科	性別	記号	横浜・健志台キャンパス 授業クラス	東京・世田谷キャンパス 授業クラス
スポーツ マネジメント学科	男女	P	01 02 03 04 05 06	—
スポーツライフ マネジメント学科	男女	Q	01 02 03 04 05 06	—

(4) 児童スポーツ教育学部

児童スポーツ 教育学科	性別	記号	横浜・健志台キャンパス 授業クラス	東京・世田谷キャンパス 授業クラス
児童スポーツ 教育コース	男女	G	—	01 02 03 04 05 06
幼児教育 保育コース	男女		—	07 08

(5) 保健医療学部

学科	性別	記号	横浜・健志台キャンパス 授業クラス	東京・世田谷キャンパス 授業クラス
整復医療学科	男女	W	01 02 03 04	—
救急医療学科	男女	X	01 02 03 04	—

■体育学部における所属クラス別学生数一覧(2017～2021年度)

体育 学科	平成29(2017)年				平成30(2018)年				令和元(2019)年				令和2(2020)年				令和3(2021)年			
	健志台クラス		世田谷		健志台		世田谷		健志台		世田谷		健志台		世田谷		健志台		世田谷	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
4年	340	98	166	133	329	121	169	117	328	122	210	145	312	112	199	160	317	121	188	135
3年	333	121	169	117	328	124	212	148	310	114	203	159	318	120	190	140	315	119	185	139
2年	325	125	212	148	318	115	194	157	324	119	183	135	317	121	177	137	311	117	189	148
1年	322	116	194	158	325	119	189	136	321	120	179	138	314	119	188	149	317	109	218	158
α	0	0	39	8	0	0	43	3	0	0	38	5	0	0	39	6	0	0	50	8
合計	1,320	460	780	564	1,300	479	807	561	1,283	475	813	582	1,261	472	793	592	1,260	466	830	588
総計	1,780		1,344		1,779		1,368		1,758		1,395		1,733		1,385		1,726		1,418	
キャンパス比	57%		43%		57%		43%		56%		44%		56%		44%		55%		45%	

健康 学科	平成29(2017)年				平成30(2018)年				令和元(2019)年				令和2(2020)年				令和3(2021)年			
	健志台		世田谷		健志台		世田谷		健志台		世田谷		健志台		世田谷		健志台		世田谷	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
4年	0	0	106	91	0	0	112	82	0	0	100	94	0	0	101	96	0	0	90	105
3年	0	0	112	82	0	0	104	93	0	0	101	96	0	0	90	105	0	0	96	98
2年	0	0	105	92	0	0	103	93	0	0	92	102	0	0	95	98	0	0	91	102
1年	0	0	103	94	0	0	94	102	0	0	99	100	0	0	92	102	0	0	90	80
α	0	0	8	2	0	0	10	1	0	0	9	6	0	0	9	4	0	0	8	5
合計	0	0	434	361	0	0	423	371	0	0	401	398	0	0	387	405	0	0	375	390
総計	0		795		0		794		0		799		0		792		0		765	
キャンパス比	0%		100%		0%		100%		0%		100%		0%		100%		0%		100%	

体育 学部	平成29(2017)年				平成30(2018)年				令和元(2019)年				令和2(2020)年				令和3(2021)年			
	健志台		世田谷		健志台		世田谷		健志台		世田谷		健志台		世田谷		健志台		世田谷	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
4年	340	98	272	224	329	121	281	199	328	122	310	239	312	112	300	256	317	121	278	240
3年	333	121	281	199	328	124	316	241	310	114	304	255	318	120	280	245	315	119	281	237
2年	325	125	317	240	318	115	297	250	324	119	275	237	317	121	272	235	311	117	280	250
1年	322	116	297	252	325	119	283	238	321	120	278	238	314	119	280	251	317	109	308	238
α	0	0	47	10	0	0	53	4	0	0	47	11	0	0	48	10	0	0	58	13
合計	1,320	460	1,214	925	1,300	479	1,230	932	1,283	475	1,214	980	1,261	472	1,180	997	1,260	466	1,205	978
総計	1,780		2,139		1,779		2,162		1,758		2,194		1,733		2,177		1,726		2,183	
キャンパス比	45%		55%		45%		55%		44%		56%		44%		56%		44%		56%	

■キャンパスごとの授業施設収容人数一覧

東京・世田谷キャンパス

教室区分	街区	教室番号	収容可能 人数	最大 利用者数	備考
講義・演習	1街区	1201	216	200	
講義・演習	1街区	1202	216	200	
講義・演習	1街区	1301	216	200	
講義・演習	1街区	1302	216	200	
講義・演習	2街区	2201	216	200	
講義・演習	2街区	2202	216	200	
講義・演習	2街区	2301	216	200	
講義・演習	2街区	3201	216	200	
講義・演習	2街区	3202	216	200	
講義・演習	2街区	2204	102	100	
講義・演習	2街区	2206	102	100	
講義・演習	3街区	3204	102	100	
講義・演習	3街区	3206	102	100	
講義・演習	3街区	2203	72	72	PC演習
講義・演習	3街区	2205	72	72	PC演習
講義・演習	3街区	3205	72	72	
講義・演習	6街区	6301	60	60	移動席
講義・演習	3街区	3G01	60	60	実験室
講義・演習	3街区	3G02	60	60	実験室
講義・演習	3街区	2302	60	60	コンピュータ室
講義・演習	3街区	3301	80	80	音楽室
講義・演習	2街区	2G03	10	10	福祉演習室
講義・演習	3街区	3G13	5	5	実習指導室(社会福祉)
講義・演習	3街区	3203	50	50	保育演習室
講義・演習	3街区	3312	25	25	調理実習室
講義・演習	3街区	2306	25	25	
講義・演習	3街区	2G15	25	25	カフアレーム
講義・演習	3街区	2307	25	25	大学院優先施設
講義・演習	3街区	2310	25	25	大学院優先施設
講義・演習	3街区	2311	25	25	大学院優先施設
講義・演習	3街区	2312	25	25	大学院優先施設
講義・演習	3街区	3313	60	60	作法室
講義・演習	6街区	6101	72	72	調理実習室
講義・演習	6街区	6201	70	70	図画工作室
講義・演習	6街区	6202	56	56	理科実験室
講義・演習	6街区	6302	72	72	家庭科室
実技・実習	1街区	1B01	200	200	記念講堂
実技・実習	3街区	3B03	50	50	体育館(170㎡)
実技・実習	4街区	5B01	50	50	剣道場
実技・実習	4街区	5B02	50	50	柔道場
実技・実習	4街区	5B03	50	50	中体育館
実技・実習	4街区	5B04	50	50	多目的ホール
実技・実習	4街区	5G01	50	50	小体育館(相撲)
実技・実習	4街区	5101	50	50	トレセン
実技・実習	4街区	5101-AT	50	50	トレーニングルーム
実技・実習	4街区	5102	50	50	小体育館2(レスリング)
実技・実習	4街区	5103	50	50	屋外体育施設(弓道)
実技・実習	4街区	5104	50	50	小体育館3(ダンス・伝統芸能)
実技・実習	4街区	5105	50	50	小体育館4(剣道・伝統芸能)
実技・実習	4街区	5106	50	50	小体育館5(空手)
実技・実習	4街区	5107	50	50	小体育館6(合気道)
実技・実習	4街区	5108	50	50	小体育館7(少林寺拳法)
実技・実習	4街区	5109	50	50	小体育館8(卓球)
実技・実習	4街区	5201-1	50	50	メインアリーナ(バレー・バド)
実技・実習	4街区	5201-3	50	50	メインアリーナ(バスケット・ハンド)
実技・実習	4街区	5202	50	50	トレーニング場
実技・実習	5街区	ソフト・野球	50	50	グラウンド1
実技・実習	5街区	陸上	50	50	グラウンド2
実技・実習	5街区	その他	50	50	グラウンド3
合計数			4,758	4,606	

横浜・健志台キャンパス

教室区分	号棟	教室番号	収容可能 人数	最大 利用者数	備考
講義・演習	1号館	1402	453	200	
講義・演習	1号館	1201	231	200	
講義・演習	1号館	1301	231	200	
講義・演習	1号館	1401	231	200	
講義・演習	1号館	1303	191	191	
講義・演習	1号館	1304	178	178	
講義・演習	1号館	1202	80	80	実験室
講義・演習	1号館	1203	80	80	実験室
講義・演習	1号館	1204	80	80	実験室
講義・演習	1号館	1405	80	80	音楽室
講義・演習	1号館	1409	50	50	コンピュータ室
講義・演習	1号館	1410	50	50	コンピュータ室
講義・演習	4号館	4107	250	200	
講義・演習	4号館	4108	250	200	
講義・演習	4号館	4206	234	200	
講義・演習	4号館	4207	252	200	
講義・演習	4号館	4208	250	200	
講義・演習	4号館	4105	214	200	
講義・演習	4号館	4106	214	200	
講義・演習	4号館	4205	214	200	
講義・演習	4号館	4201	104	104	
講義・演習	4号館	4202	104	104	
講義・演習	4号館	4203	104	104	
講義・演習	4号館	4204	104	104	
講義・演習	4号館	4101	96	96	可動式座席
講義・演習	4号館	4102	96	96	可動式座席
講義・演習	4号館	4103	96	96	可動式座席
講義・演習	4号館	4104	96	96	可動式座席
講義・演習	8号館	8301	250	200	
講義・演習	8号館	8302	200	200	
講義・演習	8号館	8303	200	200	
講義・演習	8号館	8201	250	250	
講義・演習	8号館	8202	200	200	
講義・演習	8号館	8203	200	200	
講義・演習	8号館	8101	250	200	
講義・演習	8号館	8102	200	200	
講義・演習	8号館	8103	200	200	
講義・演習	8号館	8304	100	100	
講義・演習	8号館	8305	100	100	
講義・演習	8号館	8306	100	100	
講義・演習	8号館	8204	100	100	
講義・演習	8号館	8205	100	100	
講義・演習	8号館	8206	100	100	
講義・演習	8号館	8104	100	100	
講義・演習	8号館	8105	100	100	
講義・演習	8号館	8106	100	100	
講義・演習	7号館	7201	236	200	
講義・演習	7号館	7202	236	200	
講義・演習	7号館	7101	62	62	可動式座席
講義・演習	7号館	7102	62	62	可動式座席
講義・演習	7号館	7103	62	62	可動式座席
講義・演習	7号館	7104	62	62	可動式座席
講義・演習	9号館	9301	144	144	
講義・演習	9号館	9303	144	144	
講義・演習	9号館	9304	144	144	
講義・演習	9号館	9305	144	144	
講義・演習	9号館	9201	100	100	実習室
講義・演習	9号館	9204	70	70	PC演習
講義・演習	9号館	9101	100	100	演習室
講義・演習	9号館	9102	50	50	柔道場
講義・演習	9号館	9103	100	100	臨地実習室
実技・実習	第一体育館	第一体育館	50	50	ハンドボール
実技・実習	第一体育館	柔道場	50	50	
実技・実習	第二体育館	米体I-1	50	50	バレーボール
実技・実習	第二体育館	米体I-2	50	50	バドミントン、バスケット
実技・実習	第二体育館	米体II	50	50	体づくり運動、ダンス
実技・実習	第二体育館	剣道場	50	50	
実技・実習	第二体育館	レスリング場	50	50	
実技・実習	第二体育館	相撲場	50	50	
実技・実習	第三体育館	三休I(プール側)	50	50	エアロビ、グループエク
実技・実習	第三体育館	三休II(学食側)	50	50	卓球・体教実
実技・実習	体操競技館	体操競技場I	50	50	
実技・実習	体操競技館	体操競技場II	50	50	
実技・実習	百年記念館	トレーニングセンター	50	50	
実技・実習	プール	プール	50	50	前学期のみ利用
実技・実習	陸上競技場	陸上競技場	50	50	
実技・実習	陸上競技場	陸上競技場	50	50	
実技・実習	ゴルフ教場	ゴルフ教場	50	50	
実技・実習	テニス場	テニス場	50	50	軟式4面、硬式2面
実技・実習	ラグビー場	ラグビー場	50	50	
実技・実習	サッカー場	サッカー場	50	50	
実技・実習	野球場	野球場(ソフトボール)	50	50	
実技・実習	アーチェリー場	アーチェリー場	50	50	
合計数			10,279	9,483	

シャトルバス時刻表 ～東京世田谷キャンパス⇄横浜・健志台キャンパス～

【2021年度運行期間】授業開講日

前学期：2021年4月12日（月）～2021年7月21日（水） ※7月5日（月）～9日（金）を除く

後学期：2021年9月23日（木）～2022年1月28日（金） ※11月3日（水）～5日（金）、12月23日（木）～1月7日（金）を除く

東京・世田谷キャンパス発  バス停：スポーツ棟横

東京・世田谷キャンパス発	8:05	9:45		11:20	12:50	15:20	17:00
乗車定員	48名+48名	48名		48名	48名	48名+48名	48名+21名

横浜・健志台キャンパス着	9:10	10:50		12:25	13:55	16:20	18:05
--------------	------	-------	--	-------	-------	-------	-------

横浜・健志台キャンパス発

 バス停：陸上競技場横

横浜・健志台キャンパス発	7:40	9:20	11:10	12:00	12:50	15:20	17:00
乗車定員	48名	48名	48名	48名	48名	48名+21名	48名+48名

東京・世田谷キャンパス着	9:10	10:35	12:15	13:05	13:55	16:25	18:05
--------------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

【注意事項】 利用する前に確認すること

- ・乗車には学生証が必要となります。
- ・交通状況等によりバスが遅延した場合にも遅刻等の対応はいたしません。余裕を持って利用すること。
- ・乗客定員に限られますので、定員を超えた場合には、ご乗車にはなりません。
- ・順番待ちが本人が並ぶこと。荷物等での場所とりをすることは禁止しています。
- ・上記時刻表は予定です。交通状況等により変動する場合がございます。（詳細の運行時間についてはバス停でご確認ください。）
- ・怪我等による体調不良者は、学生支援センターに前日までに申し出ることで優先的に利用することが出来ます。

【COVID-19拡大防止のため】 以下のご協力をお願いします。

- ・マスクを着用してください。着用がない場合は乗車できません。
- ・乗車時に手指消毒をしていただきます。・車内での食事は禁止とします。
- ・37.5度を超える場合は乗車できません。
- ・会話は極力控えてください。



令和3(2021)年度 シャトルバス運行日程表

■ 前学期(70日間運行)

日	月	授業 回数	運行	火	授業 回数	運行	水	授業 回数	運行	木	授業 回数	運行	金	授業 回数	運行	土	授業 回数	運行
										4/1			4/2			4/3		
4/4	4/5	①		4/6	①		4/7	①		4/8	①		4/9	①		4/10		
4/11	4/12	②	1	4/13	②	2	4/14	②	3	4/15	②	4	4/16	②	5	4/17		
4/18	4/19	③	6	4/20	③	7	4/21	③	8	4/22	③	9	4/23	③	10	4/24		
4/25	4/26	④	11	4/27	④	12	4/28	④	13	4/29	④	14	4/30	④	15	5/1		
5/2	5/3	⑤	16	5/4	⑤	17	5/5	⑤	18	5/6	⑤	19	5/7	⑤	20	5/8		
5/9	5/10	⑥	21	5/11	⑥	22	5/12	⑥	23	5/13	⑥	24	5/14	⑥	25	5/15		
5/16	5/17	⑦	26	5/18	⑦	27	5/19	⑦	28	5/20	⑦	29	5/21	⑦	30	5/22		
5/23	5/24	⑧	31	5/25	⑧	32	5/26	⑧	33	5/27	⑧	34	5/28	⑧	35	5/29		
5/30	5/31	⑨	36	6/1	⑨	37	6/2	⑨	38	6/3	⑨	39	6/4	⑨	40	6/5		
6/6	6/7	⑩	41	6/8	⑩	42	6/9	⑩	43	6/10	⑩	44	6/11	⑩	45	6/12		
6/13	6/14	⑪	46	6/15	⑪	47	6/16	⑪	48	6/17	⑪	49	6/18	⑪	50	6/19	⑫	51
6/20	6/21	⑫	52	6/22	⑫	53	6/23	⑫	54	6/24	⑫	55	6/25	⑬	56	6/26	⑬	57
6/27	6/28	⑬	58	6/29	⑬	59	6/30	⑬	60	7/1	⑭	61	7/2	⑭	62	7/3		
7/4	7/5			7/6			7/7			7/8			7/9			7/10		
7/11	7/12	⑭	63	7/13	⑭	64	7/14	⑭	65	7/15	⑮	66	7/16	⑮	67	7/17		
7/18	7/19	⑮	68	7/20	⑮	69	7/21	⑮	70									
	15	回		15	回		15	回		15	回		15	回				

■ 後学期(75日間運行)

日	月	授業 回数	運行	火	授業 回数	運行	水	授業 回数	運行	木	授業 回数	運行	金	授業 回数	運行	土	授業 回数	運行
9/19	9/20			9/21			9/22			9/23	①	1	9/24	①	2	9/25		
9/26	9/27	①	3	9/28	①	4	9/29	①	5	9/30	②	6	10/1	②	7	10/2		
10/3	10/4	②	8	10/5	②	9	10/6	②	10	10/7	③	11	10/8	③	12	10/9		
10/10	10/11	③	13	10/12	③	14	10/13	③	15	10/14	④	16	10/15	④	17	10/16		
10/17	10/18	④	18	10/19	④	19	10/20	④	20	10/21	⑤	21	10/22	⑤	22	10/23		
10/24	10/25	⑤	23	10/26	⑤	24	10/27	⑤	25	10/28	⑥	26	10/29	⑥	27	10/30		
10/31	11/1	⑥	28	11/2	⑥	29	11/3			11/4			11/5			11/6		
11/7	11/8	⑦	30	11/9	⑦	31	11/10	⑥	32	11/11	⑦	33	11/12	⑦	34	11/13		
11/14	11/15	⑧	35	11/16	⑧	36	11/17	⑦	37	11/18	⑧	38	11/19	⑧	39	11/20		
11/21	11/22	⑨	40	11/23			11/24	⑧	41	11/25	⑨	42	11/26	⑨	43	11/27		
11/28	11/29	⑩	44	11/30	⑨	45	12/1	⑨	46	12/2	⑩	47	12/3	⑩	48	12/4		
12/5	12/6	⑪	49	12/7	⑩	50	12/8	⑩	51	12/9	⑪	52	12/10	⑪	53	12/11		
12/12	12/13	⑫	54	12/14	⑪	55	12/15	⑪	56	12/16	⑫	57	12/17	⑫	58	12/18		
12/19	12/20	⑬	59	12/21	⑫	60	12/22	⑫	61	12/23			12/24			12/25		
12/26	12/27			12/28			12/29			12/30			12/31			1/1		
1/2	1/3			1/4			1/5			1/6			1/7			1/8		
1/9	1/10 成人の日			1/11	⑬	62	1/12	⑬	63	1/13	⑬	64	1/14	⑬	65	1/15		
1/16	1/17	⑭	66	1/18	⑭	67	1/19	⑭	68	1/20	⑭	69	1/21	⑭	70	1/22		
1/23	1/24	⑮	71	1/25	⑮	72	1/26	⑮	73	1/27	⑮	74	1/28	⑮	75	1/29		
	15	回		15	回		15	回		15	回		15	回				



通常授業期間



通常授業なし

■ 体育学部における学生の週間動向表 令和3(2021)年度

受講キャンパス クラス		学生 人数	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		週間回数	
			健志台	世田谷	健志台	世田谷	健志台	世田谷	健志台	世田谷	健志台	世田谷		
1年 健志台 クラス	A01-16	317	317		317		317		317		317		5	0
	A39-44	109	109		109		109		109		109			
1年 世田谷 クラス	A21-32	218		218	218		218		218		218		4	1
	A45-50	158	158		158		158		158			158		
	B01-10	170	170		170			170		170	170			
2年 健志台 クラス	A01-16	311	311		311			311	311		311		4	1
	A39-44	117	117		117		117		117			117		
2年 世田谷 クラス	A21-32	189	189			189	189		189			189	3	2
	A45-50	148	148		148			148	148			148		
	B01-10	193		193		193	193			193	193			
3年 健志台 クラス	A01-16	315	315		315		315		315			315	4	1
	A39-44	120	120		120		120		120			120		
3年 世田谷 クラス	A21-32	185	185		185		185			185		185	3	2
	A45-50	139	139			139	139		139			139		
	B01-10	194		194		194		194	194		194			
4年 健志台 クラス	A01-16	317	317		317		317		317		317		5	0
	A39-44	121	121		121		121		121		121			
4年 世田谷 クラス	A21-32	238		238		238	238			238	238		2	3
	A45-50	143	143※	143※		143	143		143※	143※		143		
	B01-10	208		208		208		208		208		208		

※前学期と後学期で動向が変更するため、両キャンパスでカウントしている

受講キャンパス クラス		学生 人数	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
			健志台	世田谷	健志台	世田谷	健志台	世田谷	健志台	世田谷	健志台	世田谷
体育学科 合計数		3,145	2,689	599	2,436	709	2,686	459	2,722	566	1,631	1,514
健康学科 合計数		765	170	595	170	595	193	572	194	571	557	208
学部合計		3,910	2,859	1,194	2,606	1,304	2,879	1,031	2,916	1,137	2,188	1,722